昭和24年3月19日第3種郵便物認可昭和33年10月20日印刷 昭和33年10月25日発行第39輯第10号(毎月1回25日発行)

建築と社会

日本建築協会

1958—10

室内デザイン特集







阪神百貨店納エスカレータ

近代感覚の
先端をゆく！

日立のエスカレータ

近代感覚ゆたかな、建築の美しさと調和のとれた室内設備は建築の機能を十分に生かすとともに快よい雰囲気をかもしだします。
日立のエスカレータは、斬新なデザインと精巧な機能を備えており、建築に新鮮な息吹きを表現するエスカレータとして、多くの方面から御好評をいただいております。

……エレベータ
……ダムウェータ

日立製作所

N-04

TRADE MARK



DOG

メンブレン式 防水

の補強材料は30年の経厂を誇る

ドッグ印 で!!

ドツグ印	アスファルトルーフィング
〃	アスファルトフエルト
〃	砂付ルーフィング
〃	メルタイトルーフィング
〃	キンマレアタィト（高級瀝青金麻布）
〃	ヘツシヤンファブリツク（瀝青黄麻布）
〃	コツトンファブリツク（瀝青綿布）
〃	白麻ファブリツク（瀝青苧麻布）
〃	ゲオンタイト（伸縮目地板）

地下鉄道、高架鉄道の如き激しい震動箇所でも弊社製品は完璧の防水効果を発揮して居ります

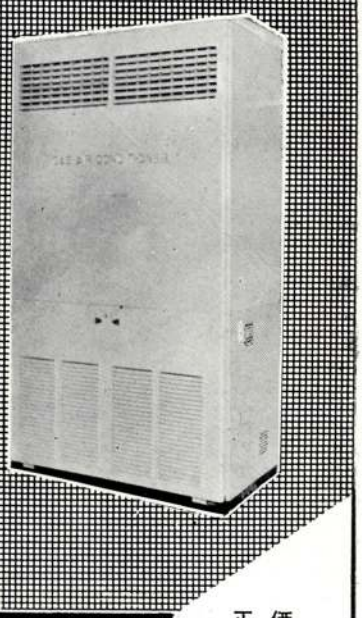
型録・見本・仕様書
御報呈上

日本工業規格表示許可工場

株式会社 工英社

大阪市西成区橘通9丁目24番地　電話天下茶屋㊽8861・8862番

暖房・冷房を
1台の機械で…



外形寸法　高　二、一〇〇mm
　　幅　一、二〇〇mm
　　奥行　六七〇mm

・冷暖房とも、ハンドル一つで自動的に作動する
・冷却方式は吸収式で、機械の摩滅による故障がない
・冷却ユニットは高圧部がなく破裂や薬液の漏出がない
・必要電源は送風機だけで特別な動力線工事がいらない
・精密な自動安全装置付きでガスもれの心配がない
・機械は不燃材料を使っているから火災の心配もない
・電気にくらべ、年間経常費が非常に安い

冷暖房可能床面積

使用場所	坪数	席数
一般オフィス	30～40坪	
ビル内のオフィス	35～45	
銀行	30～40	
病院	25～35	
精密機械室	35～45	
理髪店	25～35	
食堂		40～50人
喫茶・レストラン		35～45

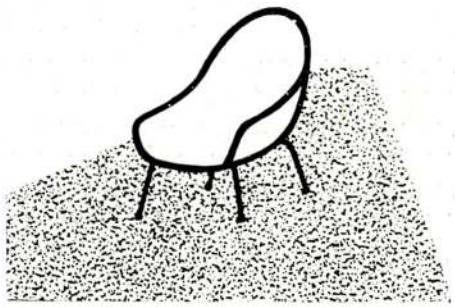
ガスエア・コンディショナー

正価
¥ 700,000
12カ月払もございます

くわしいことは大阪ガスの営業所・出張所へお問合わせ下さい

大阪ガス

皆様の設計と施工に東洋の床材



リノリューム
リノタイル
ビニール系新製品
ビニラートタイル
ビニール製
スポンヂシート

◇ソフトな感触
◇優秀な耐久力
◇美しい色彩

カタログ進呈

東洋リノリューム株式会社

本社工場　兵庫県伊丹市伊丹558
　　電話伊丹(代)3531・大阪(48)4490
東京支店　東京都中央区銀座4丁目三和ビル
　　電話京橋 ⑯ 1701・2564
大阪事務所　大阪市東区瓦町2丁目三和ビル
　　電話北浜 ㉓ 0375～0379



セメダインを用いて施行された
ノンスリップ（新朝日ビル）

施工法を一変した

“液体のクギ”

セメダイン
NO. 195…木レンガ・ノンスリップ
テックス・ハードボード等
をコンクリート又は木部へ

NO. 601…合板・内装化粧板・クロス類の接着

NO.1500…金属・ガラス・プラスチックスの接着

建築用 セメダイン

発売元 東京セメダイン商事株式会社 東京都千代田区神田五軒町3 (83)3131
大阪セメダイン商事株式会社 大阪市南区大宝寺町東之丁41 (27)3456
名古屋セメダイン商事株式会社 名古屋市中区上前津町 (24)0845

特許

平川-MPボイラ

煙管式ボイラの「革命兒」現る！

経費節減527万円の利益を生む

☆高性能・輻射型
☆石炭・オイル・ガス焚
☆1年間(7200時間)の燃料節約額

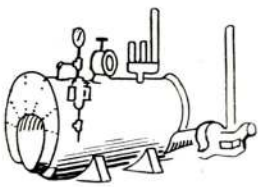
7′×30′ランカシヤボイラと
比較して

527万円益

(但し E.E.2000kg/hr.
6000カロリー石炭6000円/屯
1日24時間1月25日として)

大阪府立工業奨励館
公式試験成績

汽缶効率 81.2%
石炭焚にて
排ガス温度 197℃



◁営業科目▷ 平川～水管ボイラ、平川～機関車型ボイラ
平川～竪型ボイラ、外ボイラ全般・輸送機械

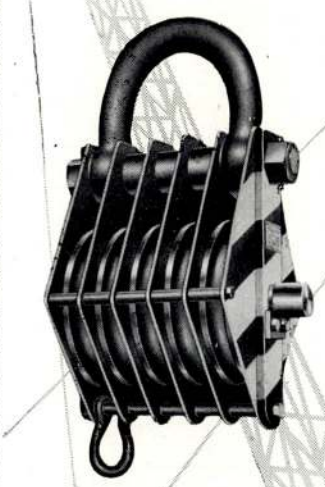
株式會社 平川鉄工所

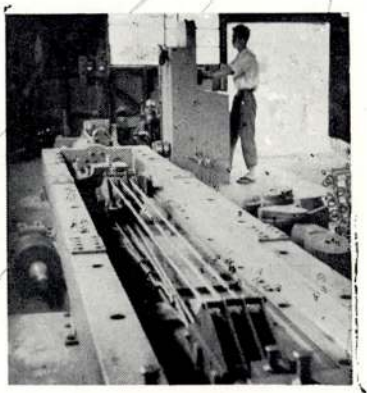
本社・工場 大阪市大淀区大仁西2の1 電話福島㊾1975－8
東京営業所 東京都中央区八重州6の7 電話㉘5883・7787－8
九州出張所 福岡県小倉市富野545 電話 小倉⑤1362

強力型 重荷用 鉄ブロック スナッチ

MKK

技術・性能・信用を誇る
安全度の高い





アムスラー油圧式横型引張試験機
（日本海事協会検定No. 3788）
製品は本機によって試験す



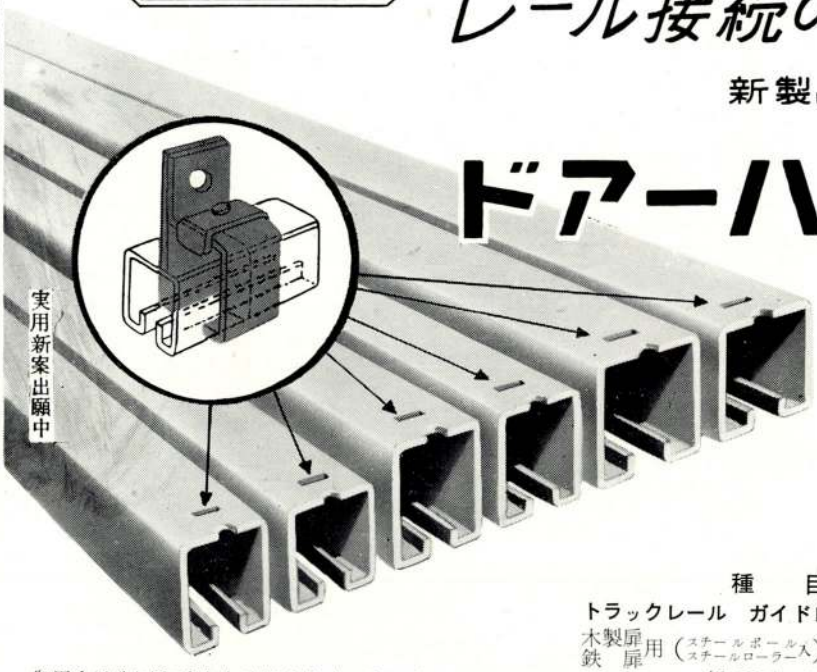
御用命は全国有名土木機械工具
金物店へ御照会願います

MKK

レール接続の革命！

新製品 完全防錆

ドアーハンガー



実用新案出願中



御用命は全国各地有名建築金物店へ御照会願います

種　目

トラックレール　ガイドレール　カーブレール

木製扉用
鉄　扉用（スチールボール・スチールローラー入）複車・単車ハンガー

軽 50㎜, 60㎜, 70㎜

その他ブラケット附属品一切

株式会社 三谷製作所

東京都足立区高野町二一八番地

TEL　足立 (88) 4048・4239

東陶の衛生陶器と付属金具

L-92 に代る

L-220

オパール
OPAL



ビル・アパートはもとより一般住宅にも御採用頂けるよう寸法や価格の点では従来最もよく御愛用頂いていた製品L－92を基準として考慮いたしました。

Toyotoki

東洋陶器株式会社

本　社
小倉市篠崎町458
TEL ⑤2481～5

大阪営業所　大阪市東区伏見町5の3　TEL ㉓4518～9
各地営業所　東京・名古屋・小倉・広島・高松・札幌

茅ケ崎工場
神奈川県茅ケ崎市
TEL　2105～8

定　価

陶　器(1級)L 220 ¥ 2,900

金　具 (Toyotoki印)
立水栓 T205Y
@¥ 600 (2個) ¥ 1,200
止水栓 T4AY
@¥ 670 (2個) ¥ 1,340
排水金具 T6P　¥ 1,210
バックハンガ
取付木ネジTL220D ¥ 200

計　¥ 6,850

参考定価

陶　器(並級)L 220 ¥ 2,320

金　具 (TTK印)
立水栓 K205Y
@¥ 510 (2個) ¥ 1,020
止水栓 K4AY
@¥ 570 (2個) ¥ 1,140
排水金具 K6PC ¥ 1,037

ビニール製　壁・襖貼材料

ロンフイックス



特殊加工がしてありますから，どんな糊でも又素人でも容易に貼れます。
インク，油，手垢等の汚れも石鹸水できれいにとれて水拭が可能です。　(特許出願中)

床材料の決定版！

ロンリウム
(ビニール製)



東京地下鉄・東急，新車に使用されています。
それは感触が柔らかく，手入れが簡単でしかも毎日多数の乗降者に耐え得る等その特性が他の床材より優れている事が認められたからです。
標準寸法幅6尺×長30碼×厚2.5粍(1巻15坪)

川口ゴム工業株式会社

東京都葛飾区本田四ツ木町54　電話葛飾 (69) 1946—9
(全国有名内装工事店に御照会下さい)　(カタログ贈呈)

昭和33年10月

会と催

宇宙の宮見学会

宇　宙　の　宮　見　学　会

1. と　き　10月18日(土) 午後1時15分(集合) —5時 (解散)
1. 集合所　本　会　前 (大日本土木kkご提供の貸切バスで出発)
1. 申　込　15日までにお申込みのこと，定員 (70名) に達した時は〆切ります。
1. 建物概要

設　計　遠藤建築事務所
施　工　大日本土木株式会社大阪支店
所在地　箕面市新稲
工　期　(着工) 昭和32年12月 (竣工) 昭和33年10月

敷地面積			7,425m²
建築面積			
宇宙殿	社殿		314.14 m²
	地階倉庫		78.50 m²
	一般倉庫		235.64 m²
	計		628.28 m²
白百合荘	本家		297.63 m²
	ポーチ及バルコニー		61.22 m²
	計		358.85 m²
月星殿	修練道場		200.40 m²
	階段室	1階	5.814m²
	〃	2階	5.814m²
	鐘楼	3階	5.814m²
	廻廊		59.089m²
	計		271.931m²

構　造　SRC 及び RC 構造
特長及び用途　ドーム型の社殿で礼拝及び修練場

第2回古建築見学会
大阪府下の古い町家と農家を見る会

1．と　き　10月19日（日）午前10時（集合）—5時（解散）
1．集合所　大阪駅西口バス駐車場（貸切バスは京阪バスを使用）
1．申　込　16日までに会費（350円•別に補助あり）を添えて申込みのこと。定員（50名）
1．行　程　大阪駅前よりバスで出発→山口勝氏邸（堺市）→井上関右衛門氏邸（堺市）→吉村松坪氏（高鷲村）（昼食）→森田三郎左衛門氏邸（古市町）→大阪駅前で解散
1．昼　食　各自携行のこと。
1．解説者　浅野　清氏（大阪市大教授・工博）

堺市内の町家（山口勝氏邸・井上関右衛門氏邸）

堺の町は中世紀末に発達した由緒あるものであるが，大阪夏の陣の戦で町の大半が焼かれたと云い，今度の戦災でもまた殆ど焼かれてしまったので，古い家の残る数もいよいよ僅かになってしまった。その中にあって，

山口勝氏邸（錦ノ町東一丁）は最も重要なもので，江戸時代の中期に敷地も拡大され座敷や蔵等を増築しているが，主屋のみは極めて古く，他の例と比較してみるに，恐らくは慶長，元和の頃にさかのぼるものと考えられる。元堺の庄屋をしていた家で，由緒も正しく，相当改造をうけてはいるが，古い上位の町家の有様をうかがうことが出来る。当初から瓦葺とされ，妻正面で部屋と土間が縦割にされているのはめずらしく部屋は二階建，土間は屋根裏を見せ，太い梁や桁が見事にかけわたされる。

鉄砲鍛冶屋であった井上関右衛門氏邸（中浜町）は江戸時代の初期に間口3.5間の小さい店から発足して，その末期には四棟通計間口17間の家となり，扉構や玄関，大座敷までつくようになった経緯が判って興味がある。（建築と社会誌，本年1月号の記事参照）

南河内の農家（吉村松坪氏邸・森田三郎左衛門氏邸）

次に南河内郡南大阪町にある代表的な格式ある農家を二つ見る。一つは島泉にある大庄屋の家吉村邸（重要文化財），他は古市の町中にある庄屋の家森田邸である。何れも江戸初期に建てられたもので，勿論部分的には改造されてはいるが，古い豪農の家をしのぶには充分である。特に吉村邸は先年の解体修理の結果主屋を元の状態に復原したので，古風な味をよく出している。中でも桁行四間，梁間四間半にわたる大きい土間を構えるために大梁を二本かけ渡したのは壮観であり，納戸廻りの古風な扱いも生活的に興味を引く。

又これらの庄屋の家の主屋は古風で民家特有の構造を持ち，丸太梁上に簀子天井をあげ，叉首組の藁屋根を持つのであるが，別に都風な客向の座敷を設けており，座敷飾りの意匠や庭への処理等興味深く，別に客専用の玄関，手洗い等が設けられ，封建時代の客に対する格式張った考え方を如実に見ることが出来る。吉村邸の座敷は柱に面皮附のものを用いたりして，数寄屋風の処理をされているが，これは少し時代が下ってからの改造の結果ではないかと考えさせられる。

第3回若い会員の集い

第3回　若　い　会　員　の　集　い

1．と　　き　10月24日（木）午後6時～8時
1．ところ　本会地下集会室
1．テーマ　"建築の工事監理について"

当日は，官公庁・設計事務所・建築業から関係者に御出席をいただき，テーマについて話し合いたいと存じます。会場の都合もありますので20日までにお申込み下さい。

桂と修学院離宮見学会

秋の桂離宮と修学院離宮見学会

本会恒例の標記離宮見学会を下記要項により催しますから，折返し往復ハガキでお申込み下さい。尚開催日時は宮内庁京都事務所の許可次第お知らせします。

記

(1) **申込方法**　申込は往復ハガキに限る。往信用に　(1)希望離宮名（1ケ所に限る）(2)氏名　(3)年令　(4)勤務先及び職名　(5)現住所
返信用に差出人住所氏名を記入のこと。

(2) **参加者の決定**　15日までに到着のハガキにより抽せん（事業委）を行い予定人員各離宮共30名を選び参加者に通知する。

(3) **見学予定日**　11月初旬か中旬の予定

本会協賛の展覧会

本　会　協　賛　の　展　覧　会　開　催

1．名　　称　第4回プラスチックス総合展
1．主　　催　大阪市　プラスチックス技術研究会外
1．会　　場　大阪なんば　高島屋3階
1．会　　期　10月28日—11月2日
1．展示品　構造材方面におけるプラスチックス製品を中心展示さる。
1．協　　賛　日本建築協会外

第5回鉄筋コンクリート技能講座

第5回鉄筋コンクリート
技能講座

於 大阪建設会館　　(詳細：9月号会告参照)

日　程	科　目	講　師
10月6日（月）	材料(水と混和剤を含む)	大阪市立都島工高教諭　益尾 辰雄 氏
10月7日（火）	試　験　法	大阪大学教授・工博　奥島 正一 氏
10月9日（木）	調　合	株式会社 大林組　谷口 尚武 氏
10月10日（金）	工　法	株式会社 大林組　寺沢 一夫 氏
10月13日（月）	工　法	清水建設KK大阪支店　金子 豊 氏
10月14日（火）	特殊工法	株式会社 竹中工務店　笠原 正幸 氏

実習：於大阪生コンクリート佃工場

第2回現場管理実務講習会

第2回現場管理実務
講習会

於 大阪建設会館　　(詳細：9月号会告参照)

月　日	科　目	講　師（敬称略）
10月2日	建築工事の着工から竣功迄の業務総論（契約，支払などの事務手続を含む）	大阪市調度課　田中三郎
10月4日・10月7日	現場に関する諸法規とその手続	(株)大林組 工務部　浅野繁雄
10月9日・10月11日	建築労務者の管理	大成建設(株) 大阪支店総務係長　野村増治
10月14日・10月16日	現場における危険防止，災害予防とその措置	(株)竹中工務店 労務課長　堤東一郎
10月18日・10月21日	仮設物と仮設材料の管理	(株)松村組 監査役　政岡基次
10月25日・10月28日	機械器具，工具類の管理	(株)竹中工務店大阪工作所機械課長　楠瀬泰雄
10月30日・11月1日	材料の検収とその管理	(株)鴻池組 事業所主任　横山裕
11月4日・11月6日	土工事，基礎工事，排水工事の施工と管理	(株)森組 取締役　渡辺秀幸
11月8日・11月11日	鉄筋コンクリート工事，鉄骨工事，防水工事の施工と管理	清水建設(株) 工事主任　鬼頭寿郎
11月13日・11月15日	木工事，屋根工事，金属工事，雑工事の施工と管理	鹿島建設(株) 建築部長　岩下久哉
11月18日・11月20日	石工事，タイル工事の施工と管理	(株)藤木工務店 工務部長　矢野豊作
11月22日・11月25日	左官工事，塗装工事の施工と管理	(株)銭高組 技術部長　七尾健三
11月27日・11月29日	設備工事の施工と管理	(株)大林組 建築部次長　高橋誠義

会費払込みお願い

10月10日付で，本年度下期会費の御請求を申しあげますので，本月号挿入の振込用紙御利用の上，至急御払込み下さるようお願い申しあげます。

建物クリーニングの店

住宅美素工事の創始者

◎ビルディングの洗浄工事
◎建物外塗サンドブラスト工事
◎建物外壁各種吹付工事
◎建物外壁シリコーン防水工事
◎月極め清掃工事
◎木造建築洗浄美素仕上工事

株式会社 **美素工業所**

大阪市東区瓦町二丁目(三和ビル)　電話㉓4938・5888・㊼8050

三和シャッター



最高の技術
最低の価格 最大の保証

日本スプリングシャッター協会々員（大阪）
日本軽量シャッター協会々員（東京）

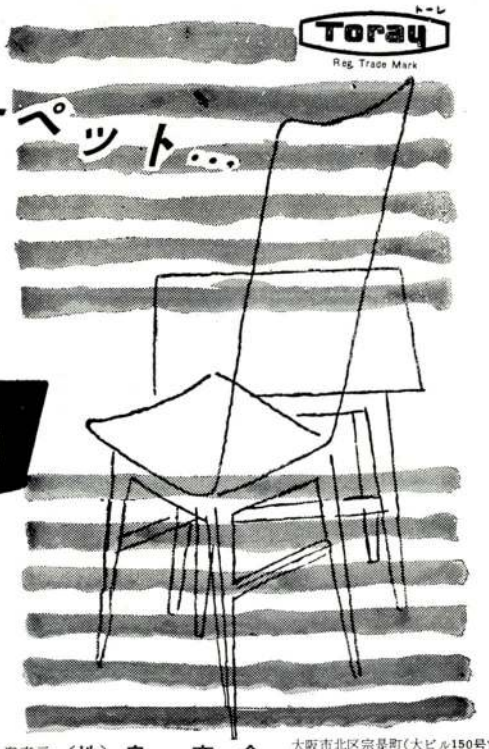
株式会社 三和シャッター製作所

本　社　尼崎市久々知字コエ23 電話大阪(48)2959・9748
営業所　東京 札幌 福岡 名古屋 長崎 四日市 京都

（カタログ贈呈）

絶讃！ナイロンカーペット…

東レナイロン絨毯 ・緞通は100%スパンナイロン糸を使用したもので・摩擦に強く・弾力性に富み・吸塵性が少なく・虫の害を全く受けません



東レナイロン

絨毯・緞通

このほか価格低廉な 100%レーヨンによる
東レカーペットも好評を博しております

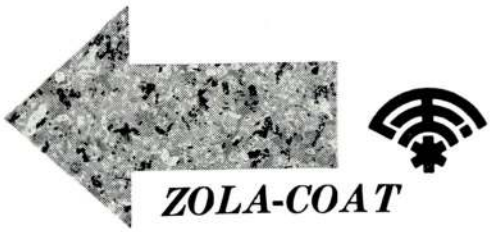
東洋レーヨン株式会社

発売元 (株)泉 商 会
大阪市北区宗是町(大ビル150号)
電 (44) 2736～9



米国特許 No. 2,591,904
英国特許 No. 760,605
日本特許 No. 231,698

関西ペイント
大阪市東区伏見町5丁目27



ZOLA-COAT

新しい塗料から生まれる新しい環境

コンクリート・モルタル・プラスター・木材・金属紙・繊維・皮革・その他あらゆる材料に深さと魅力を与える高分子粒子状多彩塗料

A Plastic Coating, Multi-color Paint

ゾラコート

●カタログ御希望の方は当社宣伝課迄御申付け下さい。

建築と社会

10

室内デザイン特集

1958年10月号目次

表紙について

デザイン：岩本博行

コロシオムより見たコンスタンチンの凱旋門（ローマ）：コロシオムの見学を終って帰ろうと思ってふりむくと，美しいアーチを越してコンスタンチンの凱旋門が見えた。この凱旋門のアーチもまた美しい。そして，古きものと新しきものと。　撮影：徳永正三

巻頭の言……東畑　謙三…8

作品作風

大阪瓦斯KK心斎橋サービスステーションおよびKK寿屋多摩川工場P. R. 室……安井建築設計事務所…9

家具—事務的なスペースにおける—……大成建設KK大阪支店…12

某商事KK社長室・他……大阪建築事務所…15

室内デザイン 十数点……日建設計工務株式会社…16

家具と装飾の試み……大阪・三座グループ…20

1957年 La Chambre Charmante 展 出品作品……樋口　治…22

安楽椅子・飾棚—市田KK京都支店—……小河建築設計事務所…24

多用室の室内……中村建築研究所…26

建築の眼……30

本文

室内デザインに関する座談会

—建築家・室内意匠家・美術家の三者の考え方をめぐって—……31

室空間の基底的機能……足立　孝…38

建築以外のインテリアー・デザイン

二つの例によって…あるぜんちな丸と特急あさかぜ……樋口　治…45

家具の Ready Made について……角尾　篤彦…56

家具の Order Made について……上田　幹一…59

テキスタイルについて……笠井　篤…61

絵画と室内デザイン

——新大ビルの大理石モザイクタイル——……矢橋　六郎…64

室内デザインと彫刻……槙木　茂…66

大阪の建築をめぐって

——浜口隆一氏を囲んでの座談会——……67

会合（8月分）……73

建築と社会
第39集・第10号
売価　1部180円・送料共
昭和33年10月20日印刷
昭和33年10月25日発行
発行所　社団法人　日本建築協会
大阪市東区北浜3丁目37
電話　北浜㉓ 9648・9649・9640番
振替口座大阪39975番
発行人　神田誠一
編集人　松井昭光
印刷所　株式会社研文社
大阪市北区堂山町66
電話 ㊱2091～3番
印刷者　網野栄

巻頭の言

室内装飾

東畑謙三

室内装飾という言葉は Inner decoration の訳語であるが，今日の建築界にあって，これがいわゆる建築技師のうけもつ役目であるかというと若干の疑問がある。ロマネスクであるとか，ルネッサンスであるとかの様式時代において建築の内外とも同じ様式のテーマの下に一貫して計画されていた時代では，塔の尖端から家具の足に到るまで一定の様式にあてはまり，一人の建築技師の Idia の下に一定の様式に統一されていた。今日の建築界では家は単に住むだけでなく，生産への一つの機構であったり，また種々な目的に向っての環境の造成であったりする場合には，家そのものの考え方が変ってきた。その上これを造る建築材料も年々進歩して石レンガと木であったものが，プラスチックや合成化学製品やステインレスなどに変化している。また生活の変化はその周辺使用器具の変化をきたし，これまた日々進歩した製品が製産される。このように幾重にも変化と進歩のあるものを素材として構成さるべき室内は一人の技師の術ではとてもまとまるものではない。椅子専門，壁面専門，照明専門という風に各々の専門家の術のオーケストラとならなければならぬ。そして建築技師の立場はオーケストラのコンダクターの立場であらねばならぬ。

近代建築の指導精神は合理的で構造に忠実で材料を生かせということであるが室内装飾の場合にもこの指導精神に変りはない。たとえばゴムクッションのパイプ椅子を設計する場合，人体の寸法を考えて座りやすく考え，ゴムの耐久弾力を科学してその型を考え，鋼管の特性を上手に活して使用して始めて優秀な形が得られるのである。いわゆるインダストリアル・アートに到っては，どこまでもインダストリそのものを熟知してこそ始めてアートが出来るのであって，インダストリアル・デコレーションではないのである。

今日の合理主義的な住宅，ことにアメリカの住宅をみると，家そのものは割合にお粗末であるが，室内は極めて豊かである。おそらく建築が40で室内設備が60位の割合であろう。私はいつもこれを建築のエンゲル系数というあらわし方をしている。申すまでもなくエンゲル系数とは経済学において主食費が全生活費に対する百分率であって文化生活の尺度を定める一つの指数である。終戦前後は90位であったのが現在では45位ではなかろうか。生活の内容が豊富になるにしたがって室内設備のうけもつ範囲が次第に増してくることは事実である。この方面の技術や生産施設がますます重要視されるようになるであろう。

最後に一言したいことは世界の装飾界の一隅の日本ブームである。私はあちこちでこれを見たが，その大半はわれわれ日本人にはピンとこないものがある。私はこれはその外形のみの追従で，ことここに到るまでの永い間の精神的な訓練を経てない結果であると指摘したい。単に床の間と花むしろと引障子だけで日本趣味をみせようと思っても仲々困難で単にエキゾチックを味わうにすぎない。桂離宮や竜安寺の石庭もあれそのものをニューヨークの真中へうつしてもあれだけの名作とはみえないであろう。日本へきて日本の生活を味わい，その上あの周辺の環境あってあの名作を味わえるのである。また反対に外国人は曰く，日本人の造った椅子はどうも掛け心地がわるいと。椅子生活が板についた人こそ良い椅子が設計できるのであろう。

（筆者　KK東畑建築事務所所長・本会副会長）

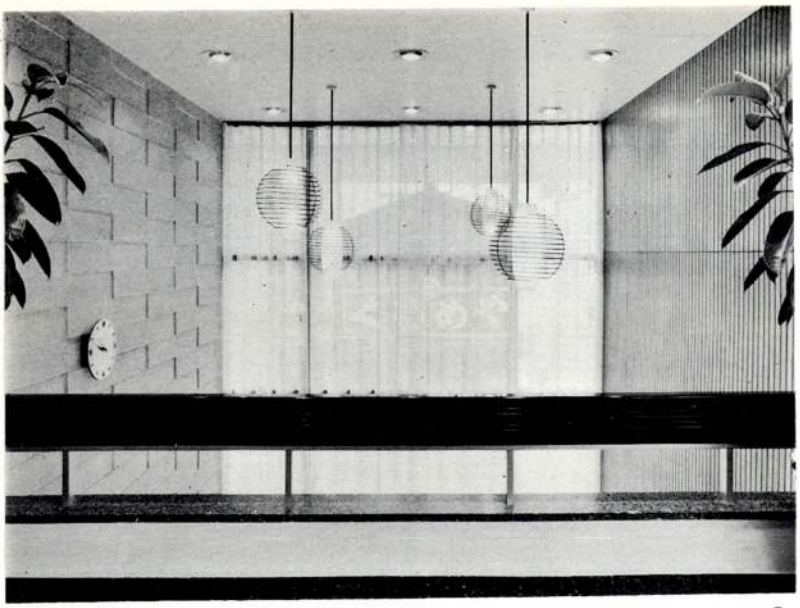


1

1. 大阪瓦斯株式会社心斎橋サービスステーション

設計：安井建築設計事務所

階段：手摺塩地カシュー仕上
腰 アクリライト 板



2

大阪瓦斯株式会社

心斎橋

サービスステーション

心斎橋筋周防町の角にあるガス器具の展示と相談などのサービス施設でPRの目的を果すのが目的。

意匠全体としてガスを中心とした落着いた文化生活を感じ取ることできるようなものにしたいというねらいで濃い調子の床，穴あき硬質繊維板，擬石の壁，調子の高い階段を中心に建築のデザインを進め家具および照明器具は素材の細部を強調してまとめてみた。

色の調子はえび茶，黒系の濃いものでひきしめてある。

設計	安井建築設計事務所
	佐野正一
	中野孝治
	渡辺敏雄
建築施工	株式会社大林組
衛生	須賀工業株式会社
電気	株式会社大阪電気商会
家具	内外木材工業株式会社
照明器具	松下電器産業株式会社

3



4



2．1階ホールの照明器具
真鍮およびアクリライト製

3．1階内部および2階の見上げ
右：壁面擬石貼
左：壁面塩地ベニヤ羽目板貼

4．2階集会室
壁面三井ボード貼オイルステイン仕上

作者のことば： 室内の雰囲気は形と色と仕上の色の肌さわりで決定的に左右される。

ここにあげた二つの例は何れも今年になって完成した近作で，デザインに共通のものはあるが雰囲気はずい分違っている。

一つはえび茶黒系，他方は黄黒系が基本色で形にも肌さわりにも，はっきり意図を別にして出発しているからだ。

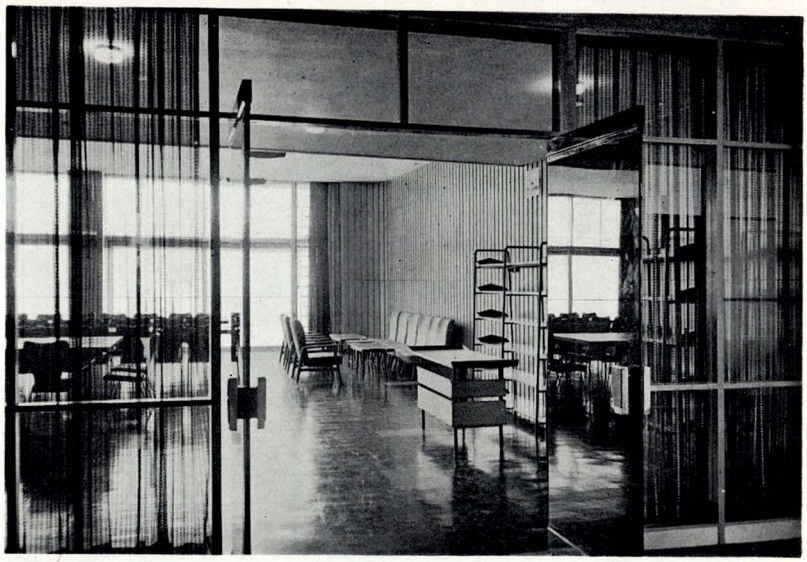
材料そのものは必ずしも最高級品ではないけれども，仕上にはあれこれと施工者には無理をいい駄目を出して夫々の持つ雰囲気を徹底的に出すことに留意したのが，私には苦労でもあり喜びともなった。（佐野正一）

株式会社 寿屋多摩川工場
PR室

川崎市にできた洋酒の寿屋の新工場の中にあるウイスキーなどの瓶詰をするオートメーション工場で参観者は工場巡覧の前後にこのPR室で少憩する，全国の工場網を説明する壁画の裏はPR映画用のスクリーンであり，左手は製品試飲用のバアである。壁は原酒貯蔵用の樽材の廃品を羽目板として使った強い調子，床は黒のマーブルアスタイル，家具と照明器具は工芸的な手法を強調してクラシッカルなモダーンというデザイン，バーの部分は低い堅木貼のカウンターと茶色の乱石にハイライトのスポット照明を仕込んでみた。

設計	安井建築設計事務所 佐野正一 神出津嶺雄 渡辺敏雄
建築施工	東海興業株式会社
木工	岩瀬木工所
アスタイル	藤森工業株式会社
衛生	須賀工業株式会社
電気	株式会社大阪電気商会
冷暖房	朝日工業株式会社
照明器具	松下電器産業株式会社
家具	高島屋
壁画	寿屋宣伝部
カーテン	大丸

1. 入口より右壁面をみる
   受付用机：藤はり
   携帯品預棚：パイプ製
   安楽椅子：黒ビニール貼
2. 左壁面壁画
   裏スクリーン
   椅子積重ね式
   シート黒ビニール貼
3. バア部分
   椅子：堅木削り出し
   折たたみ机



1



2

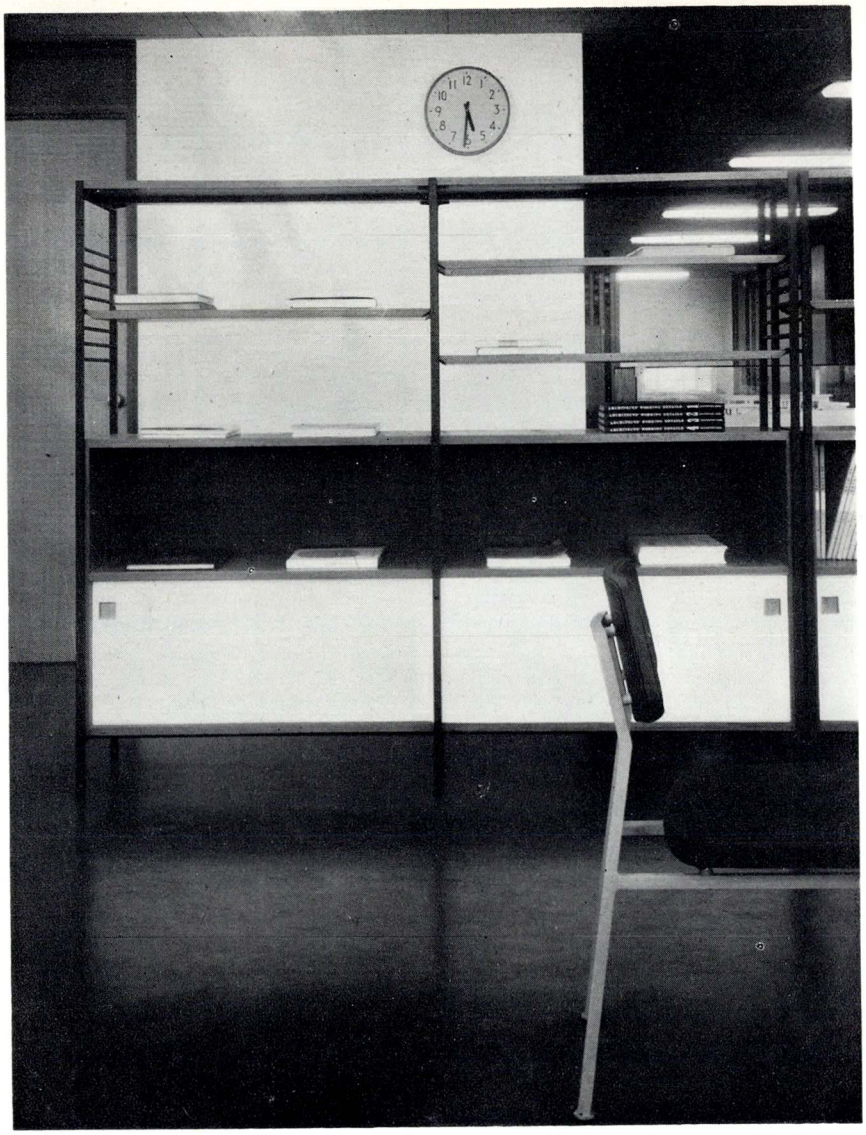
3



家　　具

— 事務的なスペースにおける —

設　　計：大成建設株式会社大阪支店設計課

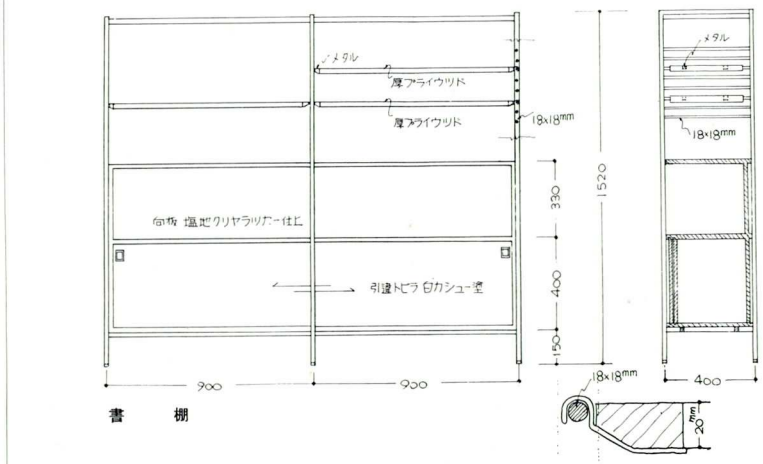


私たちの事務所に使われている家具のうち一般的なものを選んでみた。これ等の家具は純粋に事務的な目的をもつものではなく，事務所の中の接客部分のスペースなどに配置されるものである。

事務用の家具は個人的主観をできるだけ排除し，書類の規格や，その操作方法などの多角的なディスカスの上に，その寸法を与えられるべきものであるが，それとはちがい，これ等の家具はむしろ準事務用の家具というべきであろうか。

しかしながら事務所にある以上はやはり事務用の家具であるのであって，融通性，簡易性か必要であり，また耐久性の占める度合か多くなってくる。形は地味な，そして簡単な使用勝手のものになったが，家具の形態や色調の与える心理的影響を考慮して，使用材や張布地の色調に変化と考慮を加えたつもりである。　　（担当，桜井貞幹，佐久間宏）

製作　KK高島屋　　KKそごう



書　　棚

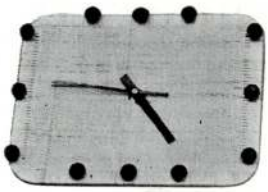
1. 書　　棚

スチール角パイプの骨組により下部の木製のキャビネットを支えている。上部の棚は自由棚になっていて，新着図書の寸法により上下したりする。

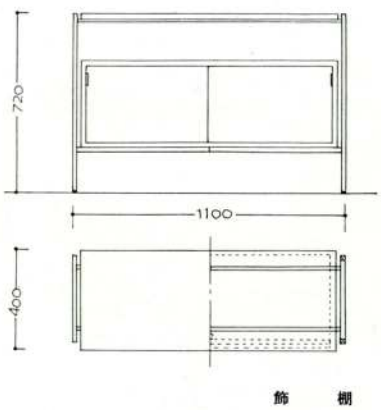
2. 応 接 間 の 家 具



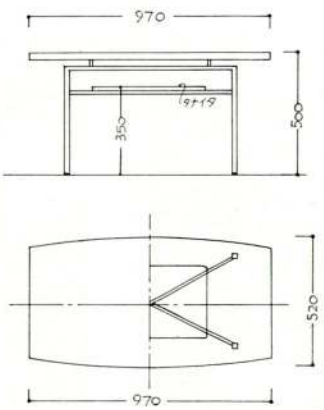
簡素な小応接室を7室。
壁は白ラワン材ネリツケと染葛布貼。家具は同型で，使用材や椅子貼裂地で，各室の調子を変えている。
使用材は，ウオルナット，レオ，プリマベラ，メープル，ブビンガなどである。



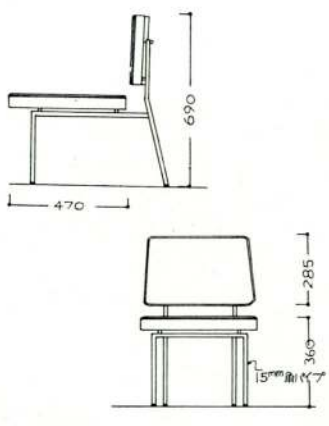
和室にある電気時計
藤張と半円型の鉄鈑（黒色）とによる。



飾　棚



応接卓子



応接椅子



3. 食 堂 の 一 隅

家具の木部は濃色クリヤーラッカー仕上。椅子はビニールレザー貼，食卓の甲板はデコラ貼。

室の壁はヘッシャンクロス貼，天井は有孔合板張オイルペンキ仕上である。食堂の，大勢が家具をうごかしたりする音や，食器の音など，またとくにテレビを置く場合などは，騒音音域の分布も広範囲でなかなか吸収が困難である。



4. 打 合 室 の 家 具

設計室の前のホールを打合せ室とし家具を配置してある。それ等は簡単なパーティションにより隔離されていて，応接間を使用しない程度の事務上の打合せに使用される。

設計：大成建設株式会社大阪支店

5. 簡単な会議のためのコーナー

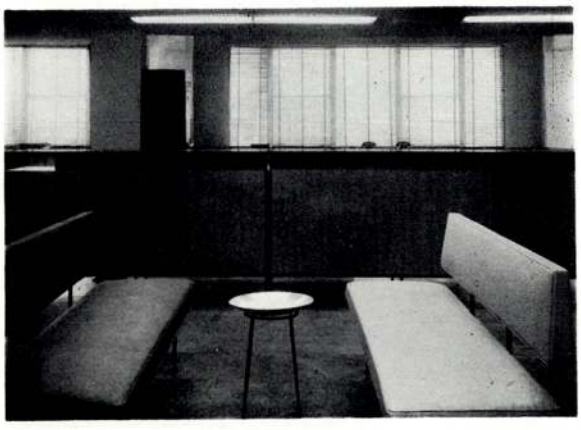
支店長室の一部に，会議のための簡単なコーナーを設けてある。壁はオリベニヤと裂地貼。



6. 客溜ホールのカウンターと待合用長椅子

カウンターは甲板デコラ貼，黒色スチール角パイプにより塩地材のキャビネットを支えている。

椅子は黒と鼠色のビニールレザー貼。この客溜は主として経理の支払その他の用途に使われる。



某商事株式会社　社長室

天井：オイルペイント叩き仕上
床：支那式緞通
壁：川島製裂地貼
家具：ウオールナット練付，クリヤーラッカー仕上，椅子牛皮張







F毛織商事株式会社 売場

天井：プラスター塗
壁：プラスター，ペンキ塗仕上
床：カーペット
階段：手摺，ラワン，マホガニー色クリヤラッカー仕上，手摺子，フラットバー金色エナメル仕上
家具：ウオールナット，椅子，布張
シャンデリヤ：黄銅製，金鍍金仕上，クリスター飾付，16灯



設計：大阪建築事務所

室内デザイン十数点



北国銀行本店特別応接室

壁：オールナット
家具主材：オールナット
飾棚：一部桧材使用
扉部：ツブレン織



C・B・C 会館（中部日本放送会館）

- 下地合板，川島織物製別裂地使用
- 脚スチール丸パー，メラミン焼付
- 灰皿，真鍮WB，脚スチール丸パー，メラミン焼付



神戸市庁舎議場

川島織物製別裂地使用，下地合板。
脚部は寿商店製オートマティックリターン。
スライドバック式とし，床固定。
机は塩地材クリヤーラッカー天板，腰板を脚金物(スチールメラミン焼付)にそれぞれ取付。
脚は床に固定とす。
議員席は約80席。

設計：日建設計工務株式会社



住友生命本社社長室

壁：ウオールナット

家具主材：ウオールナットヒキ板

椅子類：皮貼り，濃紺色



某商社

壁：シオジ

家具：ウオールナット主材，一部プリマベラ

椅子：皮張り



住友生命本社応接室



住友生命本社応接室





各務（カガミ）クリスタル製品陳列棚

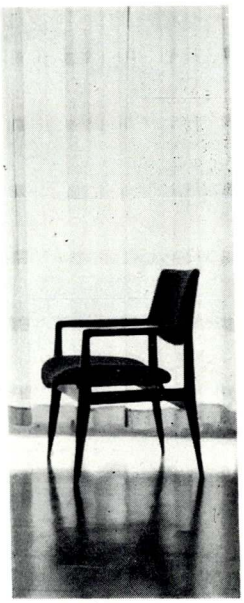
一ブロック，9尺×3尺，柱（引抜真鍮コ型2枚合せ）床，天井固定とし下段棚固定。上部自在棚および取付自在陳列箱をもって構成。自在棚はシオジ3分積層，生地仕上および朱・青・ラクダ色3色のスキラシャ貼り。箱はシオジ積層，向板，色ラッカー仕上，1枚ガラス扉つき。



各務クリスタル特別陳列室

壁：ウオールナット。
壁面陳列棚：乳白エポライト 全面使用。
棚：ガラスおよびビトルグラス。
柱廻陳列棚：備州桧および黒檀。
壁取付陳列棚：備州桧，天ビロウド貼り内部より照明。敷物支那式緞通。





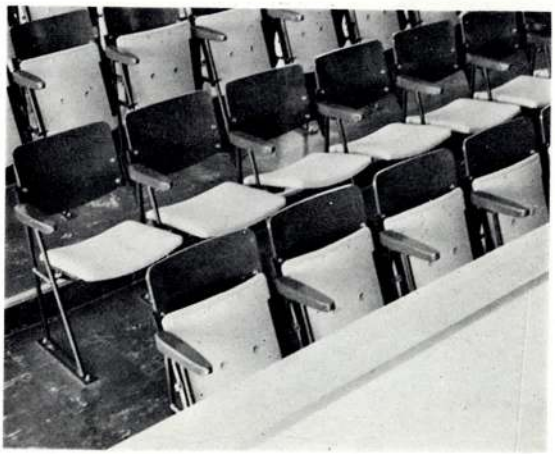
設計：日建設計工務株式会社



出雲市庁舎議場

議席36席の市会議場。壁は出雲産松板，および布貼り。議員机はシオジ材クリヤーラッカー仕上。椅子類は赤と茶色の交織，布地を張った廻転椅子。

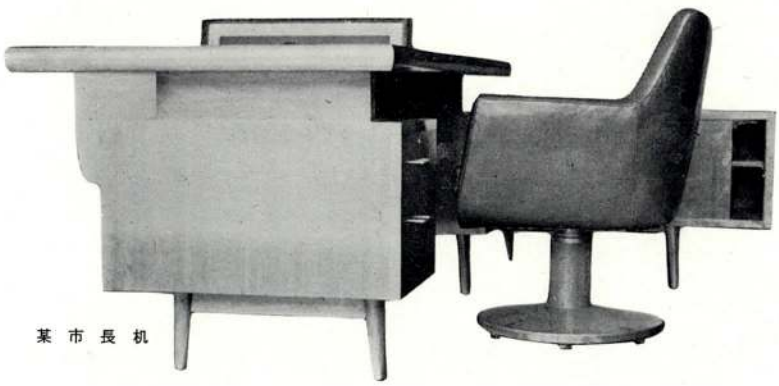




市庁舎議場傍聴席

傍聴席用に考案した簡単な連結椅子。背は4分カーブ合板。座は4分合板。フオームラバー入りビニールレザ張り。脚部はスチールパイプメラミン焼付。





某市長机

家具と装飾の試み

大阪・三座グループ

1. 籐製家具



a

a. 広間セット

板ガラスの鉄足丸卓子を囲む四脚の安楽椅子は籐製。要所の力骨より背，肘掛けのゆるやかなカーブをすべて籐で編み出した。脚は炭素鋼，艶消し黒ラッカーで仕上げた。写真手前に見られる新聞入も同様，籐と炭素鋼で造り上げた。

b



b. 食卓セット

大小二脚の食卓と八脚の椅子からなるセット。卓子はラムバーコア，白色デコラ貼。脚は鉄パイプのメラミン焼付け仕上げ。椅子は籐編み。その脚は炭素鋼，艶消し黒色ラッカー仕上げである。

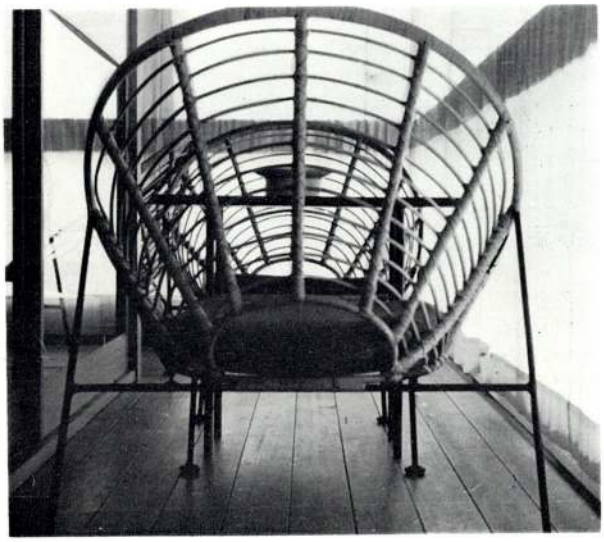
c. 安楽椅子セット

2階和室の縁側に置かれた椅子と小卓子。椅子は籐製。脚は炭素鋼，艶付し黒色ラッカー仕上げ。和室の雰囲気にもマッチするシムプルなシルエットを籐で造り出した。座には布製のクッションを置く。小卓子は塩地材クリアラッカー仕上げで，脚は鉄パイプ，メラミン焼付け仕上げである。

c



c



家具と装飾の試み

大阪・三座グループ



2. カクテル・スタンド

某社，社長応接室に置かれたカクテル・スタンド。ボックスはウオールナット，クリヤラッカー仕上げ。脚部は鉄製，艶消し黒色ラッカー焼付仕上。ツマミ金具類は真鍮製ゴールデン・ブロンズ鍍金。大きく口の開く洋酒瓶のボックスと，二段の90度回転式のグラスの抽出しからなり抽出しの最上部の蓋は，写真のように裏返えすと，給仕盆に転用できる。そして脚部の四個の回転球で随時場所を変え，手軽に洋酒を楽しめるよう設計した。



3. 某喫茶室壁画

喫茶室のインテリヤ・バックの大きな壁面に構成した，直線による抽象的な壁画。壁はフレキシブルボード，カシュー塗料仕上げ。その上に直接，六色の電線用ビニールテープを貼り合せたもの。鮮やかなテープの色の組合せで，何か，お伽の国を想わせる楽しい雰囲気を狙ってみた。

構成は，すべてグループ同人の手で進められたが，ビニールテープの着脱が比較的，簡便であることも，時折雰囲気の変化を求められる，この種建物の室内装飾としては一つの試みであろう。



1957年

La Chambre Charmante 展

出品作品　Design：樋口　治

◀ 肱掛椅子

脚部　：栗　材
ボデイ：成型合板，フオームラバー入
椅子張：純毛テレンプ，手描捺染
　　ホルスタイン牛皮模様
肱のつなぎ：本牛皮

▼ 肱掛椅子と卓子

主材　：脚部は栗材，卓子の天板は楠
　　杢。椅子の座および背は成型
　　合板にフオームラバー入
椅子張：黒色タップス
椅子の肱上の被状腕当は桜材



1957年

La Chambre Charmante 展

出品作品　Design：樋口　治



安楽椅子 ▶

主材　：栗　材

椅子張：純毛テレンプ，手描捺染
　　ホルスタイン牛皮模様

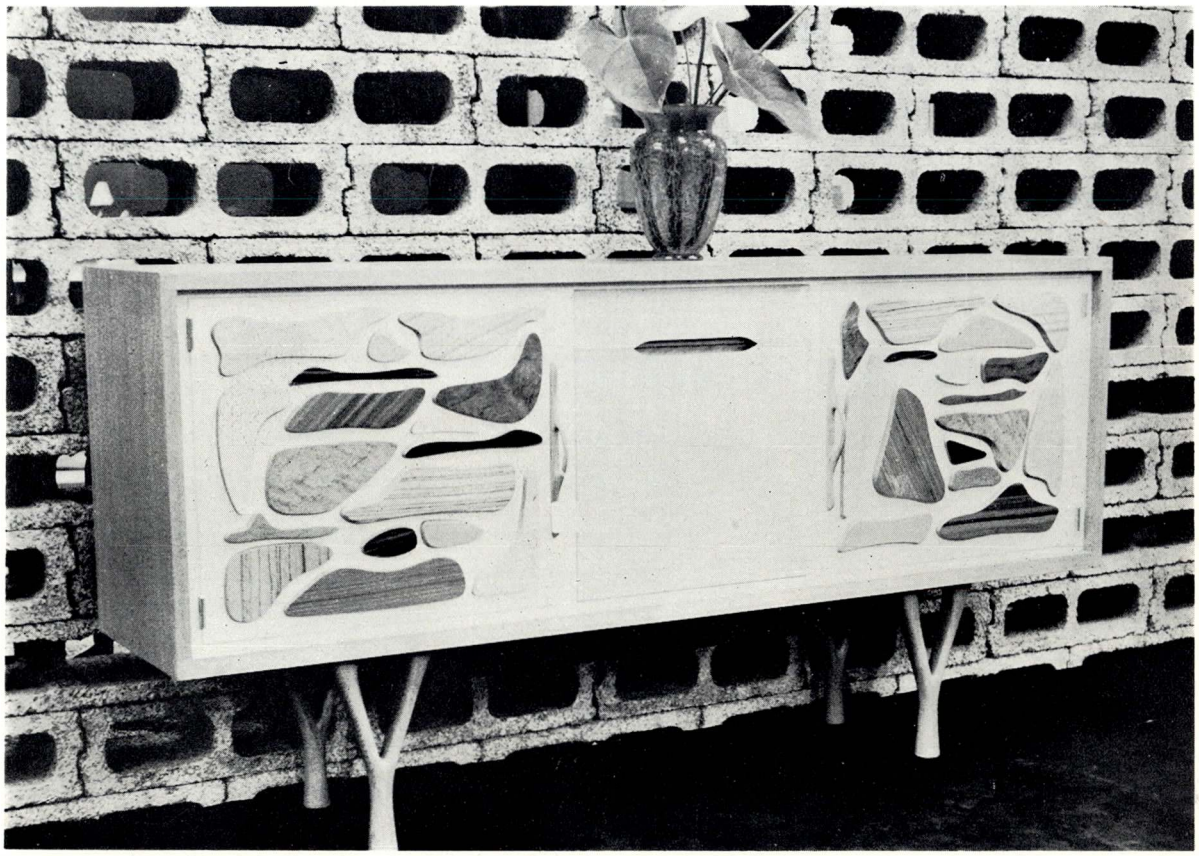
椅子の成型は合板による

飾　棚 ▼

主材　：ボデイの四周はホンヂュラス
　　マホガニ材，脚は栗材

両扉は浮出木象嵌，材料はアンソニア，
　　メープル，ウオールナット，
　　ケバシンゴ，チトラ，朴，ゼ
　　ブラ，黒柿など

中央扉は桧材ラインボード





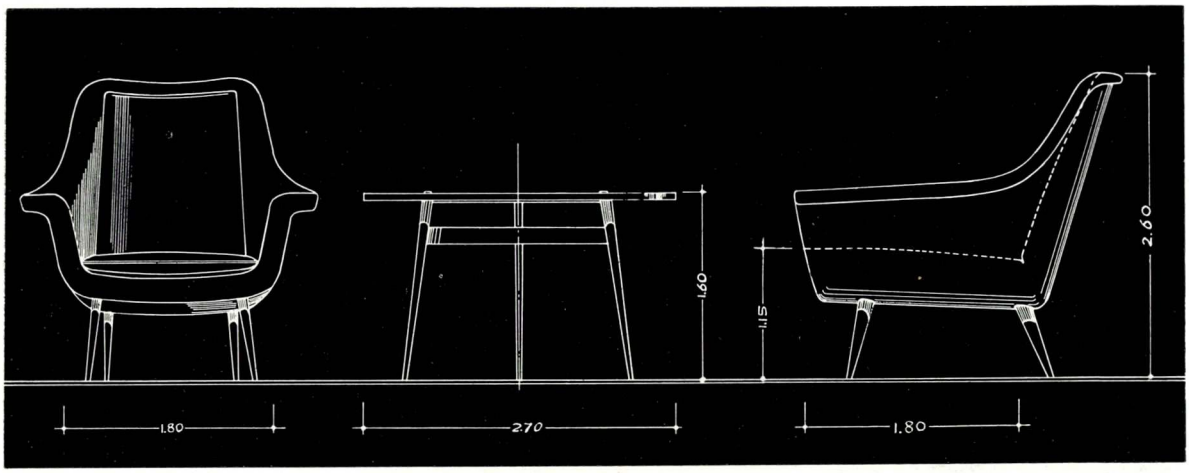


安　楽　椅　子

波スプリングを使用，内部ホームラバー入上張りとし裂地は住興メタライングレイ張り，上部にクッションを設け脚部は金属製ホワイトブロンズ鍍金とし軽く支え軽快な曲線と掛心地のよいことに主眼を置き安楽椅子としての目的に合致するよう考案した。

市田株式会社京都支店特別応接室に配置

設計　小河建築設計事務所
製作　三越　大阪支店





長　椅　子

市田株式会社京都支店特別応接室に配置　　設計　小河建築設計事務所
製作　三越　大阪支店

飾　　棚

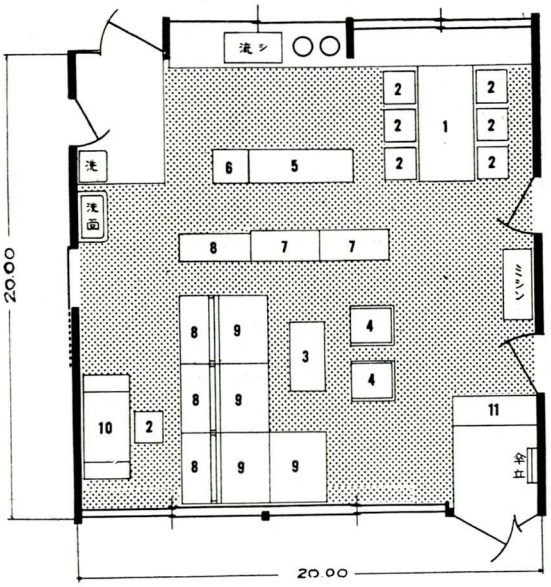
市田株式会社京都支店特別応接室に配置　　設計　小河建築設計事務所
製作　三越　大阪支店

落着いた室内の色調の中に軽快さを加え，またモダンであってもよくない。その室にとけ込む家具でなくてはならない点は充分に考慮し飾棚としての目的を果した。

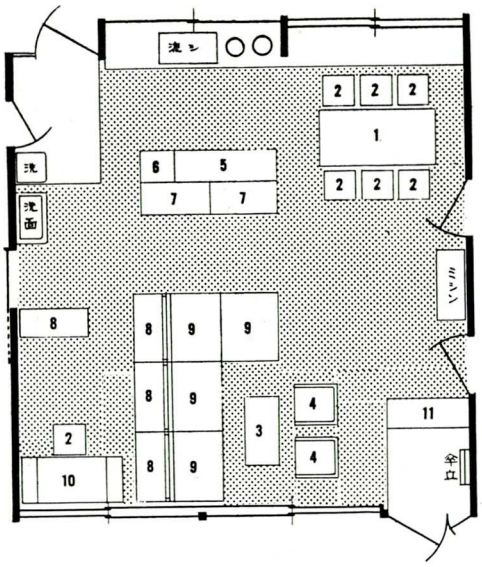
主材はサクラ柾ネリ，正面左右扉はゼブラウッドネリ付，クリヤラッカー仕上，中央部5㍉磨硝子，左右への引戸内部グレー色ラッカー塗り。



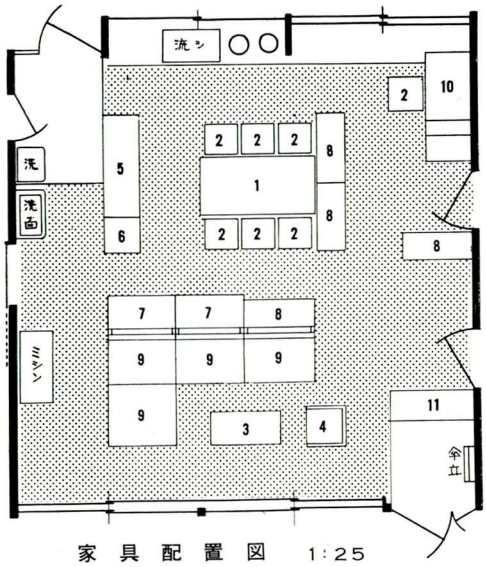
1



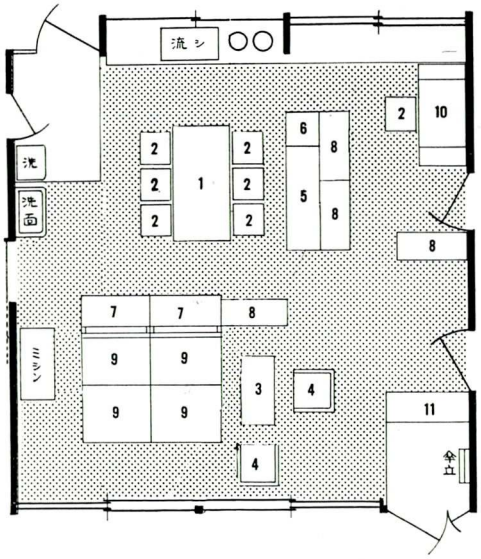
1′



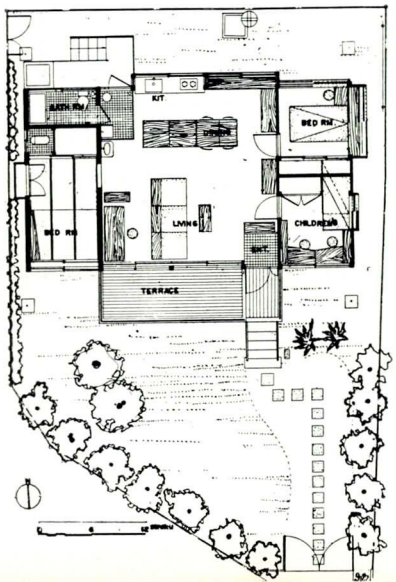
2



3



家具配置図　1:25

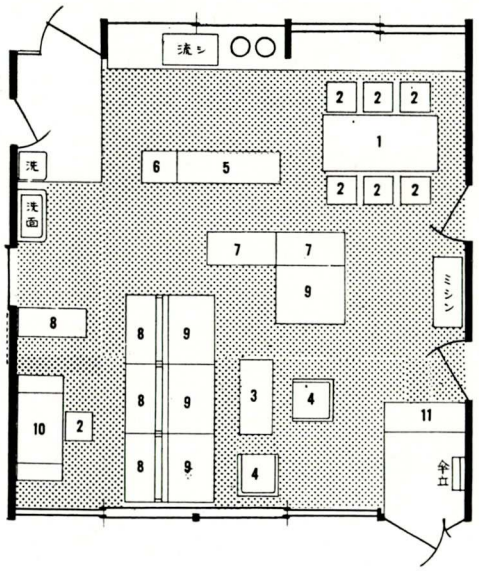


1. 食卓
2. 小椅子
3. 茶テーブル
4. 肱掛椅子
5. 食器棚
6. 掃除道具入
7. 整理タンス
8. 書棚
9. 長椅子兼デーベット
10. デスク
11. 下駄箱兼外套掛

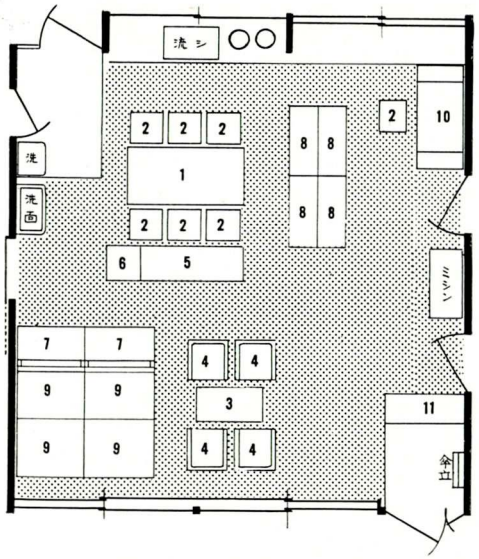
多用室の室内

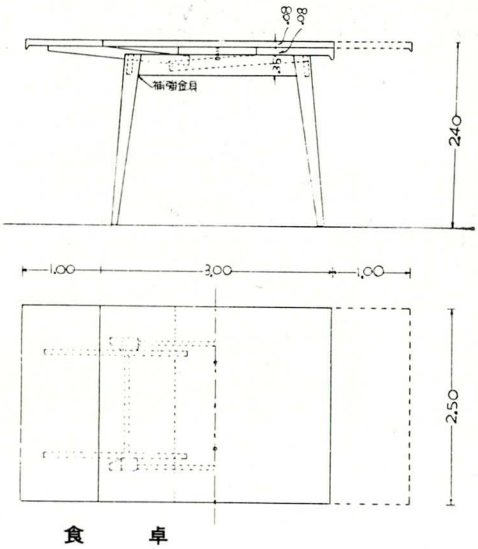
中村建築研究所　中村登一

1″

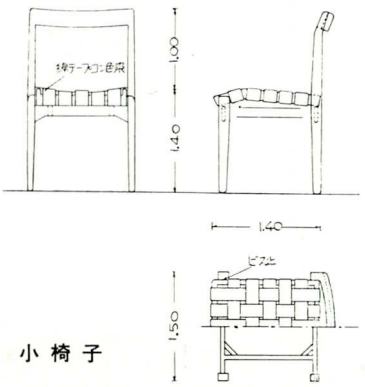


4





食　卓



小椅子

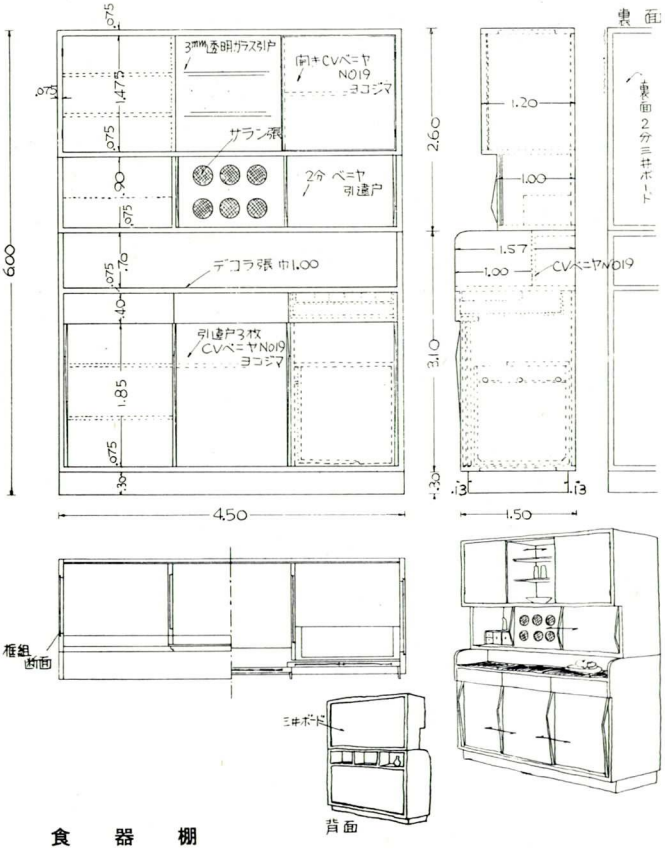
実験住宅として試作したもので，各人の個室を最小限にとり，浴室と便所を一室にした他は，20坪の面積中11坪を1室として，多用室として計画した（左の平面図参照）多用室は，食堂，厨房，居間，応接，書斎，玄関，勝手口，洗濯室，主婦室の10の目的をもっており，各作業は家具によって分離されており，家具配置図の示すごとく，基本的に4つの配置方法をもっている。その他に多数来客があるとき，パーテーを開くとき，多数が製図を書くとき，等々の特別の利用の折々に，変化して利用する。家具は使用目的々に平面区劃に利用し，本箱，整理タンスの背面は，デーベットの背当が，取付は自由で，ソファーとしても利用できる。デーベットは，来客用ベットにも利用し，またタタミ床のようにも利用する。多用室用家具は，実用家具なので，ラワン材を利用すると，全部で12万円でできる。将来市販品となれば，半額ほどとなると思うが，多用室の利用が一般家庭に用いられるようにならないと無理でしょう。多用室は開放的な生活態度の人でないと利用できない。日本の住宅はまだまだ閉鎖的であるので，見学するとよいと言うが，実際に利用されるのは，今の若い人々が家を作るときからであろう。

多用室の一部

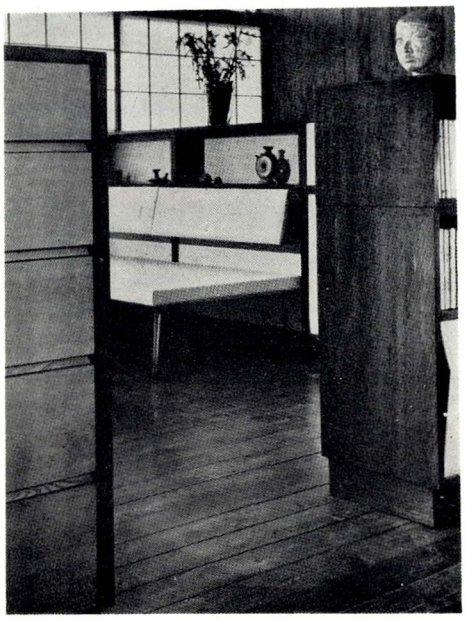




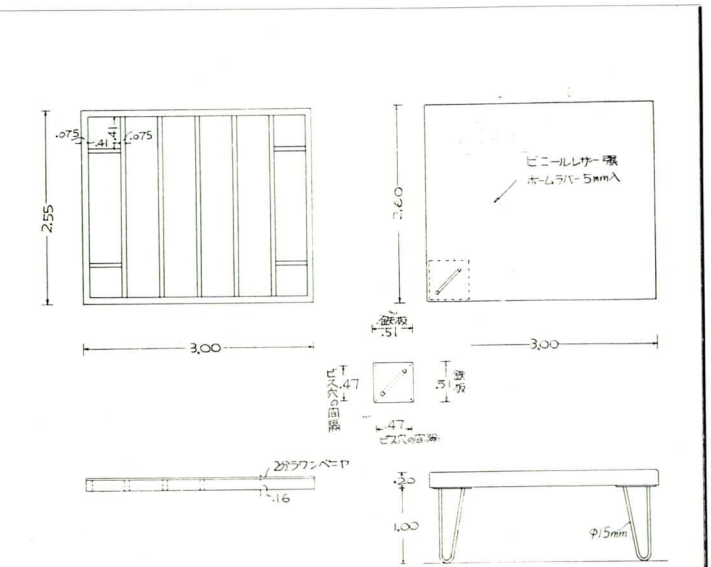
左：食器棚　　台所部分



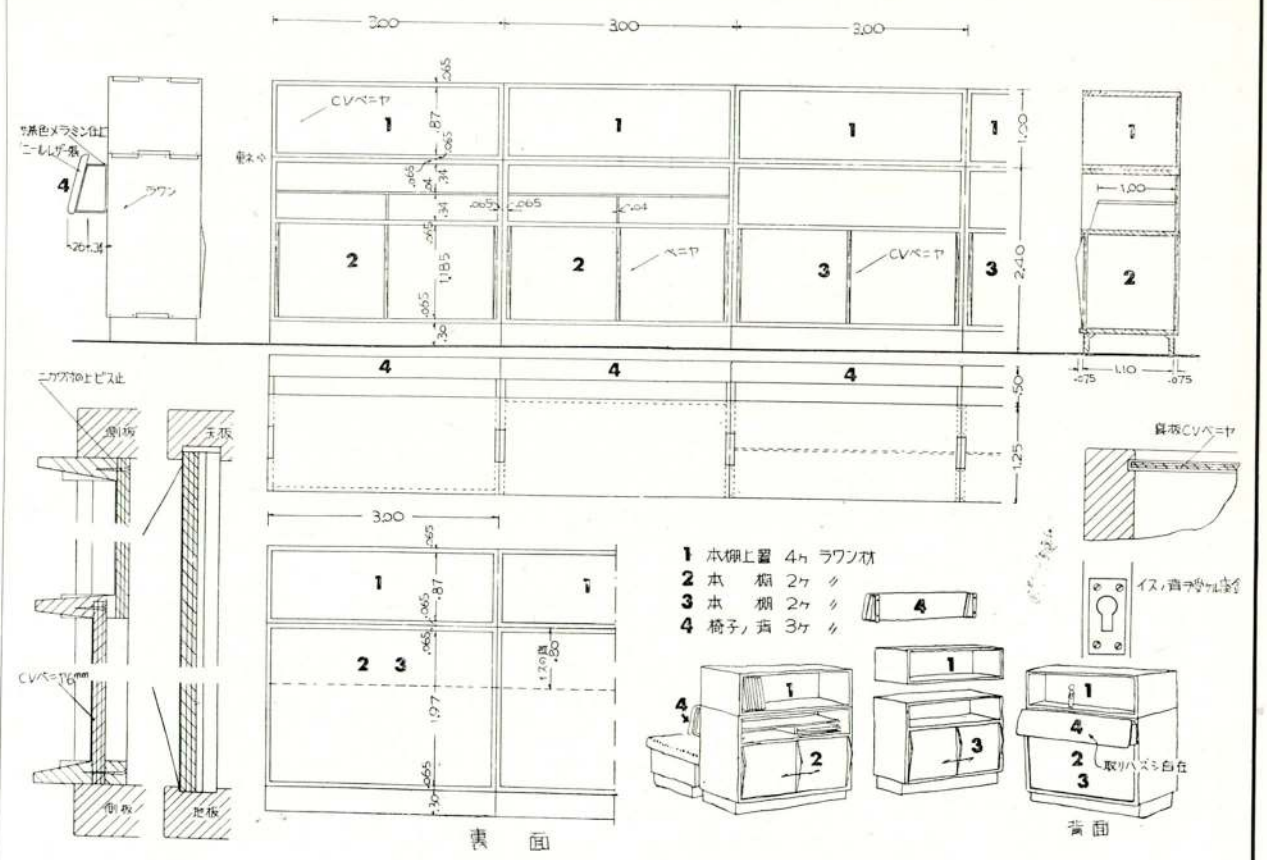
食　器　棚



居間部分をみる　　長椅子兼デーベットがみえる



長椅子兼デーベット



多用室の西側をみる

書棚の背面と長椅子の組合せ



流行の効用

ルーバーが大いに流行した。

日射の防止や，昼光の調整の要求が，急に高まったからではない。どんなルーバーを作ればよいかという問題が，最近になって，やっと解決したからというわけでもない。

流行である。

役に立っていないものや，かえって室内をうっとうしくしたものなどがあっても，やむを得ない。

すでに古臭く思われ，下火になっているのも，流行である以上は当然の運命である。

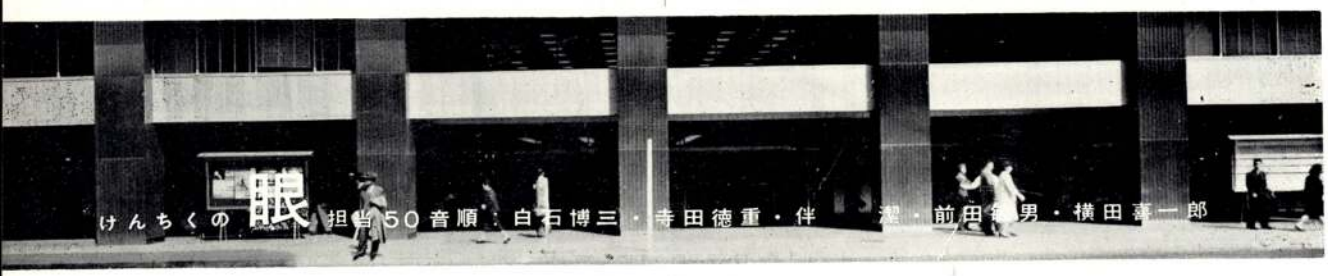
だが，単なる流行が動機であるにしても，環境調整を看板にしたものが，麗々しく建物の外面に押し出されたこと，このようにして，一度手に入れた技術は，必要な場合には，地道に使われるだろうということは，流行の大きな効用である。 (MT)

建築の性能表

建物が新築されて間もないあいだは，その建物の写真設計図，計算書の類は大切に保存される。しかしときが経って10年15年となると設計図はどこに入れ忘れたのか，計算書はどこへやってしまったのかトント判らない場合が多い。

この時分になると建物の模様替が計画される。壁に孔を開けたり屋上に増築したりする類いである。既存の建物の性状が設計図書類の行方不明によって，さっぱりつかめない。仕方がなく半ば盲滅法的に模様替工事をやってしまうという例は果してないだろうか。

そこで提案したいのは，柱や梁に設計時の直圧力Pや曲げモーメントMの値を書き入れた金属板を，眼で見られるところに工事中に装てんすることである。小さいモートルでも，また貨車でも全部にといっていい位に性能表が金属プレートに書きこまれている。建築物のような大きいものに，しかも人命と財産を保護するというものにこの際性能プレートをつけてはどうか。模様替工事をするときに大いに助かることであろう。 (BK)



都会の暴力

大阪が先鞭をつけた騒音防止運動は，一応大いに成功している。クラクションの音がすると，はっと気づくようになったから，これでこそクラクションの効果も発揮されるわけだ。オートバイやスクーターの排気音の制限も，早く徹底してもらいたい。さらに宣伝自動車のスピーカーの音，隣りのラジオにピアノの音も，制限するように運動すべきだ。

ガードナーの探偵小説に，近所の犬が遠吠えするという告訴を発端にしたのがある。またアパートでは，カナリヤやおうむのような鳥を飼ってはいけないことになっているらしい。隣りの家で夜遅くまでダンスなどしていると，警察に訴える話は，たえず出てくる。どんな美しい音楽でも，聞きたくないときに聞かされるのは，暴力にあうのと同じだ。

それと同じような暴力がもう一つある。それは，都会はもちろん，汽車の沿線にまでのさばっている広告だ。大きな広告をするから，その隣りも負けないように大きな広告を出す。音響のマスキング現象と同じである。広告も騒音と同様，制限するように運動したい。 (SH)

談　　合

一般市場販売品の場合のような，見込生産においては互に価格協定もできるし，また，単価の安定を図るために生産過剰品の買取機関を設けることを認められてもいる。注文生産たる請負の指名競争入札では，これができない。

そこで，いわゆる叩き合いによって，互に血みどろになることを避けるため，また，工事単価が逐次低下していくことを防ぐために，いわば，自己防衛上，機会均等を宗として入札前に談し合い，適正な価格で落札することが，ときに，おこなわれているようである。昔の談合とは，よほど異る。

しかし，いくら善意に発しても，自己防衛上でも，入札前に談し合うことは，競争入札の意義を失うし，法的には，独禁法に悖るものであり，不正である。

施主にとって，談合が，不愉快極まることは，請負人にとって，競争入札の当て馬にされることが，世にも堪え難いのと，全く同じである。

談合も，その根本問題に触れない限り，絶滅は期待し難いのではなかろうか。 (TN)

室内デザインに関する座談会

—建築家・室内意匠家・美術家の三者の考え方をめぐつて—

塚本　本誌の室内デザインの特集にあたり建築家，室内デザイナー，美術家の方々にお集り願って，この会を始めたいと思います。

司会は笹川さんにお願いいたします。

室内意匠家のデザインの心構え

笹川　一口に室内意匠といっても建築家，室内意匠家，美術家と3つのデザインする立場がありますが，その各々の立場から意見を出していただいてその考え方の相違を検討しあって頂きたいと思います。

普通器用な建築家は室内意匠はやってしまうが，室内意匠家とはっきり手分けしてデザインすることもあります。さらにそこに美術家が参加しそこに一貫したデザインを出そうとするし，また調度品等については工芸家をも含めてデザインされることもあります。

本日はそのような各々の立場から各々の意見を出して頂き，各立場からの考え方を理解し合うところまで持って行きたいと思います。

まず室内意匠をする時のデザインの心構えについて岡村さんあたりから——

岡村　私の場合会社の組織上，プランを与えられて雑作からデザインする場合と，室内仕上は既に決っていてその中のものだけデザインする場合とがあるが，後者の方が多いのです。やっている仕事が生活に密接に結びついているので，施主の気持になり切って仕事をすることが心構えといえばいえるでしょうね。

笹川　建築家が御膳立をしてそのわく内で意匠するのは不満ではないですか。

岡村　不満ですが会社の機構ですからね。

笹川　それではその機構を検討して下さい。

岡村　建築のアウトラインが出来たところでもう少し私達の干渉の場を許されてほしい。

岡橋　私のところでは建築家が大部分をデザインしますが，室内意匠家と相談して落着くところに落着いているようです。

笹川　アメリカでは住宅等ショウルームを造り，建築家がそれを選択するという行き方をとっていますが，そうなると建築家と室内意匠家の喰込み方が問題になってきますね。村尾さんのところでは？

村尾　私の方では制約される場合とそうでない場合がありますが，まあ，まかせてもらっていますね。

岩本　室内意匠家は建築家が室内意匠までやってしまうのをどう思いますか。

村尾　室内から外まで口出ししようとするデザインも，建築家が室内までひっとらえてデザインしようとする場合もともに否定出来ない。

とにかくお互がしっかりした思想をもって対決をしたならば，案外面白いものができるのではないですか。

そのような機会を期待してもいます。

岩本　アメリカの場合はどうなんですか……。小川さん

小川　アメリカの場合は建築家がプランを作り，その空間の一用途を指示して後をまかせるのが通例です。

しかし動くものだけをデザインすることもあり，いろいろですネ。私のところではセットされるものは大抵建築家が決めてあとは村尾君にまかせていますネ。

笹川　結局最初のデザインの時に両者がどのように折合って行くかということですネ。

樋口さんの所ではどう解釈しておられますか。

樋口　室内意匠というものは建築，工業デザインなどとオーバーラップしているが，建築という場にしぼった場合それはインテリアデザインというよりもファニチュアデザインと表題を変えた方が話しやすいかもしれない。

船舶，車輛の場合ですと，意匠家と技術家との立場がはっきりしていて，意匠をまかせられるが，建築の場合だとそれが混同もし，また密接に関連性を持つことがある。

いづれにせよ理論づけることは難かしいことで，それよりもまず各々が立派な仕事をして行けばよいのではないでしょうか。

彫刻家•画家のデザインに対する考え方

笹川　それでは方向を変えて絵画，彫刻家の立場からみてどうですか。

植木　建築家と室内意匠家は密接でもあるようだし疎縁でもあるようですネ。彫刻の場合，出来てしまった空間の埋合せでなく，最初からの計画であってほしい。

建築家は彫刻や壁面のレリーフ等を最初からよく知って計画しているかどうか非常に疑問に思いますネ。

笹川　建築家の設計過程で絵画，彫刻を意匠に取入れる場合，いつ美術家と打合せするかという時期の問題がありますネ。

とかく建築家は自分達の領域だけで解決しようとする傾向が多分にありますネ。そういう点は絵画の場合にはとくに多いと思いますネ。

植木　ありますネ。重要なことは彫刻家が建築というものをよく理解していない。その点昔は彫刻，絵画，建築がよく mix して空間を作っていたが，現在では各分野が分立し絵画，彫刻，建築の各々の個性が強くなり過ぎ相入れなくなった。

彫刻家がもっと全体の空間を認識したときに初めて建築の中に統一的な力が生れるのではないかと考えています。

中村　昔は構築する場合，建築，彫刻も絵画も総合されて一つの芸術空間を作っていたが，現在は各々が分化され独自の空間を提示するようになったんですね。建築がデザインされる場合，建築家は価値のある空間にとらわれ過ぎて，結局味気ない箱になってしまう傾向があるように思えます。

その味気なさをどうしてゆたかな雰囲気に戻すかという点でもこのような会は重要なことでしょう。

笹川　ちょっとよそ道にそれますが，生活と芸術という面で古い日本の建築の中に美術が重要な役割を果し，また，それが非常にマッチして建築の一部になりきっていた。

例えば襖絵のような場合，純粋芸術が建築の一部にとり入れられてもその作者の芸術的立場を低めるという意識はなかったようだが，今の芸術家としてこの点どう解釈されますか。

中村　私なんか，インテリア・デザインはよくやりますが，私がすると絵というものが必要でなくなる。それは色どられた空間としてむしろ彫刻的要素を帯びてくる。こういうことは大半の芸術家は反対でしょうが，古い日本の建築では庭園，灯籠等の彫刻的な中にとけあう室内は視覚対応としての有機的なつながりがあった。

建築における装飾性は色どられ，味つけとして日本人としてのけっぺき性からいやがられるが，そのくせ生のものに味つけをすることを忘れているようだ。彫刻家としても又画家としてもインテリア・デザイナーとしてではなく，純粋な立場で協力できる線があるでしょう。建築の味気なさにファンタジックな内面のレイアウトをするということも，この会の重要なテーマではないでしょうか。

岩本　日本の建築は非常に彫刻的なんですネ。

梲や竿縁天井や，障子の桟が彫刻的におかれていて，家具がなくても美しくなっている。ところが西洋的なものだとブランクの六面体がつくられているから，中村さんや植木さん達が，アバレル場所が沢山あるはずですがネ。

岡村　日本の古建築の場合それは構成から出て来たもので，中村さん，植木さんにアバレル場所を与えることはアソビになるんじゃないですか。

彦谷　室内意匠というものが問題になるのは，建築がスケルトンの問題になって fix されないもの，撰択の自由なものはコンテンポラリーに考えていいのではないかということにあるのではないですか。

結局インテリア・デザイナーと建築家とは対決するものではなく相互の立場に立って総合されるべきである。

笹川　要するにブロイヤーがいう調和と対立というところに問題があるようですネ。近代の日本の建築家の反省を必要とするところかも知れませんね。

斎藤　この集りで樋口さんほどファニテュア・デザインとはっきり割切らなくてもよいと思います。日本の生活

室内デザインに関する座談会

と　き　　昭和33年7月29日（火）

ところ　　近畿建築会館

出席者（順不同・敬称略）

建築家	小川　正	（KK竹中工務店）
	岡橋作太郎	（日建設計工務KK）
	二宮　義夫	（双星社竹膠建築事務所）
司会	笹川　季男	（大成建設KK大阪支店）
	足立　孝	（阪大工学部構築工学科）
	岩本　博行	（KK竹中工務店）
	塚本　猛次	（日建・編集委員長）
室内意匠家（家具関係）	樋口　治	（高島屋大阪支店）
	村尾　栄	（KK竹中工務店）
	岡村　実	（日建設計工務KK）
	斎藤　四郎	（内外木材工業KK）
美術家	植木　茂	（彫刻家）
	中村　真	（モダンアート）

様式が外国と異っているために，室内意匠家という独立した分野が認められにくい。フランスあたりのアパートで，アパルトマンムーブレ（家具付アパート）と単なるアパルトマン（家具なし）で家具なしの場合は各借りる人が，室内意匠家にそのDecoを依頼するように外国の住居建築の慣習が，室内意匠家を認めている。室内意匠はそれなりの視野があってしかるべきで，建築家と総合的な関係があると思う。最近のとくに所謂ビルディング（貸事務所のためのビル）の制約された部屋をデザインする度に気がつくのですが，非常に家具配置のしにくい部屋が多いのではないですか。例えば，柱を外に出さない建物では中の柱がじゃまになって家具の配置がし難いが，あれは用途を考えた上か，あるいは外観だけから来ているのですか。

岩本　両方からです。窓と柱の間は縁側と考えればよいのです。

庇のない建物は実際には窓際からいくらか逃げて机を配置するのが本当です。日照や寒暖の関係で窓際はよくない。そこは逃げるべきです。

斎藤　使う側からすれば勿体ないような気もしますネ。

岡橋　それは柱が内にあると考えずに壁がさらに外に出たと考えれば得をしたような気になれるのではないでしょうか。

二宮　建築はいろいろな用途によって表現の仕方がありますから，一概にいえませんネ。

小川　さっき中村さんがいわれた味気ない空間とは何ですか？

私，思うに建築家はプロデューサー，音楽でいえばコンダクターのようなもので，常に調和をはかるよう努力しているので間が抜けたから彫刻を入れようなどとは決して思いませんネ。

レリーフで成功した例があってよいのだが，1つも成功していないというところに原因があると思うのです。日本の画家や彫刻家が建築に参加したのがごく最近のことで，建築家との間に時間的なずれがあるのではないでしょうか。もし，彫刻家や画家が統一ある空間をまとめていただけるならば，いつでも安心しておまかせしたい空間が多々あるのです。

植木　たしかに現在の彫刻家は明治時代の遺物で，アトリエ的で，空間量を知らず，まして建築的空間も知らない。だからそのような彫刻を建築に合わせようとするのが無理な話で，建築家はアートディレクターとして，強力な力でグンとくるようなものを造ってくれれば全体がそれにつられてよくなると思うのだが——。

小川　彫刻をとり入れる場合それの打合せする機会すら今のところないような状態で，建築家と彫刻家が，一心同体となってもっと話合わなければいけないと思う。丹下氏と岡本氏の場合のように。

植木　あの場合は，両者共に独善的に対立しているので面白いが，途中で妥協したのでは面白さがない。

小川　あの場合は危険だと思いますね。

植木　もちろん，僕もいやらしいと思います。

岩本　僕はいやらしいとは思いませんね。

小川　結局建築家と彫刻家，画家とが話合う場をもっと持つべきですね。芸術にもって行くプロセスが悪いのですね。

純粋美術とデザイン・色彩

笹川　純粋美術と，装飾美術との限界をはっきりしなければいけないと思うが，その点について美術家としてどのように解釈していますか。

中村　物それ自体の芸術性の問題と，建築という空間との調和つまり空間理念の調和ということが問題だと思います。いづれの場合でも，空間理念としての共通性を持っている場合はうまく行くと思うのです。

笹川　建築家の絵画，彫刻の撰択が鍵になりますね。おたがいがもっと理解し合ってほしいものです。

中村　建築の色彩についても，何かブレーキになるものがあって，充分な表現ができないことが，芸術的な面で弱点になっているんではないか。もっと思いきった個人の主張を打出してほしいものですね。

二宮　日本の建築家は，色彩感に貧しいというのは素材をそのまま使い，西洋のようにペンキを使い出したのは明治以後のことで，歴史が浅いからなんです。

岡橋　色彩感覚に乏しいのは，日本の瓦が黒いということも原因しているし，また日本人の教養は外国から印刷物となって入って来るので，印刷の大部分が白黒だということにも原因しているのではないでしょうか。

岩本　植木さん，あなたは一つの素材で形を造りますが，色に対してはどうですか？

植木　色は用いませんが，色に対しては敏感です。色を用いずに色を出すのです。

岩本　建築も色を使わなくても，形で色を感じさせるんです。

笹川　日本の建築で色が少ないのは，過去の生活の中で色の制約があって，非常に遠慮して使ってきたからではないでしょうか。

色彩心理について詳しい足立さん，いかがですか。

足立　中村さんの仰ってる意味は判ります。

色は難しいので一概にはいえませんが，室内に限定しますと，建築は舞台装置の背景のようなものであって，ある程度色を殺して小道具や俳優をひきたてるようにするのが一応基本ではないかと私なりに考えています。それに背景がすぐに取換えられるものでなく，演じられるものもちがってくる場合が少くないので，能舞台のそれのように中性的な融通性のあるものがのぞまれるわけで

室内デザイン座談会出席者（順不同）


塚本猛次氏


彦谷邦一氏


岡村実氏


村尾栄氏


岡橋作太郎氏


植木茂氏


小川正氏

す。ここのところが，その態度が自分自身を押出す他の美術と一寸違う点だと思います。誤解され易いいい方ですが。

樋口　建築家はコンダクターであるとともに，ある程度ファニチュアのことも知ってもらいたい。

今の建築家は，意匠だけにとらわれすぎている点が多く，材料や家具等の寸法を知らな過ぎるように思う。

足立　建築家はいろんなことを知らねばならぬ。しかしすべての専門家にはなれないから，必要なことだけを知れとヴィトルヴィウスがいってますが，必要なことがドンドンふえて，その範囲が難しいですね。ともかく，建築家の知らねばならぬことが多すぎます。小川さんの仰ったように建築家は映画の監督みたいなもんで，空間の性格をきめて，後はインテリアデザイナーにやってもらってまとめるという線は出せるでしょう。そうなるようにインテリアデザイナーも努力していただいたら結構ですね。

家具と建築とのモデュロール

笹川　室内意匠には装飾性とまた機能性とがあって，色だとか形が面白いだけでなく，機能的なものの方が良い場合すらあると思います。家具一つとりあげても形が意匠的に種々ありますが，モデュールの問題もからんでくると思うのですが，その点村尾さんいかがですか。

村尾　モデュールの問題で，スパン決定の際にテーブルアレンヂを考慮に入れて決定してほしい。建築家はまずモデュールの問題を検討し，われわれインテリアデザイナーとの打合せもしていただきたいと思う。

照明の問題にしても，はっきりした使用目的があるにもかかわらず，その配列でさえ天井の目地割りからきているというのは，おかしなことだと思うのです。

笹川　室内構成の時，どこまで意匠を必要とするかという意匠の限界があると思います。それが建築的機能性を発揮するためにわれわれに一番大切なことだと思うのです。

村尾　人間の指一本からデザインは始まるべきものではないでしょうか。

話はそれますが，柱が外観上ではなく，必要な空間というのが決定的なある意図のもとに出されているかどうか疑問に思うのですが。建築家の立場からの意見はどうですか。

岩本　あれは使わない空間として建築家は考えているけれども，インテリアデザイナーの方で勝手に配列しているんですよ。

岡橋　スパンの決定というのは，もっと大きな立場からきめてゆくべきでしょうね。

村尾　経済上，構築上の問題もあろうが，内部からのモデュールがあればさらに経済的になるのではないか。

岡橋　敷地だとかもっと重大な要素から決定されることが多いようです。

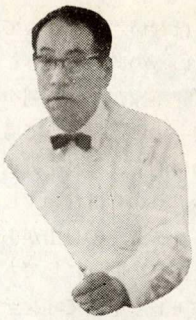
村尾　捨てるべき空間を造っておくのですか？

岡橋　捨てる空間ではなくて何かに使われる空間，もし


二宮義夫氏


斎藤四郎氏


岩本博行氏


笹川季男氏


樋口　治氏


中村　真氏


足立　孝氏

それがむだになっているのならテクニック自体が悪いのではなく，テクニックの使い方がまずいのでしょう。

岩本　あれ自体をせめるべきではないと思う。

小川　建築の柱割はまったく自由であるが，そこにはいろいろの条件がからまっていて，それにもっとも能率的に，経済的な空間を造るのが建築だとすれば，もっとも使用目的にかなった空間を与えたら，あとはインナーデザイナーがデザインすればよいのですが，家具がときどき空間を把握せずに作られる，あれは一体どういうわけですか。

岡橋　多少具合の悪いことがあっても，通すべき筋は通すという柱間の決定をすべきではないかと思いますね。人体の内臓はシムメトリーではないけれども背骨はシムメトリーになっています。神様でさえこういうことをされるのです。——笑

彫刻絵画とスケール

笹川　室内に必要以上に大きな家具を入れることもあるが，彫刻，絵画でもスケールアウトのものもあるが，それらの尺度について，植木さんいかがですか。

植木　それは純粋と装飾ということについての場の違いで空間的にちがっているのです。

彫刻を室内に置くのは，室内空間を広く見せるために置くべきで，装飾として置くべきでないと思う。彫刻というものは，発散性のある物体で，それ自体よりも外部により大きな広い空間を要求するものなのです。したがって彫刻家自身がそのことを考えて全体を知った上である寸法を割り出すべきだと思いますねェ。

笹川　彫刻を装飾として置くべきでないというのは，どういうところから来ているのですか。

植木　今の彫刻は単なる置物です。絵でも従来のガクに入った絵では現代の建築に合わないと思うのです。絵ならばガクを出て壁として解釈する。彫刻なら柱として解釈すべきだと思うのです。

置物として装飾するのなら使われる置物を使って欲しいのです。私はイスは座れる彫刻，机は物を置く彫刻というように解釈しております。

岩本　純粋の物には意味がないのですか。

植木　私は純粋という物には全然魅力はないし，またやろうとも思いません。事実，現代の絵画，彫刻においては上べのモダンはあっても真の意味のモダンはない。昔の物の中の方がモダンな物が多い。

岩本　室内の淋しい空間に対して彫刻を置いてくれといわれた場合，あなたはきたならしいといわれるがどうしてですか。

植木　それは建築家の失敗で，空間は計算されて造られるべきですよ。そこに彫刻を置いても物語りすぎますねェ。

岩本　建築家がセレクトしてそれを置いても合う場合もありますよ。

中村　彫刻は置かれ，絵は掛けられる目的はありますが，それがどこに置かれ，どこに掛けられるべきだとい

うことはない。したがってアウトスケールだ，調和しているというのはそういうこともありますねェ。

彦谷　建築家が絵や彫刻を建築の内に総合する場合，あくまで一つの素材として考えるわけで，純粋芸術はそれ自体の目的で，それを方法として考えるわれわれの立場と多少違うのではないでしょうか。むしろこれは建築家にセレクションの自由があるかどうかの問題である。

また家具の問題にしても，家具自体いい物が作られてそれをセレクトしてインテリアをまとめる方が本当じゃないかと思う。建築というものは注文生産です。しかし彫刻,絵画,家具はそうじゃない。それを注文生産の過程で作ろうとするところにあやまちがあると思うのです。

小川　モデュールの問題にしても，現在までは建築が先にあって，その後で家具のモデュールが決定していくのだが，インテリアの方で厳然たるグッドデザインを作り，そのユニットを決定するならば，そのモデュールから室内空間のモデュールが決ってくると思う。

日本においては特製が簡単に作れる所に問題があると思う。

樋口　家具はつい5年程前までは工業デザインの中にあった。今後は，グッドデザインの量産ということを目標にそのようになっていくのじゃないかと思いますねェ。

意匠と設備・照明

笹川　意匠の限界について考えてみますと，今までの絵画，彫刻ばかりでなく，照明およびその効果，音響も室内構成の要素になってくると思うのですが。

中村　繁雑な世界になって心理的にも整理されるべき今日，彫刻としての照明器具，絵画としての照明の色というようなことを考えると面白いのじゃないかと思うのですが。

笹川　照明の問題になりますと，能率オンリーの照度と装飾的な照度ということがありますね。

足立　以前までは照度を上げる一方でしたが，最近は対比効果を考えれば照度をあげる必要はないということになっていますね。

二宮　照度を上げているのはコマーシャルな建物に多いと思うのですが。

小川　建築はいろいろと用途を持っているので，一概にはいえませんね。住宅にも一様に螢光灯をつけているのはおかしいと思いますねェ。むしろ白熱灯の方がよい室が沢山ある。

足立　ただ，明るい感じだけで光と影のニューアンスが失われているからでしょう。影のとりかたで，心理的な壁をもつくりだせるのですが，この頃の暗い喫茶店は心理的な壁の一つの利用例です。

小川　それとともに人間解放感――イージィな気持になるのはほのぐらい所ですねェ。また原始にもどるという気持をもたせる松明の炎の火の色の美しさですねェ。

足立　ダンロの火は炎の変化があって退屈しないし，視線を集中さすことでいろんな考えを誘い出す。背後の暗さが他を顧慮することを忘れさせ安定を与えますしね。

岡橋　暗くした部屋でテーブル毎に一つ一つあかりがついている場合，その各々が一つ一つの世界を作っているような心理的な働きがありますね。

足立　百貨店の食堂にしても，はじめは真中のテーブルがふさがらない。それが人が多くなっていくつかの人の壁が出来ると不安定でなくなってくる。空間がいろんな条件で分化してゆくのです。

岩本　光と同様に音についてもカベが出来る。反響の多いビヤホール等は隣のテーブルまで話の内容が聞えない。だから，ビールをのんで大いにいいたいことがいえる。吸音的なビヤホールは決してはやるものではない。あれは反響さすことによってテーブル間に壁を作っているのです。

足立　スタヂオのように吸音材をはりつめたシーンとした部屋では，実際よりも広く感じる。これは生理学的なものとデザインとの連繋の一つの例ですね。

材料の生命とデザイン
――プラス人間――

岩本　話は変りますが，アクロポリスの柱のくぼみは，あの丘が目まいのする程明るいので，影を作ってゲンワクを防ごうとするのでしょうねェ。

植木　彫刻的に申しますと，ムアのえぐった彫刻と同様で，出たところを逆にひっこめて太陽の強烈な光線で，かえってそれが出てくることをねらったのでしょう。

小川　それに白い大理石に色を感じさせるのはあの手ですよ。

岡橋　それはそうと，ギリシャの彫刻に強烈な色をつけているが，はげて来た今日もそれがまた美しいのはどういうわけでしょう。

植木　日本の飛鳥時代の古建築についてもいえることでしょう。

中村　別の意味で，古びたものだから価値があるというように，別の芸術価値に転換して考えていることもあるのですね。

岡村　そうすると時代性ということを考えてデザインしないといけないものですか。日銀の銅板のロクショウのように。

岩本　そういうことを忘れるデザインはいけないですね。古くなった時良くなっていくという計算を入れておかないと。

岡村　そうなるとその当座に色彩がどうこうという建築の批判は出来ないわけですねェ。

小川　そこが，建築デザイナーとインナーデザイナーと

のちがいでしょうねェ。材料のライフということを考えてやるのは外部に接する建築の方が大変ですからね。

岡村　家具の場合でもそういうことはありますよ。

月日が経ってから本来の色彩を発揮するような，例えばうるしとか一部の木材料および布地がありますね。もちろん設計のときは照明が白熱灯か螢光灯か訊してから設計にかかります。

二宮　外壁の石についても雨の場合のことも考えて濡らしてやっていますね。

足立　日本人は，きれいごとは出来るのですが，迫力がも一つですね。

中村　ゴッツイといった感じですね。計算された軽快さというもので育てられ，合理的なものを追求していくとどうしてもそういうようにならざるを得ない。

日本人は器用だからきちんといったことが良いように思っているが，そうじゃなくて何か夢の育まれる余裕のある空間が望ましいですね。

笹川　一つのファニチュアにしても，それをいかに効果的に出すかということについて，もっとも効果的な照明方法があると思うのですが，どうでしょうね。

小川　しかしファニチュアはそれぞれ使用目的のあるものですから，それに照明を当ててどうのこうのということはないと思うなァ。

笹川　ファニチュアーがこしかけるだけのものだったら美しい布などはる必要はなくなる。

それだけに美しく見せる効果的照明法はあると思う。

小川　そりゃ確かに空の時も人間が入った時も美しくあることは必要ですがね。

彦谷　本来の目的をはなれて何か家具を見て効果があるとか，別の意味で先程話のあった古びた寺の屋根が美しいとか，これらは意識しているでしょうか。意識するのは見る人が意識するのじゃないですか。最初からそういうことをするのは少々バロックじゃないですか。

古びた寺の屋根が美しくなるのは，予測しないものでこれは建築ではなく自然です。したがって私は自然の美しさと意識した美しさは分けるべきだと思いますね。

作るという以上は作られた時が意識の問題で，美しいか美しくないかというのは批評のことで，作る者は作った時生きなければなりませんね。

岡橋　しかし，当然予測することもあるのじゃないですか。

彦谷　そりゃそういうものもあります。

小川　室内は人間が生活するため作ったカラで，空虚であるということは間違いだ。それは単に展示物であり，デパートのディスプレイにすぎない。日本の建築雑誌は人を除いて写す。外国の雑誌にはそれ相当の人間をいれている。

岩本　そう，使われている，動いているものの中のデザインですね。

笹川　室内構成については，人間性とかいうことは別として，見た瞬間から美しいものでないといけないということは事実だと思います。部屋に入った時の雰囲気というものは，音とか光とかで効果的にすべきことだと思います。

小川　そのとおりですが，それだけではだめでそれプラス人間だといいたいのです。色をきめる場合でも，そのデスクに座る人がいかなる色をもって来るかわからないので，色彩決定に際し，その組合せになる色調を考慮して決めているのです。建築の範囲だけでこれで充分だという色彩まで決定する必要はないのじゃないか。人間という色彩をもった点景が入るのだから。

足立　デザインされきった室に入ると，きゅうくつでやりきれない。建築的じゃなくて工芸的作品だとよくいわれるものですが。そうなる気持は判りますが，本当の建築家なら，どこかのんびりしたところを計算していると思いますね。

植木　マッ茶ぢゃわんの美がそれですよ。日本の民家の写真集には人間がいないが，しかし生活がにじみ出て人間が感じられる。外国雑誌も同様に雰囲気というものが出ている。しかし，日本の雑誌の場合はなにか寒々として人間がいても，どうもその人間がみじめでしかたがない。

岡橋　きれいに片づけてから撮る。

岩本　死んでいる絵だな。生活をこわしてしまうのだな。死んだ静けさというのはだめですよ。

小川　最後にもう一つ，街の文字のまずさをこのような機会に是正したいのですがね。このようなことは建築家と芸術家のディスカッションの不足ですね。

岩本　今日の座談会は面白かった。話がぶっつかり合ってうずがまいた。インナーデザインもこのように動いている美しさが出てこないとだめなんです。

中村　その動きの中に筋が通ることが結論みたいなものですか。

岡村　建築も昔は一貫してやっていたものが，構造，設備と分化しインテリアデザイナーにまで分業化したので今日のような会も必要となってきて，あるところに緩衝地帯が必要なんですよ。私は，若い建築家にいうのですが，この空間をまとめるのに夢があるかどうかと，ないのなら間仕切だけでインテリアデザイナーにまかしてくれという気になるのです。

結局あまり分業化された結果の悲劇でしょうね。

小川　ディスカッションが足らないのだね。

笹川　本日はありがとうございました。最近にない面白い会だったと思います。ではこの辺で散会させていただきます。

室空間の基底的機能

——美学と心理学との接触——

足立　孝

人類一万年の歴史において，現代は人間が問題となった最初の時代であり，自らが何であるかを知らないということを知った最初の時代である。
——M. scheler——

1. 身体像・自我・感情

室空間は，建築が被覆物として作られて以来，建築的空間の基本的なものであり，建築を他芸術と区別する主要な要素でもある。

室空間の特質は，そこにいる人間に覆いかぶさっている点にあり，そこにいる人間が身体ごと，全身的にそれからの影響を受けている事実にある。それは視覚やそれを通じた触覚ばかりでなく，皮膚，深部，平衡，内臓諸感覚の統合としての身体感覚で感じていることを意味し，それは感情を伴い，在来の映画に対するシネラマの画面効果以上の影響を持つ。視野の中で全貌の摑める食器，本，置物等とは違う室空間独特の機能だといってもよい。室空間の働きを受止める基本的なものとしては身体像が考えられる。

人間は生れてから経験的に自分の身体の空間像，いわゆる身体像を形成している。その存在は，横を向いて話をしながら作業を継続したり，足許を見ずに階段を降りたりする日常の簡単な事実に認められ，その身体像の確立によってはじめて，人間は自己の位置づけが可能となり，事物に対処した行動がとれるのである。それは人間の行動の基点であり，自我や感情とも密接な関係を持つている。

身体の現存意識は普通，意識の背景になっているが，不安，怒り，痛み，性欲昂進状態等に圧倒された場合，人間を天空に飛翔させ，あるいは挫き砕く。身体像と自我，さらに空間知覚や感情との関連について，M. Sechehaye の〝分裂病の一少女に関する報告〟[註1]が興味深い。突然，分裂病が出てきたので驚ろかれるかも知れないが，分裂病は神経症と異り，何よりもまず自我の疾患であると考えられるし，上述の諸関連を見るのには，複雑な諸要因が働いて露呈しにくい正常者を見るよりも，欠陥の判っている病者を見る方が反応が純粋で，判り易いのである。

12才の少女ルネは家庭の複雑さから母の愛情との接触をあきらめなければならなかったために，乳幼児期を過ぎてからも，自我は成長せず，離乳期に固定され，社会生活に必要な自己犠牲的順応的傾向を形成していなかった。

彼女を苦しめた最初の症状は，専ら外界の現実認識の異常であった。電気でギラギラ照明され，白ペンキ塗の壁がツルツル光っている納屋の中の枯草が細く尖り，硬く，キラキラ輝く無限の針に見え，虚無の中のたまらない恐怖を感じる夢を見たのが，非現実感の最初の経験であり，それ以来たびたび，室は巨大な不均衡なものに変り，壁は滑らかでキラキラし，あらゆるものが電光で影一つなく，目もくらむばかりに輝き，果しもない広漠たる室間，無限に続く平べったい空虚さの中で，すべてのものは不変であり，凝結し，結晶し，物体は意味のない幾何学的立方体として，お互いが何の関係もなく切離され，緊張しているのを見て非常な恐怖を感じるようになる。水やミルクを入れるものとしての水差しとか，腰掛けるものとしての椅子ではなくて，その名前や機能や意味を失ったものとして感じ，それらは〝事物〟として生きはじめる。諸対象をその相互関係において位置させることができなくなる。それは諸対象を分離し，これをさまざまの平面において秩序づける空間の枠をなくしてしまったことを意味する。この非現実感には情緒的な原因があるのであって，この感じに伴う不安感はその確か

な徴候であり，母親との感情的結合が断たれた時，いつもその現実感を体験し，悪夢の雰囲気にも似た強い不安，無力感と孤独の感情を呼び起した。初めは主として学校，街路，対人的場面においてのみ疎遠感があったが，やがてはすべての対象，人物，および彼女自身の認識にまで進展してゆく。一定対象と結びついていた自我の一部がエネルギー失調状態となり，生命と暖さを失い，自我が解体しはじめ，統一を喪失したのである。当初，学校や対人的場面で疎遠感が起るのは，自我の中で最初に退行するものが「社会」と密接な関係にある部分であることを示している。

やがて，主観性意識を失い，自我はもはや独立した主体ではなく，外部の対象にとけ込み，風の音や木の葉のささやきの中から，彼女自身の嘆きや苦しみや敵意が聞えてくる。不愉快な考えは外界からの声，精神的幻覚として体験されだし，室の右側の隅は人格化され生きており，空虚であるにもかかわらず，確かに誰かが存在し，やがてそれはルネにとって，いやなことを命令するもの（彼女はこれを〝組織〟とよぶ）となる。遠近感はなくなり，自分を位置づけることができなくなる。自分自身を三人称で呼ばれる人として取扱うようになり，遂には実在しない声（彼女は聴くのでなく力を感じる）の命令によって自殺企図が示されだす。

このようなルネを破壊的衝動から解放することができたのは，母との結びつき，感情的機能の回復に努力したからであり，母に食べさせてもらいたいという強い要求を理解し，満足させたからである。さらに，ルネは母への復帰の欲望を自殺企図の繰返しで実現しょうとし（陰性面），他方で絶対的な内閉性にとじこもることによって実現しようとした（積極面）のだが，その積極面を利用して，フトンを積んだ壁で彼女を保護し，沈静剤を打ち，仄暗い室で眠らせ，生れる前の胎児の静けさを味わわさせた。ルネはあらゆるものが海のような緑色で，ママの身体の中に在るのと全く同じようだと喜んだ。彼女の欲望が母によって満足させられたことから，母を満足の源泉として注目するようになり，外界との最初の関係が作られ，満足の源泉へ向けることによって，期待の感情，いわば生命についての一つの意識が生じた。次に母が人形に愛情を示し，ルネの自我が自身を投射するモデルとした。人形を使ってルネに入浴，清潔，そして自分の身体に対する意識と愛情を持たす努力がなされた。人形を使うのはルネに新しい「自我像」を与え，自我建設の基礎にするためである。人形に食事をさせた後はルネに食事をさすことが容易になった。人形のおかげで新しい自我像，即ち母親に愛される幸福な子供の像が形成されて来た。J.Piaget[註2]が12～18ヵ月の子供に認めたのと同様に，自分自身の欲望を人形に投射し，次に人形の行う自分自身の動作を模倣する。やがて深い欲求と関連する食事の時だけ，母を直接まねるようになる。模倣が固定されると，次第に手本から離れ，存在しない対象を模倣的動作のみで呼び起しうる。しかしまだ自分を三人称で話す。やがて手本は自我の内部に取入れられ，母をまねしながら，次第に自分自身を意識するようになり，その結果一人称の「私」が生じて来た。これは自我のさまざまの内容を超越した，永続的で根本的な人格意識を現わす，即ちこの時自我は，一定の構造を与えられたのである。ルネは単なる役割としての人間ではなく，一個の実存する人間となった。

しかしまだ身体についての明瞭な意識をもっていなかった。だが，自我は身体的な自我でもある。ある近代の哲学者は，自我をとくに身体的存在としての意識と考えている。また[註3] Piaget は子供が自分を意識するようになるとともに，即ち子供がその主観性から脱却するとともに，さまざまの物体を含んだ不動の空間の一部に位置する可動的な身体的存在であることをも，意識するようになることを明らかにしている。ルネは「腕が痛がっている」といって，その腕をできるだけ身体から遠ざけようとする。これは自我の再建がまだ極めて不完全な状態であることを示しており，自我の本当の統一が行われるためには，身体的存在としての意識の形成がきわめて重要であることを示す。

しかし，ルネは身体的存在としての意識をもつようになっても，まだ彼女の身体を不動の外空間に位置させることができなかった。「関係の範疇」と呼ぶものを獲得していなかったからである。彼女は対象のすべての運動を彼女自身の身体に関係づけて考える。外的な関係は全然無視して「私の前が北，後が南，右が東，左が西です」という。この例によっても，この病人がまだ空間的な自己中心性の段階に止っていることを示す。距離による見え方の変化も理解出来ない。Piaget はこの不完全な時空間構造を知的発達の不完全さによるとしているが，ルネの観察によって，彼女が知覚世界を次第に再構成することができたのは感情的発達によるものであることが新たに証明された。彼女が関係の範疇を獲得するためには，母と彼女の自我との関係を独立した人格関係として考えることができるようになる必要がある。そのためには母の永続的な同一性という概念を獲得しなければならなかった。彼女にとって母は自分の一部であり，母が他人に会い，買物をしている時は，母との感情的接触を失い，現実との接触をも失った。彼女は母の人格の社会的領域を認識していなかったからである。母が喉頭炎の時大声で呼ぶことによって母の声を出させうることを確信すると，彼女は一方では病気というものを認識するとともに，他方でより現実的な療法を探し出そうとした，つまり看護婦の行動がとれるようになった。母の声を出させうることを認めて，ルネはもはや，母が消え去ってし

まうという不安をいだかなくなった。彼女は自分の好きなときに母を呼びよせることができるのだから。アニミズム的[4]な機構によって未知のものに対する不安がなくなるとともにルネは自分の知っている母と未知の母，すなわち個人としての母とを結びつけることができ，社会的状況における母を認識するようになった。ルネと「社会的母」との関係が確立されるとともに，ルネは関係の範疇をも理解できるようになった。自我中心性の減退とともに，内的印象と外的世界とをよりよく区別することが出来るようになった。現実に適応した行動が現われ，ゆるやかに，しかし確実に成人と同様な客観性にまで発達した。治療に有効であったのは投射と模倣の機構であった。

読まれる貴方の困惑と退屈を承知の上で，長々と紹介したのは，上述の目的以外にも示唆するものが少くないと考えたからに他ならない。その二，三の点について次に述べる。

2. 非現実感

非現実感は病人だけに限るのではなく，貴方にも経験があるはずである。貴方を病人だとはいわないけれどもけつして無縁のものではない。絵画では，G. d. Chirico の作品を見れば感じることができる。R. Arnheim はその作品の非現実感について透視図的描法に従っているような直線が，実は幾つかの焦点に収斂して知覚を混乱させているためだと図示説明しているか[5]，幾何学的世界とその光と影のコントラストの強さも大いに働いている。このことはまた，20世紀前半の建築が明るさや機械的感触を求め過ぎて，非人間化を感じさせたものを示しており，〝ガラス論争〟に計画的分野の大切なものが抜けていると，以前私が学会論文で述べたことを[6]も説明する。

このような事柄に関して，建築家である私達がすぐ想起するのに，A. Riegle の空間恐怖が（正しくは不安というべきであろうが）ある。彼はそこから装飾的なものが生れると説明しているが，それは今日もなお生きている。コンクリート壁に装飾的目地をいれているのが，卑近な一例である。その根源はどこにあるのであろうか。それは心理学者の諸実験に示されていると私は考えている。

W. Metzger は各点からの反射光線の量を等しくした平面の垂直壁に面して立つ場合，すなわち等質的な刺戟の場合，壁の平面を感じないで，山の中で霧に包まれた時のような濃密な光霞中を泳ぐ感じになることを実験した。さらに暗室の中で何の刺激も与えずにおくと，やがて身体像は不安定になり，自動運動を生じてくることも知られている。身体の不安定が直ちに不安を惹起し，しかもそれが赤ン坊の頃からある根源的なものであることは J. B. Watson の著名な実験によって知られている。K. Goldstein は脳損傷患者から空間恐怖症を説明している。患者に白紙を与え名前を書くようにいう。躊躇し困惑するが，紙の一番上や，上の縁に平行に書くことが多い。真中に書くようにさせようとすると，拒んで興奮する。しかし，線を描いてその上に書けるようにしてやれば，すぐそれをやる。要するに一定の具体的なものを手掛りにしなくては，何もすることができないということである。驚くべきことには，線なしに黒板に字を書くと患者はチョークをとってその下に線をひいてからでないと読めない。空白の事態を患者が避けようとしていることは疑いないが，空白の体験を持っているから，そのような行動をとるのだとは考えられない。この患者はそのような体験を持つのに必要な抽象的態度を欠いていることが立証されているからである。すなわちこの患者は田の字図形を見せると窓だといい，本当に水を飲むのでないと，空のコップでは飲む動作ができない。空白を忌むことは何もない空間は適当な刺激でないという事実から起ってくる。患者はそれを取扱うことができず，不安に陥り，破局的事態を招くのである。初めて白いケント紙に向う学生や，この文の書きはじめに空白の原稿紙とにらめっこする私にも程度の差はあっても感じられるもので他人事ではない。

先程の Metzger の実験で，その照度をある水準以上に高めると，空間の霧は凝って，観察者を取巻く規則的曲面となる。暗室の場合も同様で，M. Simon は弱く光る単独の図形を与え，物相互の空間的位置関係を全く消去したところが，自発的定位の運動が起り，空間は観察者の身体（だいたい目の高さ）を中心として円天井形になり，垂直軸において彎曲がはなはだしく，水平軸でゆるやかであることが判った。自己中心的な定位が行われたのである。

J. Uexküll は私達の運動する空間を行動空間とよび，この空間の基礎となる坐標軸体系のあることを力説する。猿は上下方向の運動を得意とし，上下方向の知覚にすぐれ，人間は水平行動が多く，したがって水平方向の知覚にすぐれているといわれる。

G. H. Stratton は外界を顛倒させて網膜に写す眼鏡をかけ，数日間生活をしてみて，上下左右の身体的自己中心的方位は全く経験的に成立するものであるが，網膜像だけでなく，身体の重力感覚，四肢の運動感覚，皮膚感覚などと結合し，視知覚以上のものであることを示している。

ドーム型天井は曲面による手掛り減少，上下方向の奥行知覚に弱い性質等を活用した先輩の巧妙な作例の一つである。悪い例としては心身共に弱っている人のいる病院に数階分の吹抜をこしらえているのがあるが，やめるべきだろう。

A. Ames は建築に関係した知覚実験をして有名だが，彼の歪んだ室を正常な室として知覚させ，子供を巨人のように，大人を小人のように感じさせているのは，距離知覚の手掛りをなくして見せる処にそのミソがある。遊園地で子供はもちろん，大人までキヤッキヤッといわせているビックリ箱は積極的に自己中心的定位を混乱させる一例である。



独身寮の明るいコンクリートの白い壁を見て，気の毒だなあと思う。白い滑面の壁にイメージを描くには若い人は余りにもテレビ的，グラフ的なお膳立になれている。狭い室で奥行を求める視線は撥ね返され，手掛りを求めて彷徨する。何の飾り気もないその室に人によっては囚人のような圧迫感すら感じるかもしれない。いわゆるアパートノイローゼである。そこへ絵を掛ける人は眼のやり場所，視線を吸込む窓をこしらえたのだともいえるだろう。英国の雑誌には，モダンアートの絵は前面に飛出し勝ちだから，クラシックの方がよいとあった。こんな話を続けたら，あいつは芸術を解さないとレッテルを貼られるだろうが。

最近，英国から起った絵画療法の一つとして病院の壁に絵を掛けたり，描いたりすることが日本でも行われ出したのは，身心共に弱っている人達に対して結構な処置である。その内でも絵を掛けかえられる方がすぐれているのはもちろんである。

身体像を中核にして手掛りのない場合について述べて来たのだが，私達が対象を認めるのは対象の位置，大きさ，形，相互関係，観察者と対象の方向，距離関係（観察者の心理状態もあるが）の手掛りによるわけで，対象の組織力を強めてゆくと，対象相互の関係によっても位置づけが行われるようになる。これは自己身体を中心として形成される空間としばしば一致するが，常に一致するとは限らない。その組織力はいわゆる「纏りの諸要因」によって強化される（心理学の概論書には必ず出ているから詳細は省略する）。多くの場合幾つかの要因が同時に存在しているのだが，この場合どの要因にしたがって分化するかは，全体がもっとも簡潔な良い形にまとまるように分化されるのだという Prägnanz の法則（簡潔化の法則）がある。（図1）

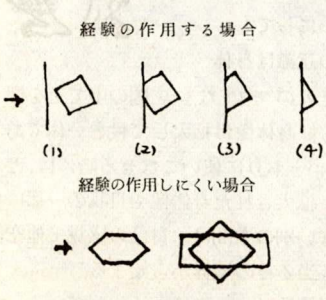


図1 短形と正方形が優勢即ち'よい形'が見られる

H. Read は芸術作品の中にはこの法則をはずれるある種の表現形式があり，その例として筆蹟やインクや絵具をぶっつける自動図表的ななぐりがきの絵画を挙げているが，作られる時に偶然があっても，観る目には自動的にこの法則が働いているはずである。「よい形」の理解範囲によって違ってくるのであろう（後節の人格化作用もその一例といえる）。したがって，前述の空虚な壁も，掛けられた絵の力によって，いままで図として前面に出ていた壁が後退して，地として，背景として落着くこともありうる。梅花一枝，朝顔一輪の手法だが，法則的にいえばはなはだソッケない。芸術は多くの要素をもった簡潔化だから，無限の可能性があるといってよかろう。そのようなものだから，法則がソッケないのだともいえる。この辺りからデザインの分野に連続してゆくのだがここでは一応差控える。



Chirico と同様に，無意識の世界を表現する仕事をしている S. Dali が「未来の建築は柔かくて毛深いものになるだろう」といったのが，最近今東光まで引用しているので驚いたが，Dali 一流の奇矯な言動を割引いても，非現実感を生む光景の対極のものとして，ルネをフトンの壁で囲み，緑の世界に安静させたのと共通したものを示している。安定を与え，自我の拡大を容易にするための要素である。

外部は外向的で，内部は内向的な設計だといわれる F. L. Wright の室空間は，彼の主張する連続空間ばかりでなく，人の一番の弱点である背中を守る壁と低めた天井で安定した場所を必ず一隅に設けている。照度の落ちたそのような場所から，明るい処を見るように仕向けてある。心理的分析に格好の設計であるし，上述の両極の中間値の一つを示しているといえるだろう。

3. 人格化作用

私達が対象を見るということは選択し，特徴を見出し，その意味を見ていることでもある。Stern は人格的空間は質的に違った3つの次元を有するとし，上下は人間特有の直立姿勢から，精神的な品等や価値意識に結合され，言語，芸術，神話のいろいろな象徴に示され，前後は前方が人間的目標の方向であるために後方より優位にあり，左右は身体の構造，機能，象徴表現に表われているように非相称であり，神話，呪術，慣習において右を善，上位，左を悪，下位と示されていると説き，空間に人格的意義を与えている。私自身他の目的で幼稚園児の下駄箱へ靴を入れる，その位置を調査した結果，男女児の間に上下に関する類似の現象が統計的に高



人はこれを顔と見る，墳輪はこれを利用しているといえる。

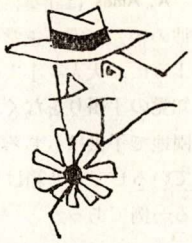
度の確率で示され，案外根深いものであるのに驚いたことがある。次にルネに見られた人格化の一面に触れてみよう。外界の事物が人格化されることは「幽霊見たり枯尾花」の諺どおりで，A. E. Poe の〝アッシャー家の崩壊〟がその点で知られている。芥川竜之介にもこの現象が顕著であったことが彼の作品に窺われる。この種の例は挙げるのに選択に困るぐらい非常に多いが，これは経験的認識と合理的判断が支配する世界とは本性異る母胎から生れる非合理的精神作用である。この現象は第一に主体と対象との間に自他融合的な関係がなく，隔ってあることが必要であり，心を動かさず凝然と眺めることが必要である。第二には，心を動かさぬとはいっても，枯れた放心状態ではなく，対象と隔たった状況で主体の心が生きている，外へ通じることができなくなり，冷く内に凝った感情が存在することが肝要である。そしてどれも不気味なものを感じるのは，元々そこに「いない」はずのものが存在して，しかも存在理由が私に摑めないためである。仏像を見る場合に類似した感じを受ける。素材性が少く，精神性が深いものであればあるほど，静寂な超越感とともに，不気味さの漂いを感じる。それは見る人の主観性にあるというより，仏像の象徴するものが本来私達の手の届かぬ「彼岸」であり，「無」の世界であって「ここにない」ものであり，それがいま眼前に具象的実体的であるからであろう。



ところがそれだけでなく，不気味なためにはその対象が「心理的に大きなもの」でなければならない。巨大な入道雲のように，大きいと同時に見る人の上方に覆いかぶさるように現われ，威圧的であることが必要規定である。仮に小さなものであっても，天井の節穴のように上方から見下す監視的表情のある場合，心理的な意味は大きい。

外界との疎隔状況から，変化流転する対象を確固不動のものとして純化しようとする点に抽象芸術の存在を説明しているのが，W. Worringer であるのは衆知のとおりだが，分裂病者の絵画が異形の人格化と幾何学的合法則性をもった抽象の二種であることが彼の理論の裏付けになるであろう。覆われているということは，疎隔の不信から来る不安を強め，親密な信頼から来る安心を増大する二種の働きを生む。

主体と対象が離れずに，むしろ対象であることをやめて，我と共在する汝となる時「このましい」感情が対象にそなわる。これについては有名な，T. Lippsの感情移入がある。主体の状態感情に相当した対象感情が見る対象に内在すると体験される。但し，「木立ちは爽かに梢をふっているが，私は悲しみで一杯で，自然物の気分にはなれない」というように，明るい感情移入体験がかえって対比的に沈んだ状態感情を深める場合もある。また，「月が悲しげである」というのが普通であるが，「月の中に私の悲しみと悔みがある」というように，感情移入された自我の状態感情が対象において自我性格をそのまま持っている場合もある。



「草に身を横たえて，私は霊の中で大地に，太陽に，大気に，そして目に見えぬはるか彼方の海に話しかけました。私は大地の不動さについて思いをいたしました——それが私自身の身体を支えてくれているのを感じました。草の臥床を通じて，あたかも偉大なる大地が私に話しかけているのを悟り得るかのように，ある感応力が伝つて来ました。」これは英国の田園詩人 R. Jefferies の〝心の旅路〟の一節である。その次の章で彼は「人間の容姿を画いたものでなければどんな絵画も私の心をとらえません。その他のものはすべて平板な表面的なものばかりです。他の美術も同様で，それらは生命のない死んだものです。例えば陶器や建築は意味がなく，石のようで，しかも磁器の冷い感触のようにむかつきさえ覚えます。ただ美術に表現せられた人間の容姿のみが，この祈りを湧き起させることが出来ました。しかも彫刻においてとくにそうでした」と書いている。

この種のものは心理学的美学や了解心理学者によって研究されているから，この程度に止め次に移る。

4. 住宅・寺院・茶室



現実の社会生活は個人の自制を要求し，個人の自制は自己中心的自我と対立する。抑圧された自我の解放，満足は住宅に対する基本的欲求である，それが家庭という社会の最小単位を維持するために，自我の満足が必ずしも十分ではないにしても。身体の意識，自我の意識は身体の境界内に限られたものではない。闇の中で道を探る時，杖の先で感じる。身体像は拡大して杖と一体であると感じる。自分が思いどおりに使いこなせる時には，どんなものであっても，拡大された身体像や自我の一部になる。自分のものでない別の空間は，自己の感覚で他空間から来る対象に突き当るその境界から始まる。

私達は我家の空間構造についてはよく知っている。キョロキョロ見回わす探索行動は不要であり，暗闇でも一

応不安なく行動出来る。長い間の経験から習得された全体像は感情とも密接に結合している。外界の対象に対して生体全体が関与することが完全であればあるほど，対象の恒常性は高まる。それは意識下に潜在化する。そこでの変化は新鮮さを与えこそすれ，空間構造を破壊して不安を与える程のものではない。unheimlich，無気味ということは，文字通り我家にない，なじまないの意味である。ここでは空間構造，身体像，自我，感情の関係が確立し安定している。そこにあるものはほとんど拡大された身体像や自我の一部になりきっている。同居生活による葛藤が深刻化し易いのは自我の中心に影響するものだからである。

E. Cramaussel の研究では，2年5ヵ月の子供が2ヵ月の避暑生活の後，我家に帰り，はじめは再認しないように見えたが，自分の室には入るや否や「私のベッド」と叫んで躊躇することなくその上に眠り，翌朝このベッドの印象を中心として，そこから再び家全体に対する再認を完全に回復したことを報告している。H. Werner はこの例から，子供の精神発達が進むにつれ本質的なものと偶有的なものとが混沌としている記憶や想像の中に，何らか意味中心となるものが現われてくる，これは，はじめある状況の全体的印象をとくに顕著に担うものであり，かつ児童の人格にもっとも密接な関係を有するものであると述べ，幾日かの不在の後に自分の家が全く変化したと考えたのが，自分のベッドに対する感情的印象を中心として，自己中心的に家全体の再認が可能になったのだと説明している。私はこれを全身的感覚によってとつけ加えたい。この例で示されるように，身体に膚接するもの程自我の拡大が容易であるように思われる。「坊主憎けりや袈裟まで憎い」のとおり，使っていた着物や道具がその人同様にまつられる事実が証明する。その意味で偉人の住宅は保存されても，住宅だけでは十分でなく，必ずそこに使われていた道具や家具がなければならない。

心理的尺度は必ずしも物理的尺度とは一致しない。むしろ一致しない，逆の場合すらある点に心理的なものの特徴がある。刺戟――反応の生理学的定式が刺戟――生体――反応と訂正されたのはそのためである。それでもなお，空間に関しては身体的な尺度の強力さが認められる。Uexküll は奥行の差が知覚出来なくなる最遠平面によって包まれた球面空間を人間は持ち歩いており，その中で前述の坐標軸体系にしたがって行動しているのだと説く。この最遠平面は条件により変化するので固定的ではない。一般的にある範囲の値を想像せしめるものに，鴨長明の方丈の家，人口に膾炙した四畳半がある。牧下氏（心理学者）は身長 1.5m であることが奥行知覚に影響しているといっているが，それを直ちに鵜呑み出来ないにしても，私の実験では 1.5m～3m の間が一番誤差が少い（とくに下方に対しては 1.5m 以上になると誤差が大きくなる）ことから，human scale を仮定することができるようにも思われる。



空間構造と自己の身体意識，すなわち自我像，自我，感情が離れてしまうことがある。その消極的なものは眩暈であって，生命的感情と確実性が喪失し，積極的なものとしては舞踏が，生命的感情と自由性の獲得として考えられる。

human scale の恒常性を破ることに重点があったと推察されるものの極点にゴシツクの寺院がある。まず W. Worringer の説明を聞こう。ゴシツクの寺院では，スコラ派と神秘派とが不可分に結合していた。この二つを統一して，それを同質の現象にさせているのは両者のもつ超越的な特徴である。われわれはゴシツクの伽藍の内部空間を，感覚的なものから出発した超感覚的な体験として感じる。スコラ派は知的認識によって神性に近づこうとしていたとはいえない。渾沌とはしていながらも，論理においては非常に巧妙な思考運動の紛乱によって，神性を体得しようと欲していたのである。神秘派では，感情の陶酔がその宗教的体験の決定的な支配者になっている。神性はいまや自己自身の自我の焦点のうちに，内的静観の鏡のうちに，魂の法悦が斉す陶酔のうちに索められる。自己否定，忘我の道を通じて神性に参じうるとする。神の内在という観念は現世の世界とその感覚的な領域に接近せしめる。スコラ派の生んだ自然と離れた形式意志に，神秘派の抒情的要素から来る自然主義（花や蕾の模様等）とが絡み合う。

ところで空間はそれ自体としては，精神的な不可捉的なものである。したがって空間はこの自己の本性ゆえに表現を創造する一切の形式力からは遠ざかっている。というのはわれわれが捕捉できないようなものには，また表現を与えることも全く出来ないからである。空間から抽象的な特徴を取去って，空間をわれわれの観念に対して何らかの物体的なものとして置き換え，要するにわれわれが空間体験から感官の体験を作り，抽象的な空間から大気の充ちた現実の空間を作る時にだけ，われわれは空間を捕捉することができる。故にゴシツク人の精神化衝動は空間形成に当って，有機的・感覚的な表現領域におかれているのを発見する。彼の本来の縄張りである非感覚的なものは，いま彼には封じられている。彼にはただ感覚的なものを，超感覚的なもののうちに導入するという逃げ道が残されているだけである。したがって感覚的な空間体験から超感覚的な効果が獲得されねばならなかった。ここにゴシツクとバロツクとの内的結合が現われてくる。

パンテオンに入ったものは誰しも，自己の個人的孤立

から解放されたように感じる。しかしゴシツク寺院に入ったものは感覚的明化以外のあるものに行き当る。バロツクが斉らしたような直接的な粗野な感官的陶酔ではなくて，この世のものとも思われぬ神秘的な感官陶酔である。ゴシツクの空間は無羈絆の活動性である。他を圧倒し，神秘的な弾圧として作用し，苦悩を負うた魂には一種の悦びとも思われるものである。この激情だけが，地上的な羈絆と内面の憂苦とを超えて，高く彼を引揚げてくれる。大気的生命は，凡ゆる側面から反撥され無数の抵抗によってうち砕かれながら，どよめきとともにヴオールト天井まで狂騰してゆく。普通一般の空間感覚をもつ限り，大きなゴシツク寺院には入れば誰しも，空間的眩暈を感ぜずにはおられない。

石の塊のような壁，大きな扉を押してはいると突然広い空間の中にいる自分を見出す，森の木のような柱の林立，静けさ，空を限ることによってかえって感じる高さ，空間の量，ステンドグラスを透した異様な色光（現在は色彩映画やスライドで昔の人ほどではないが），異常に大きなパイプオルガンの音は静けさを破るばかりか，はらわたをゆすぶる。

馴染みの少いもの，異常な大きさでもって，これでもかこれでもかと自己の卑小さを意識させ，自我を縮少させるための手段がつくされている。ここでは空間が第一義であって建築はそれを生むためのものであり，けっして前面に出しやばってはいない。そして前述の仏像について述べた条件がここにもそなわっている。むしろ，ここの説明のために，いままで長い前置きを述べてきたのだといってよい。

オズオズと神様の前に行くまでには広場恐怖（Worringer が彼の抽象衝動の理論に引用している）といわれているのと類似の精神状態になり，自我はますます縮少を続ける。昔，漫画で只野凡児が美人に近づくにつれて，小人のように段々小さくなっていった絵を想起してもらえばよい。ヒットラーも外国使臣との会見の際これを有効に使ったといわれるが，建築的には感覚的明化にとどまったに過ぎない。

翻って茶室を見てみよう。和敬清寂の境地で一人想い，また一期一会，文字通り膝をまじえて話するために，俗世間と隔絶しょうとする点でゴシツク寺院と共通するが，寺院が極大値であるに対し極小値である点，自我の縮少に対して拡大をねらっている点で異る。一般に露地は，御陵や神社の参道ほど長くはない。そこで樹木を絵画の近，中，遠景と同様に配置し，道をまげて見通しを避ける，いわゆる〝重りの効果〟の利用である（**図2** 参照）。その上，凸凹の踏石を配置して歩きにくくする。人は否応なしに足許に眼をやり，石をたどつてゆく。眼を一つ一つにとどめてゆくことは，実際の距離よりも長く感ぜしめるものであり，実験的にも確かめられる（**図3** 参照）。評論家好みの言葉を使えば「空間の時間化」の一例といってよい。それによって心の調整のための時間を稼いでいる。躙口では体をかがめては入らねばならない。それは隔絶感とともに，室を広く感ぜしめるのに必要であり，狭い空間を対角線に見させる点でも有効であろう。昔は障子をしめ行灯を用いたと聞く。大徳寺で，その状態の照度を測定してみたらどの部分も10ルクス以下であった。明るければ全く鼻白む思いになるであろう。壁は中性色の粗面だから，視線を吸込んで意識の表面に出しやばってはこない。畳も座布団も小さくこしらえてあり，作法も大きな動作を抑制する処から生れているかに思われる。狭さを利用する処とそれを意識させない処とが巧妙に仕訳されてある。

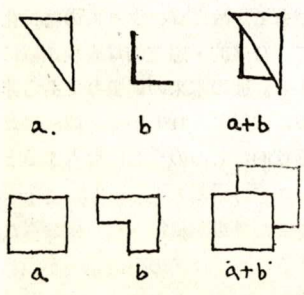
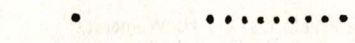


図 2　bを前方に置いても向うに見える。


図 3
長さ，ひろがりが数個に合割されると過大視される。（分割距離錯視）

極大極少の例を引用したが，それぞれが単独に存在しているのではない，human scale との比較によって，その存在を前提とすることによって意味を持つに過ぎない。それは「弁別は絶対的大きさよりも，むしろ相対的大きさによる」の Weber-Fechner 法則，並びにその後の「生体の平衡化傾向による刺戟効果の増減」の諸研究によって裏づけされる。

×　　×　　×

以上，与えられた紙数を遙かに超過したにもかかわらず，やっと述べ得たかに思われるのは，室空間の基底的機能だけで，貴方にとって室内意匠という範囲から不満足なものかも知れない。しかし私にとっては，工芸的な意匠よりも建築家にとって一義的なものを述べたつもりである。芸術を地上に引下すような安易な説明や釈伽に説法の嫌いの多いことを述べて来たのは，human engineering の一環として，いわゆる〝下からの研究〟結果を整理応用するのを主としたからである。芸術的なリアリティや空間論議の一つの礎石にでもなれれば，本望なのだが。

（昭33.8.20記）

字数の都合上，註，文献を省略させていただきました。（編集部）

（筆者 阪大工学部助教授）

建築以外のインテリアー・デザイン

二つの例によって……あるぜんちな丸と特急あさかぜ



樋口　治

(1) インテリアーデザインということ

インテリアーデザインという問題は，最近になって起ったものではなく，古くからあった問題であるが，いわゆる室内装飾（Inner Decoration）といわれた時代の感覚，すなわち Decorate（装飾）するという意味が，表面を化粧によって糊塗するというデザインの本旨から離れた遊びに重点が赴いたため，新しいセオリーにしたがって活発なデザイン活動を発揮し出した建築並に工業デザインの蔭に隠れてしまった感があったのである。

もちろん，インテリアーの〝場〟は，その本旨上，建築および工業製品の範疇とオーバーラップするのは当然である。すなわち，室内空間の構成については，建築デザインで処理され，家具などには工業製産化されているものが相当あることは事実である。

しかし，実際にインテリアーと取組んでみると，そこには，テキスタイル（織物）や陶器，金属，プラスチックスなどの広範囲の資材の所理があり，家具について考えてみても，工業製品で解決出来ない部分，すなわちハンデイクラフトでなければ解決できない現実にぶっかるのである。

もちろん，優れた家具が，マスプロにのって工業製品化され，ローコストで提供されることは望ましいし，将来かくなることは当然予測されるが，その時代になっても，作業のための家具や，整理格納のための家具には，マスプロに乗せられない特殊なものが，相当数要求されることは想像に難くない。

さらにインテリヤーの分野は，単に建築のみにあるものではなく，船舶・車両・航空機などの内部構成にも大きく関係しているので，その受持が極めて広範囲で複雑多岐であることはいうまでもない。

本誌は建築関係者の機関誌であるので，建築関係のインテリアーについては熟知されておられる向も多いと考えられるので，今回はとくに建築以外の室内デザインについて，お話しした方が，異った意味での参考になるかもしれないと思うので，以下いささかその方面のことを申し述べてみる。

話には，具体例を採り上げて，申上げるのが一番良いと思うので，最近小生がデザインに関与したもので，たまたま船舶と車両に一づつの実例があるので，それを俎上にのせてみたい。

船舶は大阪商船の「あるぜんちな丸」であり，車両は国鉄の特急「あさかぜ」号である。

（2）船舶関係のインテリヤーデザイン

・今日までの状況

戦前のクイン・メリー号や，ノルマンデイー号，あるいはわが国の新田丸，あるぜんちな丸，などに視るごとく，船舶の中には豪華客船と称する種類があって，その室内構成は，極めて充実したものがあったことは，つとに周知のことである。

しかしわが国は，ご承知のごとく，戦争によって，これなどの優秀船を一挙に失ってしまった。わずかに戦標船と称する粗製濫造の船が，若干残されたに過ぎなかった。

しかし海国であるわが国は，国内輸送の面だけでも，船がなければ，一日もやってゆけない。

かくて終戦後，ただちに採り上げられたのが北海道，四国，九州などへの海上輸送力の復旧であり，国鉄の青函連絡船（洞爺丸，羊蹄丸，磨周丸等），宇高連絡船（紫雲丸，眉山丸），瀬戸内海航路船（るり丸，須磨丸，米丸等），沖縄航路（白雲丸，白山丸等）の1,000屯から3,000屯級の貨客船の建造が始まり，われわれは永い戦期中の暗黒時代から，たちまち光明の世界へもどった喜びで無中になって，これらのデザインに従事したものである。

やがて海外輸送の復旧のため，政府の計画造船が始められて10,000屯級の貨物船が建造され始め，年を追って今日に至っている。

その後，朝鮮事変の勃発と共に，わが国の海運界はにわかに活況を呈し，いわゆる第一次の造船ブームとなったが，その花形はなんといっても油槽船であって，オイルタンカーブームは，引続いて国際的競争の劇甚化とともに，大型船時代を現出し今日では，60,000屯から90,000屯のマンモス・タンカー時代に入っている。

この間，われわれの仕事としては，輸出船時代に入り，外国船主からの要求によって，ずいぶん新しい資材や工法を勉強させられたもののあることを特記したい。

この要求は，主として，米国と北欧の船主あたりから出されたのであるが，今になってみると，この勉強は今日のわれわれの技術に大きく役立つているのである。

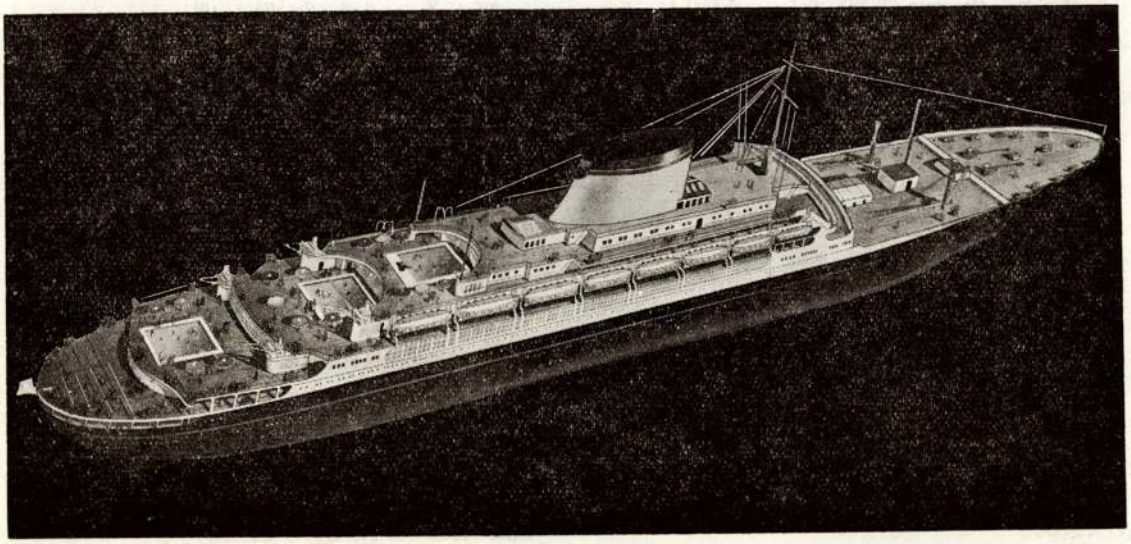
すなわち，油槽船の防火方式や，電気配線の構造などには，建築の及ばない高性能方式が採用されているといっても過言でなく，ジョンス・マンビル社のマリナイトや，英国製スプリンクラーなどは，これらの関係の仕事では，早くから採用されており，防火材としてのメラミン化粧板や，ポリウレタン塗料，全金属製の家具などは船舶・艦艇の方が極めて広範囲に採用している。

・将来の船舶界

戦後から今日までの船舶界の概況は上記のとおりであるが，さて今日以後の造船界は如何なる方向をたどるかということについて考えてみると，ご承知のごとくさしもの活況を提した油槽船建造ブーム時代も，今日では下火となり，海運界の景気の波の荒さにいまさらながら驚くのであるが，このタンカーブームに代って今後予測されるのは世界的な客船建造時代の到来である。

北極を越えて，極東から北欧まで，わずか二日足らずで行ける航空機時代に，いまさら客船時代でもあるまいと一応は思われるのであるが，船の持つ情緒と航海の面白さは，独特の持味らしく，今日では欧米では，ビジネスには航空機，遊山には船舶というように判然と区別された模様であり，また生来の飛行機嫌いという連中も多いと見えて，もっとも航空機に駆逐されるべきはずの，北大西洋航路の客船が常に満員であり，現在各国が競争

クリストフオロ・コロンボ号（イタリア）



してこの航路に優秀豪華船を，続々と建造しつつある事実が認められるのは，まことに面白い現象である。

以下最近の世界各国の優秀客船，並にその建造計画の一端を掲げてみよう。（下表参照）

下表をみても，すぐ判るように，いずれも30,000屯から50,000屯の巨船であり，とてつもない巨費を投じて建造している船が多く，これらが2.3年後に大西洋の波間にその巨姿を浮ばすときの壮観さは期して待つべきものがある。

また，これ等の新造船中，とくに注目すべきは，400億円という史上最大の建造費と技術を掛けて建造中のアメリカの United States 号の姉妹船と，フランスとしては未曽有の建造費300億円をかけて，その洗練されたデザイン・センスを発揮するであろうフランス号(55,000屯)と，イタリーの漸新な近代感覚を示すであろうレオナルドダ・ヴインチ号（32,000屯）ならびにオランダのロッテルダム号（27,000屯）である。また，レイモンド・ローイが船の外観から室内までデザインしたといわれるア

国名	船名	噸数	航路	就航，建造中	備考
アメリカ	インデペンデンス Independence	23,000	ゼノア～ニューヨーク	建造中	姉妹船
	コンステイテユーション Constitution	23,000	同	同	レイモンド ローイのデザイン
	ユナイテツド ステーツ United States	53,000	ニューヨーク～サザンプトン～ルアーブル	就航	サーヴイス スピード 30節 乗船予約は数週間前に満員
	同上 姉妹船	53,000	同	建造中	史上最大の建造費 400 億円をかけている
	アメリカン プレヂデント ラインの新造船	40,000乃至50,000	太平洋航路	予定	日本が太平洋航路に客船を造つた場合これに対抗するものらしい
英国	PO社 キヤンベラ号	45,000	英本国～濠州	建造中	1960年～1961年に完成
	オリエントライン社 オリアーナ号	40,000	同	同	1960年完成
	ユニオン キヤツスル社 ウインザー キヤツスル号	38,000	英本国～南アフリカ?	同	
	キユーナード ホワイトスター社 クイン エリザベス号	83,000	ニューヨーク～シエルブール～サザンプトン	就航	老朽化しつつあり
	同 クイン メリー号	81,000	同上	同	同
	同 キヤロニア号	34,000	同上	同	今春、日本へ観光船として来航す
	同 モレタニア Ⅰ号	36,000	同上	同	
仏蘭西	フランス号	55,000	ルアーブル～ニューヨーク?	建造中	300億円を掛け建造中 1961年完成，最も注目されるもの
	イルドフランス号	44,000	ルアーブル～ニューヨーク	就航	戦後大改造す
	リベルテ号	53,000	同	同	元ドイツ船オイロパ号を1951年に70億円をかけて改造す
イタリー	クリストフオロ コロンボ号	29,000	ゼノア～ニューヨーク	就航	先年沈没したアンドレア・ドレア号の姉妹船
	レオナルド ダヴインチ号	32,000	同上 ?	建造	1959年秋完成
	オーガスタス号	27,000	?	同	1951～1952年完成
オランダ	ロツテルダム号	37,000	ロツテルダム～ニューヨーク	建造	1959年完成，600人収容の劇場あり
	ニユー・アムステルダム号	36,000	同	就航	
	スターデンダム号	24,000	同	同	今春，日本へ観光船として来航
スエーデン	グリツプスホルム号	23,000	ゴーテボルグ～ニューヨーク	就航	
	クングスホルム号	21,000	同	同	今春，日本へ観光船として来航
	ストツクホルム号	12,000	同	同	



「あるぜんちな丸」 一 等 食 堂

メリカのコンスティテューション号の完成予想図等を見ると，煙突が展望室に変り，本当の煙は後部の二本の流線型のマストが兼用するという今日までの常識を破った型状を示し，内部のパースペクティヴ等でみられるインテリヤーは，飛躍的に斬新なものもあり，われわれの期待するところも甚だ大きい。

このような世界的な客船建造時代にあって，嘗って世界第三位の海運国を誇ったわが国の客船計画は如何かというと，敗戦の影響は大きく海運界にも作用して，現在では人間より先ず荷物というわけで，正式に船台に乗っている客船のないことは，まことに残念である。

しかし，巷間新聞等で，しばしば伝えているごとく，あるいは大平洋航路の豪華客船や，原子力移民船建造計画等，その胎動は次第に活発化しつつあることは否めないし，何日の日か，必ず，日本の文化，技術を世界に誇り得る優秀船の出現することを，心より期待する次第であるが，現在，とにかくこの種の性格の船として，わが国で如何なるものがあるかと考えたとき，もっとも注目すべきものは，移民船と称する大阪商船株式会社の一連の船舶である。

これは，名のとおりわが国の国策にそって，移民を運ぶ南米航路の船であることはいうまでもないが，前記のごとく，代表的な客船がわが国にない間は，わが国の文化，技術を，いささかなりとも他国に紹介する，いわゆる準客船的な性格をも合せ持つ船でもあると考えてよいのではなかろうか。

・あるぜんちな丸

前記の意味から，この4月に竣工して，5月にブラジル向け処女航海にのぼった大阪商船の新造船「あるぜんちな丸」は，その船内設備において，現在，わが国が保有する商船の中では，もっともハイグレイドの代表船であるといっても過言ではないと思う。

もちろん移民はわが国では，社会的にも，極めて大切な意味を持つ人達であるだけに，その人達の使用する三等客室は，常に改良せられており，「あるぜんちな丸」でも，その居住設備にもっとも重点がおかれたのであるが，たまたま私は，同船の公室（パブリック・ルーム）である一等の，食堂（Dining Saloon）社交室（Lounge）喫煙室（Smoking Room）階段広間（Entrance Hall）ベラン

ダー（Open Verandah）等のインテリアー・デザインに関与したので，主としてこの部屋群に付いてその詳細を申し述べたい。

その前に同船の主データーに付いて紹介すると，

建造所	新三菱重工神戸造船所
完成期	昭和33年4月30日
排水噸数	17,355噸
総噸数	10,600噸
最高速力	19.5ノット
平均速力	16.5ノット
一等船客	12名　定員
二等船客	82名　〃
三等船客	960名　〃

であり，大阪商船が戦後建造した「さんとす丸」「あめりか丸」「あふりか丸」「ぶらじる丸」等の移民船の実績を基本として，各部に渉って改良を加えたものである。

防火方式はスプリンクラー式消火警報装置を設備し，一等全域には冷暖房のエアーコンデイションを施し，照明は主として螢光灯を採用している。船体の色は吃水線下は暗赤色，上甲板までは藤色がかったグレー，それより上は白色であり，煙突はヴァイオレツト・グレーに大の字のファンネル・マークが入っている。

◀一等　食　堂　(Ist Class Dining Saloon)

壁……ホワイト・マホガニー材，クリヤーホツトラツカー仕上
天井…9㍉厚合板，アイボリー色　オイルペイント　小叩き
床……ブリタニー・ブルー（Brittany Blue）色のジヤスペ模様のゴムタイル張
家具…ホワイト・マホガニー材，並びに桜材使用
　椅子張は若草色（Fresh Grass Green）のナイロン・モケツト
窓掛…マガキ模様ドレープ（色はグリーン）
レースカーテン…本絹紗
卓子掛…鄙黄色のドレープ
照明器具…30Wサークライン螢光灯，器具はアクライト成型

壁面正面中央に「陽暉（ようよう）」と主題する漆高蒔絵（上原清氏作）を嵌込し，舷壁面両側にニッチを造り，森野嘉光氏作壺一対をおいた。ニッチの内側には川島織物製金砂子暈綴織を張る。

漆蒔絵「陽暉」は，桃山時代の金碧障壁画の感覚をそのまま採り入れた花鳥文模とした。

◀一等　社交室　(Ist Class Lounge)

壁……ウオール・ナツト材，クリヤー・ホツト・ラツカー仕上
天井…円型の間接照明，間接照明内部は 9mm合板，オイル・ペイント仕上，周囲の下り天井は 9mm合板にストライプ・リヴを入れ，アルミ・ペーストのハイソリツド・ラツカー仕上とす
床……Maize（淡黄）色，ラバータイル張
家具…ウオールナツト材並びに桜材
　椅子張はフレンチ・グレー色のナイロン・モケツト並びに手描捺染のフオルスタイン模様のテレンプ
窓掛…ラベンダー・グレイ色のドレープ（千々岩模様）
レースカーテン…本絹紗

壁には小林尚暎，加藤宗巌氏などの共作による彫金の飛翔する鳩（主題，自由）のレリーフをとばした。

◀一等　喫煙室　(Ist Class Smoking Rm)

壁……ケバーシンゴ材
天井…社交室と同じ
床……トパーズ色（黄色）のラバータイル張
家具…ケバーシンゴ材，並びに桜材，椅子張地は
　ハニーエロー（蜂蜜）色とラベンダー・グレー色のナイロン・モケツト
窓掛…オリエンタル・ゴールド色のドレープ（時雨模様）
レースカーテン…本絹紗

壁にはアルゼンチンの国花エリスリナ（Erythrina）と緬羊，蜂鳥を表わした象嵌本彫(吉田関三氏作)を配した。

「あるぜんちな丸」一等社交室



「あるぜんちな丸」一等喫煙室



ピアノは日本楽器にとくに依頼して，壁材と同材のケバーシンゴを使用したデラックス判を製作してもらった。

◀階段　広間（Ist Class Entrance Hall）

床……ビフロ張
天井…白色ペイント仕上
壁……アイボリー色ペイント仕上，造作は桜材
家具…桜材，椅子張はローズ色のテビロン・モケット

壁に彫金製の扇面三面（布目金銀象嵌，沈金素赤片切彫銀地黒塗打出彫）を鐸々会の作家に依嘱製作してもらった壁飾を掛けた。

◀ベ　ラ　ン　ダ　（Open Verandah）

一等船室のあるブリッジ・デッキの後部にあり，屋根はあるが，四周は開放されており，風雨にさらされる状態にあるので，とくにその点に留意がはれわれた。

家具…藤製，椅子張サラン，充填物サランロック
壁画…主題「秋の清水」伊奈製陶に依頼して陶片モザイツクにて製作

◀デザイン・ポリシーとデザイン過程

本船を建造した新三菱重工業のような大きい造船所には，たいてい，艤装部門に，デザイン専門の過程を経たスタッフが在って，ARANGEMENT は，これ等熟練者によって立案されるし，デザイン構想についても，われわれは常にこれらの人々と連絡協議しつつ行うのである。

船の装飾には，陸上建築のそれに比して，相当高いグレードが与えられるのであるが，如何に金を掛けても，船主（オーナー）と造船所の担当技師，およびわれわれデザイナーの三者の間に意見の喰い違いがあっては，絶対に良い作品はでき得ない。

この点，幸にも本船のオーナーは過去において，数多くの優秀船を建造した大阪商船であり，竹内工務部長，岡田工務課長等は，その当時の貴重な経験を持つベテランであり，造船所においても前述のごとき人々の良き理解があったので，好結果が得られたと考えている。

ここでとくに一言したいのは，船という特殊な環境下にあるものの，インテリヤーデザインの在り方である。

陸上建築のもっとも前衛的な立場にある作家の考え方からみれば，日本の船だけに限らず，外国の代表的な船舶についても同様であると思うが，相当異論が出るのではないかということである。

換言すれば，船内構成に装飾的要素が多すぎるという意見が，それ等の人々から出るのではないかということである。

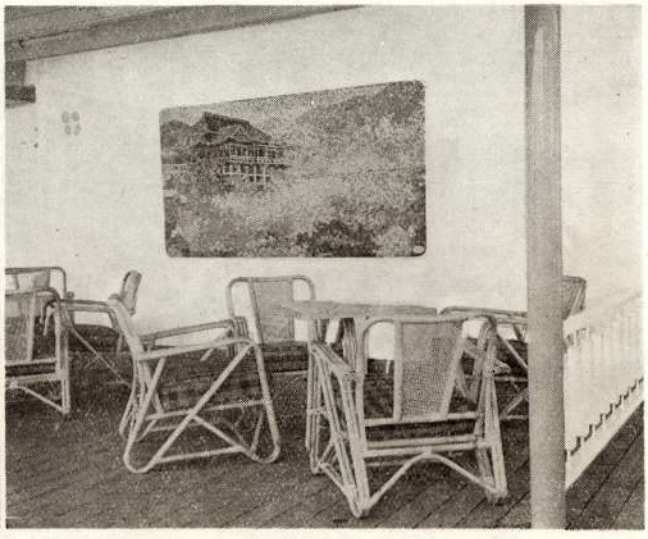
本論の冒頭に述べたように，私は〝装飾によって糊塗する〟ことを否定するものであるだけに，本船のデザインの出発に当って，この問題について相当悩んだので，船主や実際船に乗り組んでいる海員の意見を問うた結果，いまさらのように船と陸との生活心理の違うことに驚いたのである。

すなわち常に水平線のみしか見えぬ単調な明け暮れ，あるいは氷雪風雨と闘う緊張の連続の中におかれている人々の心理には，その反対としてのフィクションが要求されること，陸上のわれわれにはなかなか想像できないものがあることである。船のインテリアーデザインには陸上にある冷厳なまでに整理された空間よりも，情熱的な要素の入った住居空間が切実な要求として求められているのではないかということである。

「あるぜんちな丸」階段広間



「あるぜんちな丸」ベランダ





（3）車輛の　インテリアー・デザイン

・船舶と車輛の共通点と相違点

車両内部の扱い方については，船舶と共通の類似点が多いが，その反面，船舶にないファクトを要求される問題もなかなかあるものである。

次に両者の共通点と相違点を表示すると，

A　共通点

1. ともに走行するものであって，振動・歪曲・激しい衝撃など，他動的に強い力が加えられること，したがって構造材はもちろん，化粧材にも高度の耐久力が要求されること。
2. 陸上構造物のごとく，日射方向，入射角度が一定でないこと。
3. 暑熱地帯，寒冷地帯を問わず，あらゆる気象条件下に突入するため，完全なるインシュレーションと防歪力の大きい資材が要求されること。
4. あらゆる階級と嗜好をもつ人達が，その利用者として乗込み，ある一定の時間中は，特別な社交性質を持つ場となること。
5. ともに限られた狭隘な室内空間しか与えられないこと。しかもその空間の中で，休養・睡眠・食事・排泄などの生活機能を満足させる設備を備えねばならないこと。
6. 湿気と防火にはとくに注意をはらわねばならないこと。

B　相違点

1. 船舶には Sheer（舷弧）Camber（彎曲）があって天井，床は水平でないが，車両にはそれがないこと。（船では，建築工事における〝下げ振り〟が使用できない一事を想い合せていただきたい。）
2. 車両には，その高速化と共に転量化という問題が大きい要素になっていること，これは車両工作上実に大きい影響がある。
3. 車両は船舶に比して，予算が相当切りつめられていること。しかも，この予算内で常に新しい資材の採用を要求されていること

などである。

・デザイナーとエンジニヤーとの協力

車両をやってみて特に感じられることは，機械的な要素が直接にインテリヤー・デザインとぶっかることであって，これは建築は勿論船舶との比でなく，デザイナーとエンジニヤーとの密接な協力を必要とすること車両ほど切実なものはない。

たとえば，椅子一つにしても，例のミリクライニング・チエヤーミのごときは，そのフオルムを構成するに，エンジニヤーから出た条件を満足させるものでなければとうてい手におえる代物でないということである。

・特急「あさかぜ」

前述のごとく，私は，最近国鉄の特急「あさかぜ」号の，インテリアー・デザインを依嘱されたので，以下この詳細について申述べる。

新「あさかぜ」号は，さる8月30日に完成，この原稿を書いている現在（9月上旬）東京—博多間の全線試運転を行っている。

ご承知のごとく，最近のわが国の車両の製作技術には目覚しい進歩があって，海外へは印度，東南アジア，南米等に輸出され，国内では，小田急の S. E（スーパー エキスプレス）車，近鉄の VISTA（ビスター カー）車などの優秀車が出現しているが，国鉄でも車両の改良は，主要な経営方針の一つとして採り上げられ，最近二つの代表的特急車を期造した。

その一つは，

東京—大阪間六時間半の快速ビジネス特急「こだま」号であり，

いま一つは，

ここに採り上げる東京—博多間の新特急「あさかぜ」号である。

「こだま」号は，八両連結の電車型式のものであり，これは全部国鉄技術陣の設計である。

申すまでもなく，国鉄は，世界有数の鉄道経営体であり，その歴史と規模ならびに技術は，わが国のみならず世界有数のものであるので，もちろん今日までの国鉄車両はビス1本に至るまで，その技術によって設計され，しかも，その車両は優秀であるという定評がついていた。

その国鉄が今回，新「あさかぜ」において，始めて民間のデザインを採用するという，画期的な試みを敢えてしたという点に，もっとも注目されるべきものがあると思う。

新「あさかぜ」は，3編成（1編成13両連結）製作された。

その中1編成を　日本車両製造株式会社（名古屋）で，
1編成を　日立製作所下松工場（山口県）で，
残り1編成を，両社で半々，製作する。

というように分担された。

日車と日立は，車両の基本構造，ならびに運転上，または保安上必要とする事項は，国鉄から指定を受けたがその他については一切両社独自の設計に委ねられ，両社は各々の責任において，特徴あるデザインを発表したもので，互に比較検討されるという立場にたったものである。

私は日本車両製造株式会社担当の分のインテリア・デザインに関与した次第であるが，私としては日本の幹線を走る代表的特急車に使用される車輛を，かかる型式で発注した国鉄の英断に敬意を払いつつも，それだけに責任の重大さを痛感し，私自身はもちろん，全スタッフの総力をあげて仕事に従ったのである。

新あさかぜ号の編成は

東京寄より　三等車 2輛，三等寝台車 5輛，食堂車 1輛，二等車 1輛，二等 B寝台車 2輛，二等 A寝台車 1輛，荷物車（半ば電源車）1輛

計 13輛 である。

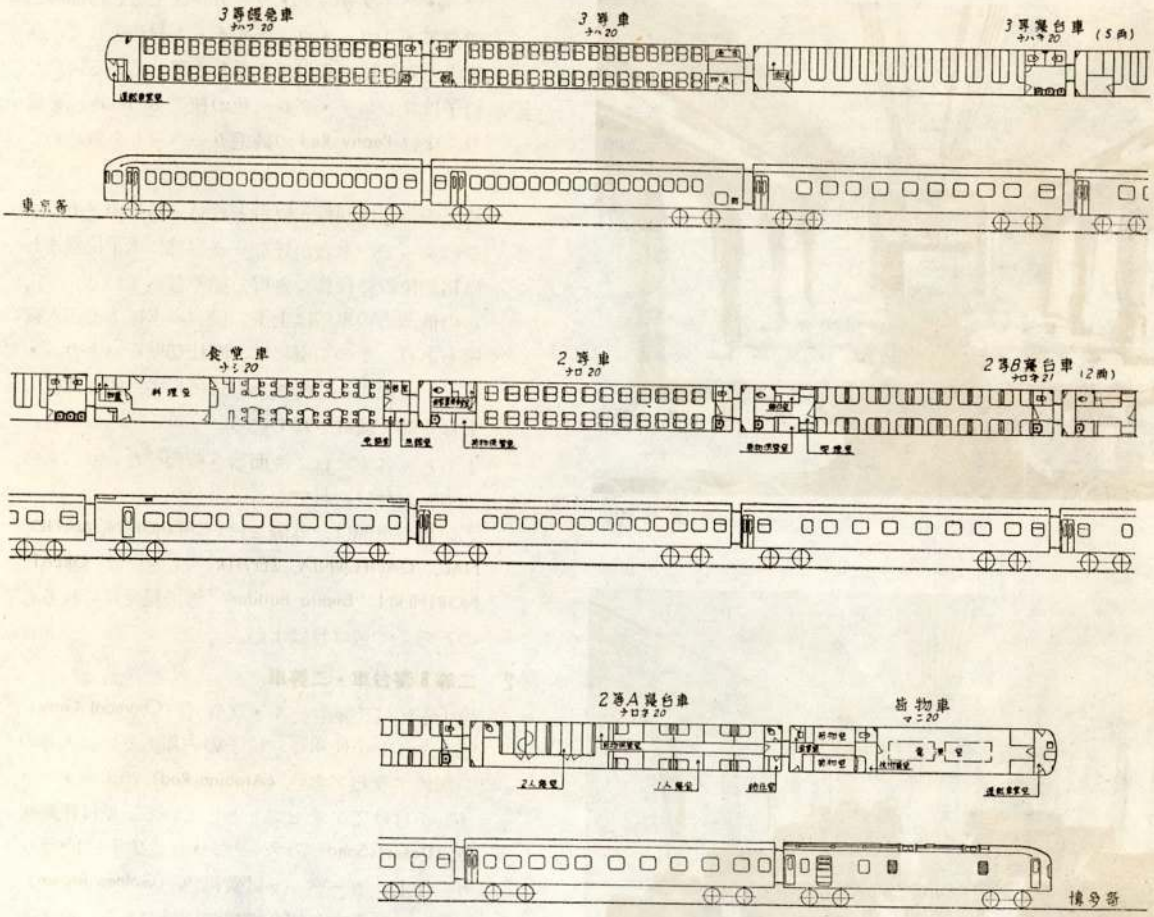
同車の機能的特徴として決定されたことは，

1. 乗心地を快適にするため，台車には空気バネを使用し
2. 連結装置には，油圧緩衝器を採用し
3. 全列車に，夏期・冷房装置，冬期加湿器付換気装置のエヤー・コンディショニングを施し
4. 電気暖房器，補助換気用排気扇，殺菌装置付ウォーター・クーラー，ジュース・クーラー，電気過水器等を装置しており，これら電気機器用電源は電源車に装備された2基のディーゼル機関駆動の交流発電機より供給され
5. 車体は軽量客車用鋼体の設計によつて，従来の車体重量 35ton を 27.5ton 程度まで引下げ
6. 車体外板は 1.6 粍厚鋼板とし，骨は全て板曲げ材を使用し，鋼体内面は厚10粍のアスベスト吹付を施して防音，防熱に対所し，床は波形鋼板の上に厚25粍のポリスチレン発泡板を敷き，床板は厚15mmの合板で，その上面にリノリュームを張った。
7. 車体内張材は，全車体を通じてハードボードを使用し，鋼体との間に 10mm のモルトプレーンを張り，天井板は吸音用アコースティック・ハードボードを使用して，同様 10mm のモルトプレーンを張って防熱，防音に考慮を払った。
8. 窓には二重硝子（ペアーガラス）を嵌込み，窓の開閉はできない。

等であるが，私は自分の担当するインテリアー・デザインの基調を定めるに当って，あらゆる方面より検討した結果，次のようなデザイン・ポリシーを立てた。

・あさかぜのデザイン・ポリシー

（1）日本で製作し，日本の幹線を走り，日本人に利用される車輛である以上，近代的な構成の中に，よ



い意味での日本的感覚をとり入れ，これを基調とすること。

（2）各車輌の車体構造および装備品との色彩調節に，とくに留意すること。

（3）長距離を走る列車であるため各室内の居住性は，とくに望まれるところであるのみならず，しかもそれは列車全体を通じての一貫した感覚のもとに纏めること。

（4）各車の特徴を本質的に考慮すること。すなわち，「あさかぜ」は，東京—博多間の夜行列車であるため，寝台車においては，そのプライバシーを尊重する考慮を払い，各車室とも落着いて静かな色彩と構成を保持させる一方，パブリック・ルームの性格を有する食堂車ならびに売店には，感じを一変せしめる効果を発揮するため，思い切った色彩と豪華感を与えるよう努力すること。

（5）使用材料は近代感覚を盛り上げ，新しい技術を生かす意味で，なるべく新材料を採用すること。

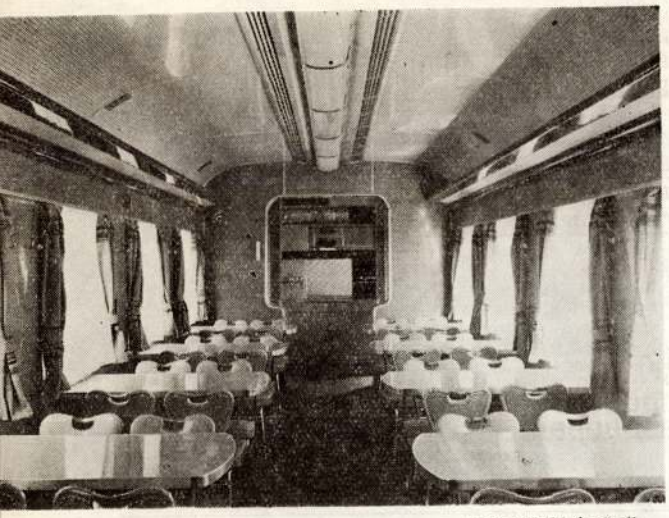
このデザイン・ポリシーを日本車輌に説明したところ，幸にも社長はじめ幹部の全面的な賛同を得た。その後予算の関係より部分的に多少変更したところはあったが，最後まで当初のデザイン・ポリシーが一貫されたことはデザイナーとして最も有難いことであった。

また，前記のデザイナーとエンヂニヤーとの緊密な協力の面は，日車側当面の担当である二村設計課長が，当方の最上の理解者として，同氏との絶えない連絡によって，十分その成果をあげ得たと思う。

・あさかぜの各車輌の内部説明

（1）二等A寝台車

この車には，わが国に今までなかった型式として一人用のコンパート・ルームが設けられた。この部屋は1900粍×1046粍という実に狭い空間であるので，この部屋を使用した場合，心理的な広さと静かさを暗示させるため，色彩と構成には，とくに考慮を払った。壁の一面をLirac Gray色のス—



「あさかぜ号」食堂車



二　等　車



三　等　車

パー・ハイソリッド・ラッカー仕上とし，他の三面をアメリカン・ウォールナット材張として，高雅さと安静感を表現でき得たと思っている。

椅子はフレンチ・グレー色の梳毛モケットを張り，床は Peony Red の純毛カーペットを敷詰めている。

椅子の背面は回転式寝台となり，特殊のメカニズムによって，乗客が好むまま容易に水平位置または格納位置に操作でき得る如くなっている。

この他，この車には上下二段ベッドによる二人寝室もあり，その一室には，間仕切壁をハネカム・ボードを使用した折たたみ式にして，四人部屋にもなる如く設計されている。

もちろん各室には，洗面器と荷物棚ならびにスピーカーが付けられてある。

この種の車輛は，外国では CANADIAN NATIONAL，CALIFORNIA ZEPHYR，あるいは GREAT NORTHERN "Empire Builder" 等に見受けられるものと考えて戴ければよい。

（2）二等B寝台車・二等車

椅子張にはチャコール・グレイ（Charcoal Gray）色モケットを使用し，椅子の一部あるいは天井の一部にアラビア赤色（Arabian Red）のボーダーライトを付けてアクセントとしている。壁は淡緑灰色（Desert Sand）のスーパー・ハイソリッド・ラッカー仕上，カーペットは黄褐色（Golden Brown），カーテンは青磁色切金模様の別織である。椅子張地のチャコール・グレイ色は，あらゆる色彩を検討したうえ採用したもので，本列車の色彩計画のうち最も冒険したものであるが，自分としては強い確信を持っている色である。

（3）食　堂　車

壁には，今までに全然発表されていない新材料を使いたかったので，種々研究した結果，ハードボードに金銀糸入りの葛布張り，ポリエステル・コーティングというものを案出して，とくに試作を重ねて使用した。

天井両側に鮮紅色（Rowan Berry）のボーダーライト（半間接照明）を採用し，中央のボーダーライトの両側に冷暖房のグリットを附した。椅子は先細のスチールパイプを使った金属製で，椅子張にはアルミ銀糸入ラメー織ビニールレザーを使っている。床は特別にデザインした縞模様入りの黒色リノリュームである。

カーテンもまた別にデザインを行った。黄地に灰，黒，紺，茶等の横縞模様である。

サイドボードはオールド・アイボリー色のカシュー塗で，扉に金箔，銀箔，うるみ色，黒呂色等の

本漆を使用した。漆は加賀漆である。その一部に鏡ならびに螢光灯の間接照明を使っている。

（4）三等寝台車・三等車

椅子張は全て Golden Brown 色の F60 番モケットを使用。

三等寝台車の床はブルー・ジャスペ，三等車はグレーの無地のリノリュームを採用した。

壁の色は，やや黄味がかった淡緑色（Pale Leaf Green）である。

（5）売　　店

売店にはショーケースと，壁付陳列棚と，クール・ウォーター器およびマイクロホーンならびにスピーカーを備えており，本列車の窓が開かないため，車内での弁当，飲料水，菓子，雑誌，新聞等の販売に使用される。

壁はウォーム・グレー色（Warm Gray），陳列ケースには黒色，天井には鮮紅色のデコラを使った。

・「あさかぜ」の仕事をして感じたこと

最後に，この仕事をして，とくに感じたことを申し上げたい。それは国鉄の検査が，あらゆる部門に渉って，非常に厳格であるということであり，車輛メーカーとしての日車も，それに劣らないシビヤーな要求を出したということである。

これは，建築や船舶では到底想像できないほどであって，吾々はこの点，非常に苦労はしたが，後になって考えてみると，これは全く良いことであって，国鉄技術の優秀性の原因の一端は，ここにあるのではないかと思ったのである。

私は，この点は今後是非，建築や船舶部門にも採り入れて欲しいと思うので，二，三の例をあげて詳記してみる。

例えば「あさかぜ」に使った織物である。椅子張地は上記の如く，すべてモケットを使用したが，従来のわが国の車輛は全部モケット張であるといってもよく，反対にアメリカ等では，車両にはモケットをほとんど使っていないことが判ったので，当初，私としては新機軸を出す意味で，モケット以外のもの，例えばピケ，レップス等の組織のものを使いたかったのである。ところが，国鉄の耐摩耗性，耐汚染性という，きしびい条件にぶつかって，折角集めた新組織の織物は，すべて討死を遂げてしまって，結局，現在の段階では，モケットに優るものなしという答が出てしまったのである。

それでは，色彩において変化を求める意味で（私としては，もちろん現在国鉄で使用されている椅子張の色彩には，以前から相当批判と疑義を持っていたので…）最初に二等車に Lilac Haze（赤味のある淡藤色），三等車に Fresh Grass Green（柔い黄緑色）を選択したが，これもフェード・メーターによる40時間の褪色試験という苛酷な国鉄規格の前には，わが国最高の技術を誇る住江織物のいかなる染料もこれに耐え得なかったのである。

したがって，最終決定として採用された二等寝台のフレンチ・グレー色とチャコール・グレー色ならびに三等車のゴールデン・ブラウン色は，これらの試験をパスした極め付きの染色と広言しても，はばからないものになっている。

また，窓掛地も全部特別のデザインによる別織であるが，（二等車および食堂車は川島織物製，三等車は住江織物製）これらも耐褪色性と耐汚染性その他について長期に亘る試験とデザインの変更を重ねて決定したものである。

レース・カーテン地にしても，既存のものは耐久性，耐褪色性，縮性等において何らかの缺陥があって，結局出来たての新繊維テトロン（100％）が各試験の結果，最も強靱であるとの答を得たので使用した。これも漂白晒（螢光染料による）は弱いということが判ったので，原糸のままを織らした。

リノリュームを床に採用したのも然り。当初，私はリノタイルや，その他各種のプラスチック製タイル類を採り上げた。

これらはリノリュームに比して色彩の豊富さと，発色の鮮麗さがあり，デザインするには有難いものであったが，車両の如く合板の床材の上に張るものとして，雨傘の持込み等，水が浸透する機会の多い車両では，絶対に継目の少ないものを採用しなければならないという過去の体験が，最後には従来のリノリュームを敢えて採択せしめたのである。

金属の鍍金にしても然り。鉄には，やはり充分な工程を与えられたクローム鍍金が，難点の最も少ないものであるということが判った。

最後のものが決定したとき私は実に気持がよかった。というのは，「単なる理論や，メーカーの唱い文句によらず，自分が納得するまで実際に試験をさせて，その答を得た」からであり「本当のデザインの在り方は，ここにあるのだ」という体験を得たからである。

しかし，車両の検査規定は，一方では，こういう苛酷なテストを要求するが，反面，新しい資材がそれに合格した場合，躊躇なくこれを採り上げる積極性をもっている。

例えば 52S 等の軽合金であり，また今回の食堂の壁材であるポリエステル・コーティングの化粧板がそれであり，さらにA寝台車の間仕切の芯材に採用されたハネカム・ボード等，例は幾多もある。

私の拙いこの報告が，そういう意味で建築関係の諸賢に何らかの貢献ができたなら，これ以上の喜びはない。

（筆者　高島屋大阪支店設計部長）



鳥取製食堂セット



福岡県大川製のサイドボード

家具の Ready Made について

角尾篤彦

家具といえば木材工芸，木材工芸といえば家具を連想され勝ちであった家具も，近来著しく変貌して来た。工作方法の工業化と，資材の面でも，鉄材あり，ガラスあり，合成樹脂あり，パーチクルボードあり，ハードボードありで，木材資源枯渇と相俟って木材を使用する部分はだんだん縮少されてきた。木材使用高の統計を見ても，パルプ，建築材料として使用される木材に比して，家具に使用する数量は極めて少ない。昭和30年度～35年度までの六カ年間の木材需要見込みを見ても明らかである。

薪炭以外の木材需要見込（単位万石）

経済企画庁木材資源利用合理化協議会

用材用途	30年度	32年度	35年度
パルプ	2,450	2,699(17%)	3,115(18.6%)
坑木	890	862	826
建具	414	468(0.292%)	505(0.298%)
家具	499	506(0.318%)	512(0.312%)
屋根まき	101	91	91
包装	2,270	2,350(14.75%)	2,433(14.42%)
くい丸太	119	109	120
枕木	321	322	327
電柱	89	101	108
車輌	120	130	139
船舶	221	238	210
橋	98	124	91
建築	5,011	5,469(34.2%)	5,747(34.5%)
その他	1,907	2,037	2,151
輸出特需	470	458	469
計	14,982	15,966	16,844

この表で見られるとおり，昭和32年度の木材需要総高は15,966万石で，この間パルプ用材17%，建築用材34.2%，包装用材14.75%に対して家具用材は僅に0.318%，建具用材も漸く0.29%に過ぎない。従ってベニヤリングの工法を多く用いて，少ない資材でより効果的のデザインが要望され，かつ木材に代る他の合成資材の使用範囲が拡大される。

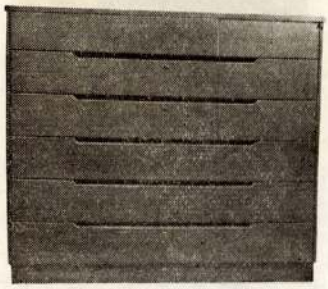
住宅建築の増加と生活様式の変化によっても，家具の需要はもっと伸張すべきだと思うが，木材資材だけを見ると，まことに心細い。

しかもこの需要見込高は，木造建築をコンクリートまたはブロック建築に切り替えて木材の消費量を出来るだけ押えた数字である。かかる状態にある家具は木材以外に資材を需めるか，木材の消費を極力抑制するか，家具に不適当な小径木，廃材等から生産される繊維板をより多く利用しなければならぬ状態になって来た。デザイナー負担も重くなり，生産者も今日まで習慣的に使ってきた木材だけに依存せず，新らしい資材の性格とか利用方法とかを会得して，新らしい時代の家具生産に対処する心掛が肝要になってきた。

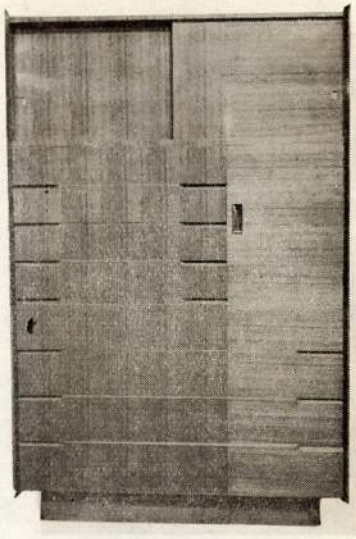
全国家具の生産高は判然とした数量は捉えがたいが，前年度の生産高は650億～700億と推定される。この内既製品家具と注文品のそれとの比は90%：10%と推定される。

現代の大衆は他の日用品と同様にいかに既製家具を愛用しているかが判る。量的に注文家具を圧している。この傾向は今後ますます激しくなるのではないだろうか。しかし，そこにいろいろ考えさせられる問題を蔵している。

今までの既製家具の生産過程を見るに，（注文家具にはデザイナーが関与するが）既製家具は野放しの状態で80%まではデザイナーはタッチしていない。生産者は売



大川製四尺たんす



長野県製の洋服たんす



大阪製の婚礼調度和風衣裳たんす

れているから造る。また売れている商品の真似をして作る，真似はあくまで真似であって新鮮さがない。そこに現代の日常生活から必然的に要求される要素とは程遠いものが売られている。

この野放しの90%の家具類の改善は，既製家具を愛する大衆の日常生活を，もっと明るい雰囲気に誘うことが出来るであろう。既製家具の進歩の遅い責任の一半はメーカーがデザインに無関心でデザイナーと協力して良い商品を作り出す意慾に欠けているという点と，貧困な中小--零細企業の実態としてデザイナーを占有できないという点を挙げることが出来る。他の一半はデザイナーが既製家具というあまり変化のない仕事と，大衆の日常生活に対する興味と愛情の不足といって過言ではあるまいと思う。

注文家具のデザインは建築設計者または注文主との対決で殆んど解決がつくが，既製家具のデザインは相手が多数の大衆で，その多種多様の生活様式，各人各個の感覚と，その趣味性の最大公約数をデザインにまとめ上げる困難があり，完璧な商品に仕上げるに3年〜5年の日月を要する。既製家具メーカーの業態ではこの日月を待つことが出来ない。

既製品家具のデザインを商品化するまでには少なくも次の過程を経なければならぬ。

スケッチ（検討）—1/10縮図（検討）—現寸図（検討）—試作（検討修正）—批判（修正）—商品

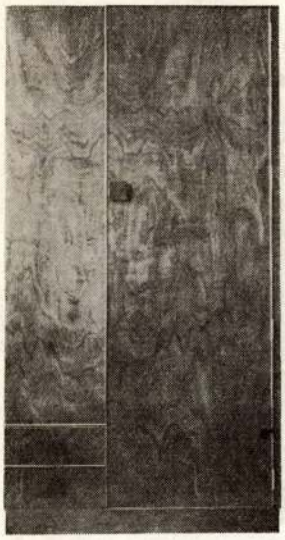
しかるに1/10縮図から直接商品化を試みるような現在のメーカーの態度が順当な発展を阻む最大の原因で，わが国の既製品家具の発達しないのも因はここ等に在ると思う。

勝れた既製品家具を作るには市場の調査，資料の収集と相当の時間と努力が必要で，数カ月〜数年間の研究検討がいる。

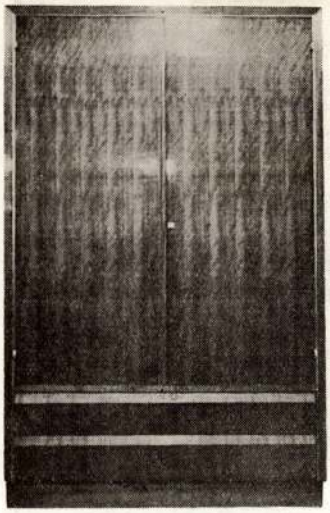
北欧諸国が量産に極めて困難なアールヌーボーの線や面を近代感覚に調和させて量産に導いた努力と根気のよさには敬服する。

わが国の現在の企業の段階ではこういう面に対する理解が極めて薄い。1/10の縮図があれば家具が出来るという観念が除かれるまでは既製品家具は進まない。

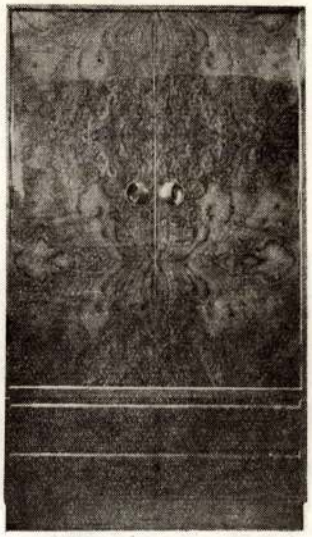
たまたまこの点についてデザイナーとメーカーが一体となって成果を挙げた美しい話がある。福岡県大川市はタンスの生産地として知られていたが，その製品は粗悪で安ものの代名詞のような状態で，辛うじて周辺の九州の需要を充たしていたが，約5年前デザイナー故河内諒君が官界を去って大川に入り，大川タンスの改善を畢生の事業として，デザイン，工作の改善に乗り出し，同市のメーカーも亦同君の指導に極めて従順に勉強し，幾多の労苦を乗り越えて努力した結果は，三年後には販路を大阪，東京に拡大して全国家具展には受賞して，一種の大川調（まだ完璧のものとはいい難いが）を出現して他の生産地もこれに倣うというまでになり，常に一歩を先んじて追従を許さぬ地位を確保した。河内君の功績とともに同市のメーカーの理解ある，刻苦精励のたまものに



大川製の洋服たんす



大阪製組立式洋服たんす



名古屋製洋服たんす

外ならぬ。五カ年の間に九州の半工半農の一寒村が家具の生産地として業界に臨むようになったのは，デザイナーとメーカーの協力のたまものと称賛に価するものである。惜しくも河内君は今春逝去したが，第二，第三の河内君が出て各生産地のメーカーを指導したならそれぞれ特色のある地方家具が需要者を喜ばすことであろう。(大川市では後継のデザイナーを得て精進を続けている。)しかるに各地方家具の生産地では広島，府中，和歌山，名古屋，長野等では独自の研究を経ずして，大川のデザイン，塗装（ポリエステル）等を模倣製作するものが多く地方の特色を失いつつあることは，地方産業として考えねばならぬことではないかと思う。

注文家具が一品製作として工芸品的製作とするならば既製家具は工業製品として廉価，堅牢が要される。即ち量産工程で出来るだけ生産を合理化して，価格の低廉を期さなければならぬ。一方比較的若い購買層の感覚を満たす新らしさと，堅牢さを加えなければならない。

しかし既製家具は現在の生産段階においてはオートメーション化することは，他の工業製品と異って，極めて困難である。この場合の量産の意味は同一種類をロットで流れ作業的に生産することで，資材構成，構造の複雑等からなかなかむづかしい。結局部品分析をして製品を何個かの部分に分けて分業生産をして組立てること即ち部品分業を採用することが，現在の段階における適当な方法ではないかと考えられる——この場合でも一ロットの数は10,000個を超えることは殆んどない——このためには人員の配置，加工機械の選定と分布等から考え直さなければならぬ。いづれにしても，既製家具の生産方式は再検討を加える必要のある時機に到達していると思うが，この問題はしばらくおき，製品について考えて見よう。

現在の既製品家具について見るに二つの傾向がある。一つは社会的，個人的日常生活の必需品としての家具と一つは婚礼調度品としての家具である。前者は必需品として低廉，堅牢，機能，しかも新らしいセンスが要求されるが，後者はわが国独自のもので多分に婚礼荷飾の目的で装飾的要素を包含している。前者はあくまで純粋の実用品であるのに対し，後者は実用＋装飾であって，女性，とくに母親達の郷愁をそそるようなものが好まれ，かつ売れる。従って価格も実用品 $+\alpha$ となり，デザインにもかなり多くの遊戯的分子が加わるので，業者はこの方向の製品をつくり，純実用品を敬遠する傾向がある。

ことに九月以後の結婚シーズンをひかえて婚礼調度品陳列会が，虚々実々の間に計画されているようである。

しかしこれがほんとうの家具の姿であろうか，もっと本質的に生活に即した良い廉い家具が生れてはじめて大衆の住文化の向上が見られ，既製家具が高められるのではないだろうか。

附記　私自身約30年間主として注文家具室内装備に従事し，終戦後量産の駐留軍用家具の指導に当つて現在既製品家具の業界の内で問題つきながら研究している。自分の考えの一端を誌したが，既製品家具に偏して，意の通じない点も多々あると思う。御叱正を乞う。

（筆者　大阪府家具商工業連合会専務理事）

家具のOrder Madeについて

上田幹一

家具の需要が増加してくると，レディメードの良いものが作られてくるのは当然であるが，それに比例してオーダーメードの家具が一層盛んになることもこれまた当り前のことである。レディメードを出来合品といって悪ければ，直ぐに間に合うものといったらどうだろう。いづれにせよ家具そのものの本来の目的には変らないが，現実の場合には大いに違いがあるので，家具のメーカーの間では問題になっている。しかし私はここでその比較論をしようとするのではない。

近代産業はいろんな方法でコストを下げて安くして，多くの需要に応じようとすることで，これはいつの場合でも大切な原則であるが，オーダーメードにはその原則に添わないで作られる場合があるので，いかにも時代ばなれのした原始的産業のような感じを変えるためではないか。

家具は生活を便利快適にするものでなくてはならない。従つて家具は使って具合の良いものであることは当然であるが，見て快い美しいものでなければならない。たとえ用が足りても不完全な工作や，無駄の多いものでは家具本来の目的に添うことができない。見て美しい家具は使って楽しいものである。また家具がその用途に使われた時，それを使っている人を含めてそのあたり全体の雰囲気に調和したものでなければならず，しかもその家具を使った時極めて快適でなければならないからである。こうなってくると単に機能ばかりでなく使う人の好みが加わってくる。好みは千差万別であるからレディメードのものに気に入ったものがないと，いきおいオーダーをするようになる。

その反面業務用家具の中でも事務用家具のように機能本位のものはレディメードで充分間に合うが，そうしたもののデザインが殆んどメーカー自身によってなされているものが多いことである。レディメードのデザインは特別な場合は別として，過去において良く売れた形と工作法を基礎にしてそれに目先きの流行の仕上げを加味した程度のものが多く，工業デザインといわれるものとは程遠いものである。これは家具の需要量からくるもので，従来の家内工業的な生産方式では止むを得なかったともいえる。最近になって一部の家具がやや量産されてきたとはいえ，それらの需要層の範囲が狭いので量を多く製産しようとすれば購買層を拡げねばならず，いきおい単価を下げなければならない羽目になってくる。しかもさらに大きな障害は外観だけを模倣した安物が直ぐ出廻ることで，こうした連中に商業道徳をいっても始まらずなかなかつらい立場にあるのが現状である。

こう考えてくると真のレディメードといわれるものが極めて少なくて，レディメードになる中間の試作的なものに止まっているのが多いのに気がつく。この一つの原因に日本人の独占欲が強く働いて，自分のところだけしかないということを得意にする気風があるからである。そこをうまく視ってオーダーメードの活躍する余地を与えているのではないか。それも従来は自分の好みというより，デザイナーやメーカーの考えによるものが多かった。こうしたことは洋風家具にとくに多く，和風家具となると少なかったのは座敷の生活は生れながら身についていて，家具そのものが生活に慣れきっているため，自分の好みを生かした特別のものは直接注文することができるようになっていたからである。

それが洋風のものとなると慣れていないので業者まかせの場合が多く，業者の大部分は習い覚えた従来の型に上張裂地を替えた程度で済ませたものが多かったもので，これでは真のオーダーメードとはいえない。

ところが今日になると椅子式生活が身について日常生活にとけこんできたので業者まかせでは満足できなくなった場合が多くなった。しかし好みに合ったものを作りたいが，新規に揃えるとなると金がかかる。ましてオーダーとなるとなかなか手が出ない。さりとてレディメードには気に入ったものがないのが現在の状態である。

最近家具の専門デザイナーがこうした問題にタッチして，量産可能のメーカーと組んで良いレディメードを作っていることは大いに歓迎することであるが，品種が限られ，しかも新奇を視ったものが多いのが気にかかる。アメリカ・ワシントン大学のレオン・ハービツツという教授が日経紙上で「アメリカの日本趣味は，日本の文化的産物を視覚的な面で受付けたもの……」といっているが，この点わが国の家具のデザインも外国のものを視覚的で受け入れているものがあるのではないか。もちろんそれらの実物が輸入されて技術面からも大いに検討されてはいるが，機能の点から見て将してどうだろうか。デンマーク・スエーデンの家具の売先きの大部分がメーカーの研究材料であったり，猿真似の日本であったりした

だけでは面白くない。尤も従来の洋風家具の大部分が外国の模倣であったのであるから今更いえた義理でもないが，もう独自のデザインのものが現われても良い時分である。

最近のデザインの傾向を見ると簡素なものが多い。そしてそれらの一貫した特長は機能に対してそのものずばりの形のもので，材料もその特場を端的に生して構成するものが使われている。椅子に例をとって見ると身体にぴったり合った成形合板の曲線に，スポンヂを薄く貼ったものの上にラフな織り方をした布地をかぶせたものが多い。脚部は多くの場合金物が使われ，極めて細く，カーブは小さく，全体を軽快に床面を拡く見せるようにできているから持運びに便である。これに比較すると昔の椅子は重かった。安楽椅子等は車をつけても簡単に動かなかった。そして厚いクッションは腰を下して沈んで始めてその機能が発揮される。この点今日の張りくるみ椅子はたとえ大型でも余分の肉付きがないからスマートに見える。これらはクッションの構成によるものであるが，ここで考えさせられることは安楽椅子としてのより良い機能を発揮するには，前記の身体の線に合った薄張りのものであるか，クッションがきいた時身体を軟かく保ったものの方が目的に添うかということである。業務用の場合なら知らず椅子の形が姿勢を限定するのは有効であるかどうか。これらのことはその用途に適した椅子を使い分ければ良いことで，単にスタイルだけで限定されるものでないが，それだけに近頃は自由な形が次々と現われて，メーカーの方も苦労することが多い。デザイナーは実物を作って見なくては形がわからないのでなかなか最終案がきまらない。形がきまらないから塗色も張布地も決定しない。納期は迫る。しかも10分の1の青図で入札価格は決定している。気が気でない。また時としては納期があり過ぎたり，工期が延びたりした時など，作る方も作らせる方も道楽のようになって採算を抜きにして検討することを楽しみにするような場面も出てくる。期間があるとつい気も変り研究して進歩してくることもあるから。従って工期のないのも困るが，あり過ぎるのも迷惑の時がある。それであるから新規のものを作る時はあらかじめ見本を作ってから価格を決定したいものである。尤も最近の例では特別に限った品種については一通り見本を作ることが入札の条件に入っている場合があった。これとても形を見るためで必ずしも実際の材料を使うというのではなく，椅子も下張り程度で良いことになっているが，入札ともなるとつい充分の予算も見られなくなるのが普通ではないか。昔は試作三倍といわれて，試作に対しては価格の三倍のものがもらえたらしい。そうまでしなくとも数量のあるものなら一個当りの金額としては大したことにはならないかも知れないが，納期のあるものに最終案が決定しないのがつらい。それでなくとも工期の少ないのが悩みである。最近はムク材の使用が少なくなり，積層合板と金物の仕事だから工期が短縮されたとはいっても限度がある。とくに表面の練仕上げのものが多いので一工程と次の工程の間に必要な時間がいる。ホットプレスなどを使い芯材の積層合板も用意されているとはいえ，縁練りなど細かい部分の加工にはそれに必要な時間がかかる。追いかけ，追いかぶせたのでは満足した仕事ができなくなる。とくにオーダーメードのものは一品種一品というものが多いから，余分の手間がかかるのは宿命としても，工期の少ないのが残念なことである。これには最近原木の良いものが少なくなってきたことが一層輪をかける。昔のように家具のスタイルがある程度一定していた時は，材木屋の方でもそれに適した寸法の材を用意していたものであるが，今日のようにスタイルが違って寸法がその都度まちまちの場合はあらかじめ用意ができない。表面材に使う薄板でも同じことである。量の多い場合同じ材からとれないで木質が違い，色が違い困難することがある。外国材の場合はなおさらで，表面材の薄板に対して，椅子の脚のムク材を揃えるのは一苦労である。このような点で不利の場合も多いが，一つ一つが勉強でありまた使う人の好みに合ったものができることによって別の楽しみがある。それはそれらの家具が使用する人に親しまれて，それらの人達の生活を豊かに楽しいものにするからである。家具は使って具合の良いもので，見ても美しいものでなければならない。このことは新しいスタイルのものにも古いものにも通じていえることで，今日残っている昔の家具はそのまま今日の生活に直接使えないとしても眺めて楽しいものがある。それらの家具はそれを使った人々の歴史を秘めていて，そしてそれを愛用した人の気持がその家具を通して感得されるからである。しかし過去の家具と今日の家具とをそのまま比べようとするのではない。生活に対する考え方や習慣が違っているからであるが，座る，腰かける，寝るというような根本動作が将来とても変らないかぎり，今日われわれが作ったり，作りつつある家具の中から同じような意味で残されないとも限らない。しかしこの場合いつでもその時代に生きて美しく感じさせるもので，しかもこれを作った人の技術が正しく優れたものでなくてはならないのが当然である。

最近の住宅建築等に日本風の構造を主張したものを見受けるが，その中の家具が溶けこんでいないものが多い。それは建築を設計する人と家具を設計する人との間にずれがあるのではないか。デザイナーが先端だけを視て，メーカーがそれを追いかけていたのでは真に良いものはできない。

（筆者　KK三越製作所常務取締役）

テキスタイルについて

笠　井　篤

有史以前より古今東西を問わず人類に親しまれ，その生活を潤してまいりました織物は，種々の角度から分類することが出来ますが，ここではその用途別により分類せられた家具用織物とか，または装飾用織物（近頃は内装織物とも称せらる）という名称を付した織物につき申述べたいと存じます。

さらに装飾用織物を分類いたしまして一般家庭・官庁・事務所・船舶車輛の装飾用織物の構成は次のような製造条件の具備が必要とされております。

まず窓掛用織物につきましては，織物に「コシ」を持たせる，すなわち弾性を持たせる必要があります。とくにわが国のように長年月にわたり使用される国にありましては，地質の厚い薄いを問わず，その必要を切実に感ぜられます。

この弾性を附与するにはいろいろと考えられますが，数種の織物材料から弾性に富むものを選択することはもちろん，その材料を使用して構成する織物の組織の適当なること，および製織方法いわゆる織方の会得が肝要であります。なお製織後適当な整理加工を施すことにより一層の磨を掛けることができます。

次に窓掛を作り上げ，使用後織物の自らの重さのため伸長し，また室の乾湿の度合により伸長し，また収縮することが起りやすいのであります。かくのごとき事態が発生しないように留意すべきであります。原料の内，とくに収縮のはなはだしいものといたしましては温度（80°C）を加えることにより，原長の55％も収縮するものがあります。また加熱により収縮しないものもあります。また反対に20％～30％伸長する材料は数多くあります。これら種々ある繊維の内より比較的伸縮の少いものを選び，使用のさい適当な撚りを掛け，またしかるべき加工を施し，前に述べました織物の組織および織り方等に工夫を凝らして適宜な厚さと堅さの織物を作り上げるべく努力する必要があります。なお織上後樹脂加工または織物裏面に糊料を附着せしめて伸縮の起らないように加工することがあります。糊料を使用するに当りましては，よく材料の吟味が肝要であることは申すまでもありません。

次に織物としてもっとも肝要なことは，色彩の日光に耐えること，汗または雨水により色が滲出しないことでありましょう。耐日光，耐水，耐汗の予防策としましては，織物の原料を染色するにあたり染料一種を使用するほか，数種の染料を混合して適当な色を出すことが多々あります。この染料混合に際し染料の特性をよく理解した染料混合と，処定の染め方をすることにより染料本来の色を発するものであります。ややもすれば設備の不完全等に禍されてそれぞれの色を発揮せしむることのできないのは誠に遺憾千万であります。とくに留意すべきことは，織物材料自身の色が日光に耐え変色しないことであります。褪色および変色の程度は FADE-OMETER 等の検査機により照射し，その照射の時間と変褪色の度合により調べるのであります。その度合は変化の甚しいのを（1）とし，変化を認めないのを（8）として（1）—（8）までに区別せられております。普通フェードオメーターにて40時間照射した時の色相の変化の度合は，緯度38°の場所にて夏期直射にて50時間照射したさいの変化に相当するといわれております。少くとも装飾織物はいずれの場所に使用するとも40時間照射して変化のないことが必要と考えます。とくに強度の堅牢さを必要とする織物には80時間照射し変化を認めない程度が必要とされましょう。染料の滲出は染料の種類により，その憂のないもの，また染色後の薬品処置により防止することが可能でありますが，後処理によるときは日光に対する強度が多少減ずる等の反作用が起ることがあります。いか

なる材料にも染め得る日光，水分に強い染料はなかなか見当らない現況であります。湿気が原因で，色の変化をきたすことはとくに留意すべきであります。織物と使用場所により染料を初め使用繊維の選択にも注意を要すべきであります。海浜・山上・高温高湿の場所はその必要があります。

黴の発生に原因して織物原料を弱化し，それにともない色の変化が起る場合があります。とくに密封した状態にて高温高湿の場合は黴が発生しやすいのであります。防黴剤の研究も進められておりますが，まず織物を黴の発生状態裡におかないようにすることで，発生の憂ある材料を使用する際は防黴剤を施して万全を期すべきであります。

空気中に飛散する微細な塵埃により色の変化を来すことがあります。静電気発生により塵埃を吸収し，色の変化の原因になるものは静電気防止剤を，材料に加工した糊の種類により，色の変化をきたした時は，その糊料の性質をよく究め発生を防止せねばなりません。

織物に防火性を与えることは劇場・船舶・車輛等の窓掛類には必要を唱えられております。防火性でなくとも少くとも防炎性でなくてはなりません。防火の方法としましては不燃性の材料を使用するか，または不燃性材料と可燃性材料とを混織するか，または可燃性織物を織上後防火剤添付の加工を施すなどのことが考えられます。防炎の効果は可燃性材料70%，不燃性材料30%を使用することにより効果があります。防火織物が使用されている一例としまして，あるホテルの窓掛用織物の生地は全部ガラス繊維を使用され，花模様が白生地の上に四色位使って「プリント」してあります。百貨店にもガラス織物にプリント加工を施した仕立上カーテンが陳列してあります。このように防火織物が普及しているのであります。織物を織上後防火加工を施すことはある程度の良好効果は挙るといわれておりますが，加工を施すに当り種々と注意を要する点があるようです。近頃の合成繊維の内に防火・防炎の性質を有するものが数種見出されております。窓掛用織物として前述の各条件を具備することはもちろん必要でありますが，窓掛本来の用途である遮光用以外の目的である目隠し等，また部屋のアクセント等純装飾用に使用する時は，その重要性に鑑み，適宜条件を選択せらるべきものであります。上記ガラス織物のプリント生地といい，市場にある縞物，プリント柄等にも生地用織物にいま少しの工夫が望まれます。

次に椅子張用織物として具備すべき条件として，窓掛地のさい申上げました色の堅牢さ弾性の必要さは申すまでもありませんが，とくに摩擦に耐え得ることおよび引張に対する強さ，その他椅子の型に添い得る柔さを要求されております。汽車・自動車等の交通用に使用する織物には，それぞれ規格を作り，その規格に適応することを条件として製作し，加うるに配色感触も一段の工夫を凝らし，車輛の美を構成するよう製織せねばなりません。近来外国製の装飾織物に見受けられますが，地質を頗る荒く織上げた後，織物の裏面に糊加工を施し，織物の堅さと経糸緯糸の組合せの均衡を保つようにしたものが多数あります。糊材の加工には前述のとおり種類が多くあり，その選択と使用法を誤るときは裏面のみならず表面に糊が滲出して色の変化をきたし，または織物の強さを弱めることが起りますので，注意を要する次第であります。防塵処理としましては，窓掛用織物のさい申述べましたとおり，静電気発生防止と黴塵の附着し難い織物材料の選定があります。防水加工を施すのも一法かと考えます。

壁張用織物として具備すべき条件としましては，織物の紋丈を均斉にすることは窓掛地，椅子張とともに重要でありますが，紋様の襞と申しましょうか，紋様の不均衡が張上げた壁面に大きく表われることがあります。とくに製織のさい注意すべきことであります。壁張生地を張上げて後，一般に湿気に原因されるためか，壁面の織物が伸長して大小のシワを作ることがあります。この防止策としましては，伸縮性の少い織物原料を選択し，その織り方もいわゆるよく「シマッタ」組織の織物を作るようにします。一般に厚地の織物は薄地の織物より温湿

事務所移転

株式会社　今西建築デザインルーム

新住所　大阪市西区北堀江2丁目22-5
電㊿7344

軽量鉄骨・軽量鋼製窓枠の
設計・加工・販売

新鋼建設工業株式会社

取締役社長　吉田信武

大阪市西区新町通2—25
電話大阪㊸6575・0609

度による伸縮は少いようです。また張り方の適不適がシワの発生に大きな影響があることはもちろんで，この良否は織物の品格を上下する大きな原因になります。色の変化は窓掛椅子張用織物と同様，またそれ以上に注意しなければなりません。

材料の強弱につき一例を申し述べますと，各々の原料は各々その特徴を持っておりますが，毛と絹の強さの比較を毛糸と絹糸の交織地の場合に取材いたしますが，約20数年以前に某会社の会議室の間仕切用織物を経糸に絹糸を使用し，緯糸に毛糸を使用し，各糸とも変色または褪色に十分注意した染料で染色し織上げたことがありました。先年現品を試みに経糸200本（1本の太さ40D）位を一度に手で引張ったところ容易に切断しましたが，毛糸はなかなか切断しません。このように毛糸と絹糸は本質的に相違しているのであります。美観にあまりに重点を置くとしても，あまりにも強さの差を生ずる使用法は注意を要するのであります。染色においても染方により日光に充分強い色を染めることができますが，その染方のため原糸を早く弱化せしむる結果になることがありますが，染織とも均衡のとれた織物を作る必要があります。

かくのごとく装飾用織物を製作するにあたり，必要な条件の内物理的な部分を申し述べましたが，家庭・事務所等におきましては，その中にて行われる生活に潤いを与え美さと寛ぎをもたらすことは必要な条件であります織物を作るに当り，材料個々の光，個々の光沢等その柔軟粗荒を知るとともに特性を細心の注意をもって選択し，その選択した材料の特性を織物の組織および織り方等によく調和せしめ，希望の外観・感触を作り，前記物理的条件を具備した装飾用織物を作り上げることが肝要であります。

以上装飾用織物の美的および物理的な条件を申し述べましたが，生活様式の変化にしたがって建築の型の変化にともない織物の組成・色相も変化をきたしてまいりました。数年前はその変遷も頗る緩漫でありましたが，近年とみに急速な変化をきたし，常に新しき織物を求める状態になってまいりました。とくに自動車用織物につきましては，その甚だしい一例であります。米国にありましては車輛製造会社が競って新型車を提供し，新しい織物により一層の美さを加えております。同時に装飾用織物業者も極秘裏に新しい織物製造を競っている状況であります。なお，その意匠は種々の方法により保護せられておりますが，その盗用は頗る忌み嫌っている様子が見受けられます。図柄の変遷は自動車につきましては，皮の使用から「紋モケット」に変化し「ビロード」類に移り，次に先年まで「ピッケ」の類が使用され，近頃は「ピッケ」は失せ平滑なる小紋類，無地に近い紋織物になり，金銀糸を配した荒い組織までに移るようであります。一般住宅にありましてはほとんど無地で，密より粗に移り複雑化した配色で，深味のある色彩に光沢を適当にあしらい，起伏のある織物に移行されつつあるように感ぜられます。紋様より段物というようになり，紋織物は限定された場所に使用されるようであります。しかしルイ模様は米国において旧い一般家庭に，また国会議事堂，その他公館等には用いられているようであります。

かくのごとく，変遷しつつある装飾織物を作るにあたり，従来の規格（戦時中に作ったもの）を墨守せず，自由奔放に自己の感覚を織物上に具現するよう努力すべきでありましょう。もちろん各種条件は具備すべきであります。材料選択の範囲を広め，野生繊維類を初めとし，「プラスチック」合成繊維に至るまで天然自然の恵みと人工物質の粋に至るまで織物材料として取材し，もってわれわれの生活を豊にし，人生を幸福にあらしむるようにわれわれの努力がその一端ともなれば幸と存じ，末長く杼を取りたいことを念じ，擱筆いたします。拙文御精読を感謝いたします。

追記　テキスタイルとは，繊維工業において生産された繊維・糸・ロープ・および織物を総称して「テキスタイル・グツズ」または「テキスイタル」という意味の発表がありますが，ここでは，織物という意味を採りました。

（筆者＿KK川島織物専務取締役）

冷房暖房装置
空気調整装置
設計施工
ダイワ
大和設備工業株式会社
本社　大阪市南区鰻谷仲之町57番地　電話 ㉗4664,6584 ㉘2565
京都出張所　京都市中京区東洞院二条上ル　電話 ③ 7007

絵画と室内装飾

新大ビルの大理石モザイクについて

矢橋六郎

村野藤吾先生の依頼で，新大ビルの床に大理石モザイクをすることになりました。

先生の注文で図柄は人物をとのことで，これは自分も大賛成でした。床の模様に人物を描くということはなかなか大胆な試みですが，それだけに自分の興味は一層深いものでした。建物の設計によくマッチし，しかも楽しい床を作くつてみたいと思いました。

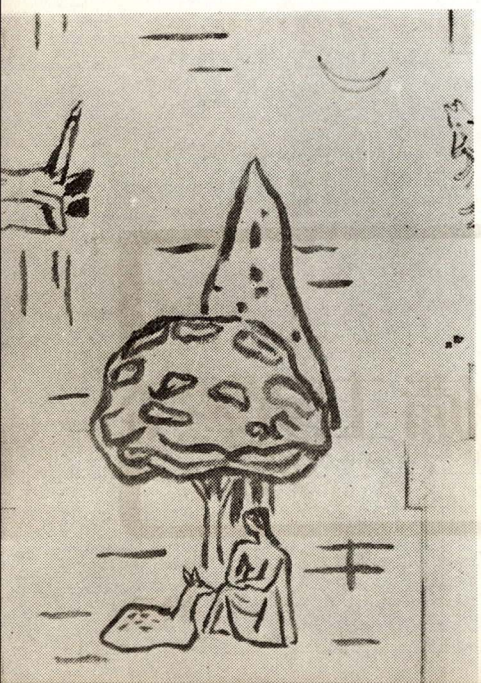
年中忙しいオフイスビルに，遊歩路のような感じを出すことに努力しました。白い大理石の床の上に，悪戯書きのような素描をしてみることです。

モチーフを何にしょうかと随分迷いましたが，結局，女と鹿をあつかうことにしました。

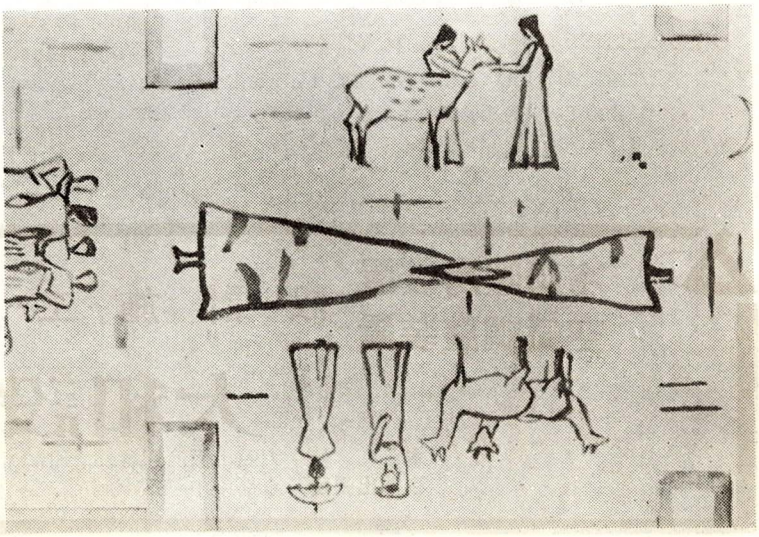
玄関ホールからエレベータロビーへ，それからその先へと構図の変化を考えてゆきました。歩きながら，踏んでゆきながら見てゆく絵を描くこと，しかもそれが走馬灯のように変化をしてゆき，その上に，また逆の方向から見てもプロポーションが十分に採れているようにと，この点をとくに注意しました。この床のモザイクは一時に全部を見渡すことが出来ないので全体の構成より，部分的の変化の面白さに主眼点をおきました。

次にホールの広さに対する絵の大きさの釣り合いについてもいろいろと試みてみました。実際に現場でいろいろの下絵を合せてみましたところ，人物の大きさが，もしそれが等身大であったなら，あの場所では，それは全く子供のような感じしか受けません。六尺五寸から七尺大の巨人のごとき大きさにして，初めて一人前の人間の大きさとして見られるようになりました。したがって鹿

「春」南　玄　関



「夏」中央エレベータホール



もちろん同様です。

春夏秋冬を表現してみました。

人物も鹿も出来るかぎり単純化し，ことに人物は単にアウトラインのみに止めました。ホールの壁全体が白と黒の調子でありますので，床の方も白大理石のテッセラ張りに黒花崗で線を描きました。僅かな色を入れてみようかとも考えましたが，それが全体を甘くすることを恐れて止めました。これは出来上ってから白黒だけであったことがホールの調子を高めたと思っております。

なにしろこの仕事は初めてのことであり，また類例のないことを試みてみましたので，後になって構図上の変化や，また施工上に多少の心残りの点もあります。

しかしこのような仕事を与えて下さった施主，および設計者に対して深く感謝しております。

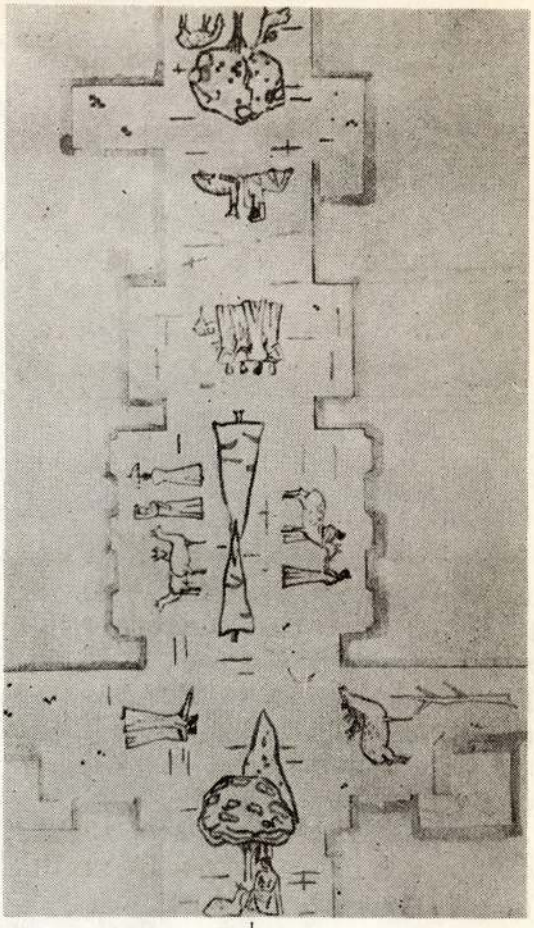
以前に欧州を旅行していたときに，ある田舎で泊った安宿の天井に，空色の地色にいろいろの草花が一面に描き込んでありました。疲れた旅人は，ベットに体を横たえて楽しいこの絵を眺めながら，眠りに落ちてゆくのです。

建築家に画家や彫刻家が参加して，良きコンビネーションのもとに仕事をしたら，街の建物の一つ一つがモニメントになって，烈しい現代の生活に，うるおいと憩いを与えることはいうまでもないことだと思います。また当然そうあるべきだと思います。

画家が額縁に入った絵をのみ描き，彫刻家がポートレーのみを作っている時代ではないと思います。

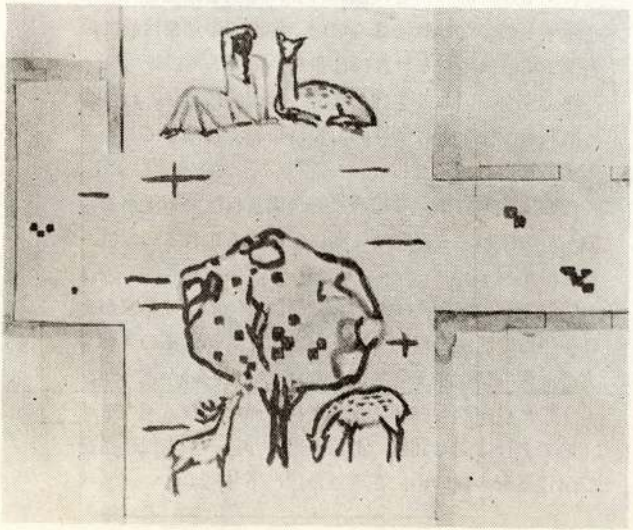
（筆者　KK矢橋大理石商店業務部長）

北玄関
↑

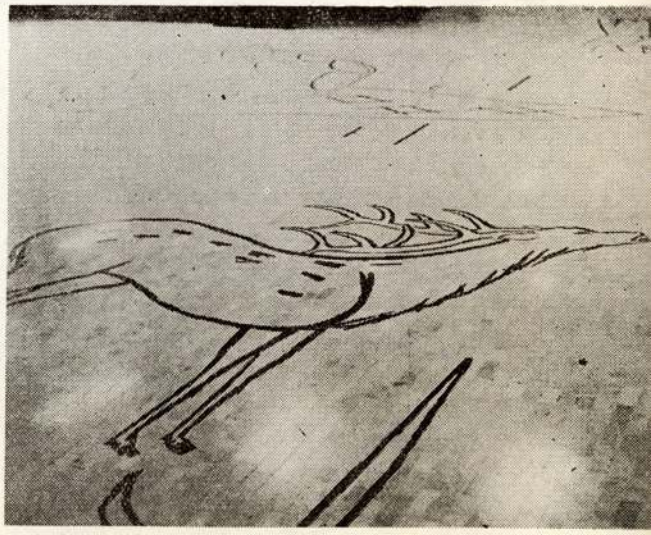


↓
南玄関

「秋」北　玄　関



「冬」



室内デザインと彫刻

植木茂

「室内デザインと彫刻」というテーマは，その独自な立場とかその関連性とかを考える以前に，問題として提供される以前の問題，すなわち建築について一応の定義がなされなければならないと思う。もちろん空間に対する造形という点では建築も彫刻も共通性を持っているけれど，綜合造形家としての建築家は，自身すべての造形についてどのように処理するかそれぞれ一家言をもっているはずである。

建築家の綜合プランによって室内デザインがなされ，彫刻が参加するたてまえでは，その空間性の考察は建築自体が語るものではあるまいか。

但し，ここに問題としては，彫刻が（彫刻家として独自の立場から発表された造形作品）として単に取上げられるか（建築上綜合された彫刻的デザインとして，あるいは建築自体の空間処理上要求された一つの場での彫刻としてか）の場合，言葉を換えれば彫刻家を彫刻家として扱うか，あるいは空間処理者として参加させるかによって問題は違ってくると思う。

もちろん，現代の建築家が彫刻を要請される時は，この良識の上に立ってそれをなされるはずだが，それだけに彫刻家自体彫刻という立体性を通して視野を拡げるべきで，かりにも彫刻家が建築プランを度外視してこうありたいなどというべきものではない。彫刻家という名を取上げて失敗するのはこんなところではあるまいか。

もしスムーズにいったとしたら，それは取上げた建築家が非常にすぐれていたからに相違ない。しかし私自身それほど数多くの核当物に触れていないのは，見聞の貧しさからとも受取れるけれど，なお，建築家に尋ねたいことは，常に新しいテーマで種々の問題を提示し解決してゆく方々が，他の造形の一つである彫刻の現代性をどのように考え批判されているかということである。もちろん現代の建築という造形を通して現代の彫刻を見ておられるし，その彫刻性を解しておられるのは当然と思うけれど如何。

私はその点，今までの彫刻家の，社会性なり立体性の視野が狭いことを痛感せずにはおられない。

彫刻家が全体性の空間の問題をトレーニングしているかどうかは，彫刻家の深く反省すべき点である。絵画，彫刻が，生活から遊離しているかに見える今日においてとくに自戒の必要があると思う。

さて室内デザインと彫刻という問題を室内に彫刻を置くこととして考えると，これはその室内の空間と調度の上に解決されるはずのものである。

彫刻を彫刻自体として観る場所は，その観せる場所が他にあるのだから，あくまで建築物の目的によって，室内の空気を壮厳に，あるいは温和に，他の調度とともに助長するアクセサリーとしてでなければならない。その場合彫刻はすなわち彫刻物として孤立すべきではないのである。建物の外面に彫刻（又はレリーフ）する場合もそれあるがために，その面の外界に対する確立と方向性を示すものでなければならない。各面への連繋は故に最も愼重に解決されなければならないのである。

彫刻家がその個性を押さえて，客観的に解決せねばならぬ時も，また逆に個性的な表情を強く打出してこそ適応する場合もあるだろう。

この個性を打出せる場合こそ自信と自信の対決があって，危険性があると同時に面白い解釈も生れるのではあるまいか。

問題以前の問題，すなわち建築について，建築家がそれを単に生活する場の外廓とだけ考えるか，その外廓もまた愛情の基礎によって支えられているものかどうか。そうした根本的な問題によって自ら派生される室内デザインであり彫刻の問題であると思うが，一にも二にも全てが建築家の腕の中に在ることはいうまでもない。

（筆者　彫刻家）

伊奈の

良質と量産を誇る

定評のある

タイル

躍進する

衛生陶器

IS　カタログ送呈



常滑農協会館

設計・日建設計工務（株）
施工・竹中工務店

CC 130/114P TC4丁掛

伊奈製陶株式會社

本社及工場　愛知県常滑市扇面新田　電(代) 700
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2—8　電 ㊺ 5261－2 5921

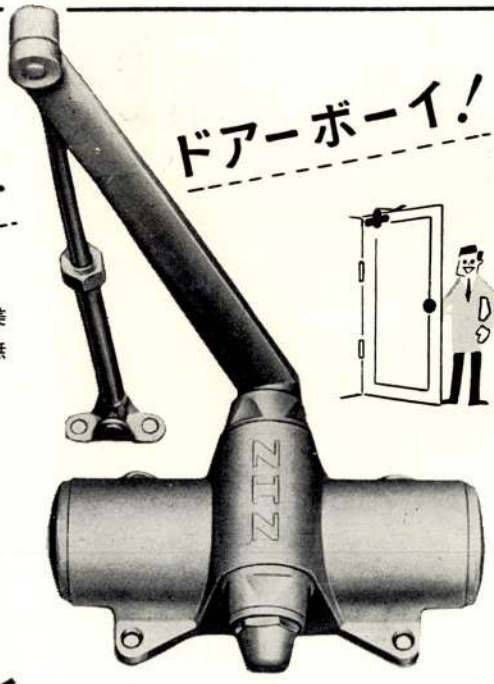
NHN

あなたの忠実な…

ドアーボーイ!

型状優美
故障絶無

日・米・英・独、各国特許



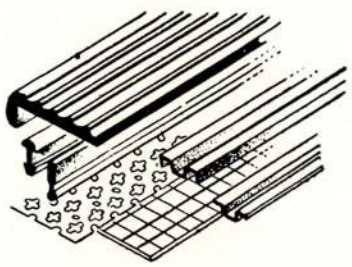
ニッカナ
ドアーチエック

日本金具製作所

製造元 ダイハツ工業株式會社

タムラ 最高の品質・新しい建築資材

金属建材

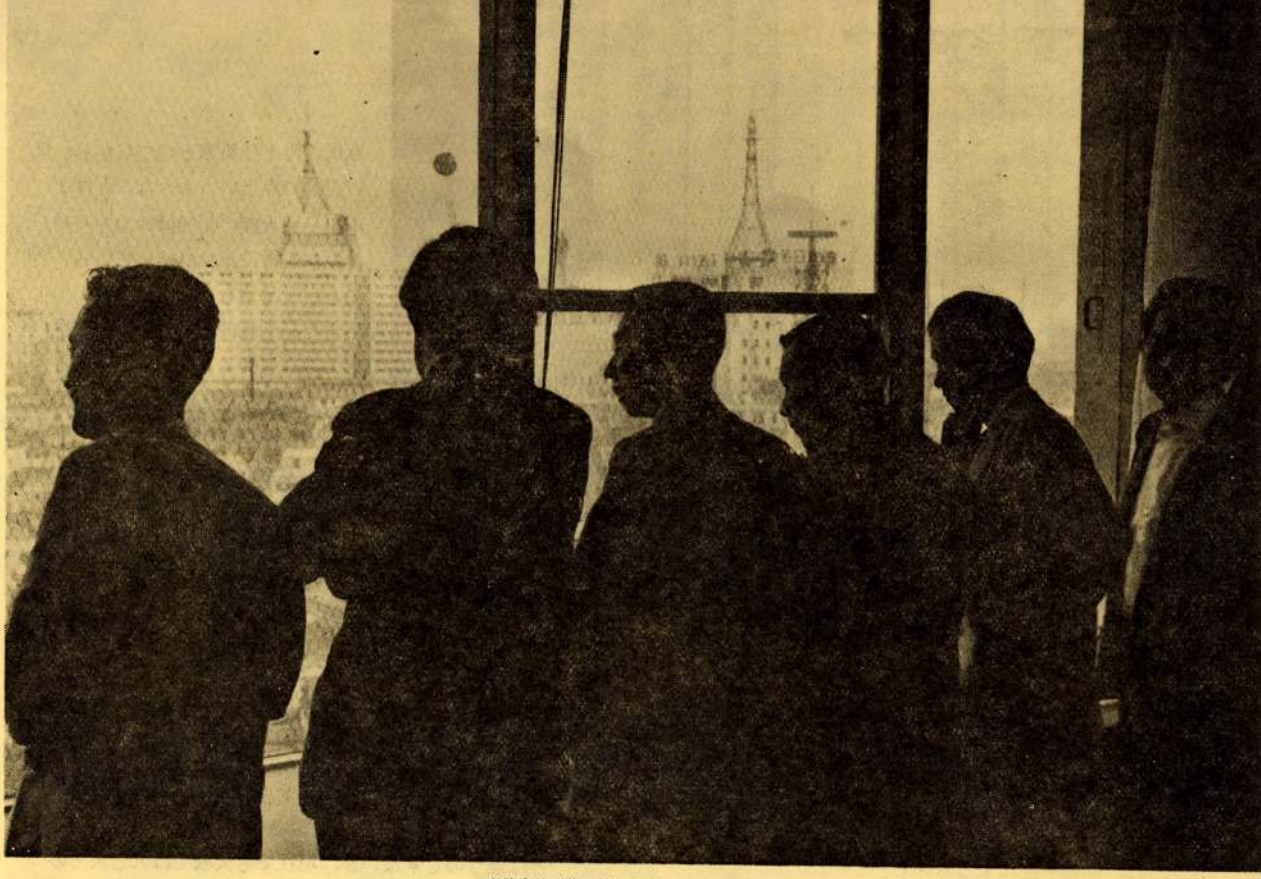


田村式メタルシーリング
田村式金属タイル
田村式ジョイナー
モリソン式ボードサッシュ
ノンスリップ・目地棒
コーナービード・パンチング

創業 明治24年
貿易・木材・建材

田村商會 建材部

本店 神戸市生田区栄町通二丁目三九(安田火災ビル) 電話神戸③0591—3・5332—3・0498
支店 東京都中央区八重洲一丁目一西河岸橋西詰 電話東京㊟局6181・5182



座談会終了後，第一生命ビルの12階の好文倶楽部より窓越しに大阪の新建築を望む出席者。
（放送アンテナの見える建物は左が新朝日ビル，右が毎日大阪会館）
左より入江・浦辺・浜口・二川・岡橋・小川（小川氏のうしろ佐野）各氏　撮影：徳永正三

大阪の建築をめぐつて

——浜口隆一氏を囲んでの座談会——



左より，入江氏，浜口氏，小川氏

ロ——(前略) 特に大阪に焦点をしぼって大阪で実際に仕事をしている建築家と，その仕事，大阪がどんな問題点をはらんでいるかというようなことに触れつつ，浜口さん——昨日白紙の状態で来阪された建築評論家——の新鮮な目で批判をやっていただきたい，まず地元の足立さん，問題を提起する意味でどうぞ。

大阪の土・東京の土

足立——それでは思いついたことを，ここから眺めて気のついたことは最近できた新聞社の建物ですね，新聞社の性格が大阪人とよく似ている。それは政治と密着せず利用もしない。自分の仕事は猛烈に練る。そこで建築ではデコラチブなところや夢がある反面，若干の進歩性があり，盛り沢山にいろいろのものがギッシリつまっている。これは山ノ手式に見れば問題はあるが，土着民としてはそこからいまの日本文化に欠けているアンティテーゼの芽を見つけて育てるのが建築家の責任の一つだと思います。

ロ——浜口さんも今日は少しお考えが変ったかと思うが庶民の町と建築家とのつながり，良い点悪い点というようなことは？

小川——大阪の新聞は政治と直結しないが，市民とは直結している。会館という言葉も当初の朝日会館から生れた。それは市民のための教養のセンターを作るという表向きな考え方と，市民がその会館を支持して来たということですね。クライアントと建築家と市民が協力して大阪を基地にして発足した会館が全国の各マス・コミとのつながりで出来てしまったことは取り上げるべきテーマだと思う。

ロ——都市計画的な点で佐野さんに掘り下げていただきたい。

佐野——私，大阪と東京の良い点を比較してみたいのだが，その比較が最近ではだんだんはっきりしなくなった。明治から新らしく作った東京と古い時代から一つの地域社会の中で自然的に作られてきた大阪の成り立ち方とは違うのじゃないか，現在でも大阪では人と人とのつながりが非常に多い。東京のように仕事そのものを表に出してそれなりの評価でいくというのとちがって，人と人との間で話合ってゆく，そのような考え方が大阪にあるのじゃないか，もっともそのようなやり方がすたれる方向にあるのか発展する方向にあるのか私にはよく分らない。

ロ——入江さんは岐阜からたびたび大阪にお出のように伺っておりますが……。

大阪のデラックス

入江——ええ主として紡績関係の方にお目にかかるだけですが，大阪の建築に限らず他の文化も東京と違った意味でのデラックスな感じがありますね。あれを本当に育てたのは紡績関係の人達ではないか，会って見て東京の経済人と別な成長した人達ばかりですね。他人の力や政府の力を当にしない，そこらに大阪のデラックスの必然性があるように思います。経済はきびしいものかもしれないが，きびしさを乗り越えるだけの力をもっている。それがこういうカタチを取ってきたのじゃないか，大阪は建築だけでなく，あらゆるものがイデーにとらわれない。東京では建てる前にイデーができているが，大阪ではこれは通用しない，私だけの感じかもしれないが。

浦辺——私も入江さんのその見方には賛成です。

ロ——岡橋さん，どうかそれぞれの御立場から。

岡橋——東京じや設計する人が，クライアントより「傑い」のじゃないかと思います。クライアントは「権威」におまかせし過ぎているのではないでしょうか。大阪で

と　き……昭33・6・20
ところ……好文倶楽部 (大阪・梅田)
出席者 (メンバ発言順・敬称略・ロ印司会者)

ロ	徳永正三	(三座建築事務所)
	足立　孝	(大阪大学助教授)
	小川　正	(KK竹中工務店)
	佐野正一	(安井建築設計事務所)
	入江雄太郎	(入江建築設計事務所)
	浦辺鎭太郎	(倉敷レイヨンKK)
	岡橋作太郎	(日建学計山務KK)
	浜口隆一	(建築評論家)
	増田友也	(京都大学)
	二川幸夫	(写真家)

なお速記録が老大になつたのでメンバーの同意を得て発言を簡潔化した。　(補辺記)

はそのようなことはなく，クライアントも設計者も同じ立場で努力しています。そんなことから建築の出来方が違ってくるといえるのではないでしょうか。

ロ——抽象的な点で大阪が語られたわけですが，浜口さん，昨日と今日大阪の土と空を見たその新鮮な目で一つお願いします。

大阪の空——充実感と孤立感

浜口——今日小型飛行機で入江さん，二川さんと一緒に3時間ほど飛んで大阪だけでなく彦根，京都，奈良大和一帯をみてきました。東京と大阪ともちろん違った点もあるけれど，それほど相違はないというふうな感じを私はもちました。ビル特に現代建築というものの場合には共通した問題にぶっかっている。そういう意味ではかなり似ています。

浦辺——東京と大阪と空中設計論では違いますか。

浜口——ええ。だけどやっぱり共通の問題にぶっつかっているなと感じました。私はむしろ共通の問題の方が…現代的なんじゃないでしょうか。具体的にいえば大阪駅を中心にいくつかのビルがありますね。一つ一つはなかなかいいと思うけど，バラバラなのに驚きました。下に降りてからは，そんなには感じないのですが，空からだと，バラバラさが，じつにはっきりと見えます。あの辺が東京では丸の内一帯に当るところとすれば，東京はその点かっちりしていますが。

浦辺——大阪はその点商都の意識はもっているけれど，体面ということはあんまり考えなくてもよい。そのものズバリでよい，別に表玄関を飾る必要は感じなかった。だからそれだけに市民の無計画のところもあるけれどエネルギーは正直に出るでしょうね。

浜口——一つ一つの建物が非常に充実した感じを受けました。地上からでもそうだが空から眺めてもみな充実した感じです。

浦辺——そんな感じを受けますか。

浜口——受けました。将棋盤面でいったら，飛車とか角行とかそういう大物がドカンドカンと突立っている。ただそれが全然バラバラで，それなりの迫力はあるけれど統制的なものはない。大阪駅前の景観というのは一つ一つ途方もなく大きくて全く孤立しているという感じですね。

浦辺——お互いにはたを構わずにやるんでしょう。社会的な共通意識なしに自分で必要なものは自分の金でやるんだと。

入江——実際やる人は東京でもそんな顧慮しないんでしょうね。第三丸ビルなんてあんなデカイものがあの狭い街路のところにギッシリ建っちゃうんだから。

浜口——私この頃思うのだが「都市計画」という言葉を建築家はあまり使わない方がいい。というとおかしいようだが——都市計画がないから例えば大阪の建物はバラバラなんだと建築家がいうのは，建築家としては一つの逃口上のような気がします。もちろん，それも一つの原因だが，都市計画の所為だけにしておられないとおもいます。

国鉄中心・私鉄中心

小川——いま大阪駅前が例に上りましたが，ここが大阪の玄関みたいだけれど玄関は三つも四つもある。みんな尨大なヒンターランドを持った私鉄のターミナルです。東京は必要以上に丸の内に集中している。最近ようやく池袋とか新宿とか澁谷とかに改造されたターミナルがあるが，みな国鉄の一駅に依存したきたわけで，大阪とは性格が違う。大阪だとそこにデパートなど直結し，沿線の購売力を吸収し人を集める憩いの場を作り，屋上は必ず子供遊園であり，ビアーホールである。地下は単独に高速地下鉄と連絡している。これらは国鉄包囲線より中へ突込んで来ている。国鉄が強大な私鉄にくわれたので大阪での玄関は大阪駅中心とはいえないわけです。

入江——もう一つね，商社は本町筋を中心に拡がった。あそこで経済力が発生する。東京では中心経済力だけで事は決らない。大阪では経済力だけで決る。その一つの現われでしょう。

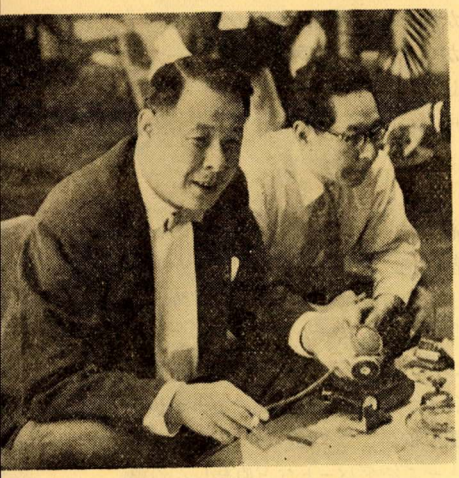
浦辺——まあコマーシャリズムだけで決めますがね。だから長所というか正直な姿も出る反面，その悪も出て来る。

入江——ただ大阪の方が街を愛するという力が強い。中之島，御堂筋もそうだが，ああいう景観というのは大阪の人だけが理屈なく作って来たといえる。

都市・都市計画・建築家

岡橋——都市計画と建築家の仕事の関係ですが，これは私の経験ですが中之島のある部分の道路が狭いのです。大きい建物を計画しましたが，前で車が回らない，それで建物を後退して作ったわけです。隣に佐野さんの方で設計せられた建物がありますが，これも同じ線まで後退しています。ああいうところには都市計画として当然それ位の道路は作っておくべきでしょう。建築家と都市計画家の責任分界はあるように思う。ところが，雑誌の建築批評などでは「これは当然これこれの空地をあけるべきではなかったか」などといっている。商業建築では自分が困れば，自衛的に手段を講ずるが，それ以上に都市計画のことまでやることは出来ない，そう思うのですがね。

浜口——都市計画があってその後に建築が建って行くというのが理想ですが，しかし，それでなければ建築家は都市のことをどうしようもないという考え方に私は反対なんです。端的にいうと都市計画家と建築家は横に並ん



左： 徳永氏　右： 足立氏

で，ともに都市をよりよくしてゆくのに進んでゆくというふうに考えております。

岡橋——建築家が社会的環境を作る上で一役買うという意味では並行だと思いますが，具体的に市井の建築家が設計をやる場合にはどうにもならない場合もあるでしょう。

浜口——ですけどそこの所どうにも仕様がないと思ってやる建築家の作品と，その条件の中でがんばってやった作品とは確に違うという気がする。建築家の仕事は都市に対してぢかに責任がある。

増田——あのね，浜口さん，例えば丸の内側と八重洲口側の建築は違いますね。八重洲口の方は名古屋だって大阪だって大して違いはない，ということは八重洲口，大阪駅，名古屋駅前辺りの景観を作ったのは資本家と結びつくコントラクターだと思う。どちらかといえば町人的な相貌をもっている。これに対して，丸の内辺は一応役人とか官員的アーキテクトがやっている。

浜口——丸の内の建築の方が良いとは必ずしも思いませんが。

増田——ただ都市計画のような官庁的な仕事は官員的なアーキテクトの方がつながりをもちやすい。発想の上からも……。

浜口——建築家の仕事はいつもそれぞれの条件として与えられているわけで，私は東京と大阪の建築が大して違わないというのはその辺なんで，建築家としては自分の設計するものが，都市のなかでどのように機能を発揮してゆくかということが大切なんだとおもう。

小川——建築の設計が都市計画へのつながりの前に，人間の流れとのつながりを解決して行かなければならない。

浜口——そうだったら私はこういうことをいいたい。都市計画は都市を作ることの巾のある一部分にすぎないんで，建築家がじかに都市を作る部分が相当ある。いまの私の都市計画というのは何かの註釈がいるとは思うが。

入江——そうでしょうね。その意味の内容が違うから。

ロ——浜口さんの都市計画は細部のことを指すのでしょう。いまでは建築家の仕事に都市計画的感覚を要するのでコマーシャルな面だけで突ばねないでやってほしいという意味合でしょう。

浜口——そうですね。むしろ建築法規に近いのかもしれませんね。要するに建築家は都市計画という言葉に，責任を負わせすぎない方がよいと思う。たとえば村野さんの作品ですが，村野さんの作品には，たしかに都市に対する働らきかけのようなものがあると思う。村野さん自身「都市計画」という言葉では考えてをられないでしょう。だけど，村野さんの作品の中には建築家が都市をじかに作るという意欲があったのではないか，建築家が主体的に責任を負わなければならないのは，都市に対してであって，都市計画に対してではない。大阪の場合それがかなり行われていると思います。大阪の建築家は大阪の市民生活をこしらえることへの努力をしている。100%結構だとはいえないが，可成り素晴らしいと思うのです。

浦辺——本当に本心そう思うのですか？

浜口——ええ（笑）

浦辺——今日の浜口さんの話よく分った。ここまで嚙みくだいて仰言ればよく分るのだけれど，いままでは都市計画の上に建築があるのだという説だと思ってた。

浜口——転向したんです。転向した直接の動機は飛行機に乗った所為かもしれません。とにかく大阪の建築家がこれだけ内容の充実した大きな建築をボカンボカンと建てているのをみて感心させられましたね。

むしろ「都市改造」か

小川——私共はこの都市を白紙から街づくりしているわけではなく，もう何百年前から出来ている街に建築を建ててしかも都市の機能を阻害せず能率を上げて行きたいというわけですね。だから都市計画というよりも「都市改造」なんですね。

浜口——賛成ですね。

ロ——ローマやパリの街は整然として美しいが，すでに19世紀的な悲劇を含んでいる。大阪は今は見すぼらしいだけに，都市を改造しつつ発展させることが出来るという点に大いなる希望が持てるわけですよ。

足立——昨今の大阪だと西から風が吹かぬ限り活気は取り戻せない。

浜口——西の風とは。

足立——中共なり東南アジアなりの貿易風です。

浜口——なるほど。とにかく都市改造の仕事は続けるべきですね。現在の建築家の仕事は都市改造の仕事を主体的にしなければいけないとおもいます。

新朝日ビルを中心に

ロ——この辺で話題を変えて新朝日ビルですが，あれだけ複雑な要求を一つのマンモスビルに納めるというのは小川さんも大変な苦労だったと思うのですが……。

小川——朝日新聞がこの商業ビルを計画したその前のビ

ルにふれる必要があります。昭和8年に10階36mの旧朝日ビルを完成した。今度その前例をさらに破って45mになった。いまさら36m以下のものは出来ないと考えておったときに，大阪市の「中之島高層ブロック計画」が始って，それとタイミングが丁度合ったわけです。大阪市は建築審議会でスマートにこれを処理したが，今度はどのような代償を取るかということになった。



左：佐野氏　右：岡橋氏

今度のものは都市計画的に見て不十分だといえるかもしれないが，都市改造の見方からはコマアーシヤルビルとしてよく協力されたものと思う。実にソロバンの立たない公共空間が多くある。また人間のつながりからは豊かな感をもたせる空間的バランスもあるが，それが代償条件でもあり，設計意図でもあったわけです。

浜口——あの新朝日ビルは都市改造というか，そういう意識がはっきりあったように感じますね。そうした都市景観，とくに商業地区の建築表現としてアルミの外装はなかなか面白いアイデアだし迫力があると思いました。

ロ——大阪駅から眺めた方の景観を古い朝日ビルと揃えるように要求されたそうだし，また現実にそうなっている。これは都市改造というより25年前に出来た朝日ビルと調和を保とうとしたような，むしろ一歩後退したような感覚じゃないかという気がするんです。浜口さんは上品な言葉で賞めたが，その辺は甚だ臆病であって「レバーハウス」のような一歩前進したやり方も，あるいは出来たのではあるまいかという意見があるのですが。



二川氏　入江氏　浜口氏

浜口——いやそれはいいたかったのだが——私，半分賛成で半分反対なんだ。このビルの場合，都市改造という意識がはっきりと認められる。中途半端に終ったところもあるが，積極的部分があった。その点で小川さん達の努力を認めなければならないと思います。

小川——要するにあの建物にはピーク時に1万人入るという仮定で空間規定をやったといえる。そうすると既成観念である土に面したレベルが入口というのでは将来どうなるか，今度の場合，道路が仮に高架になっても地下になっても解決出来る用意があるわけです。

浜口——それはその部分についてそうだと思いますけれども……。

小川——だから半分反対の分をお聞きしたいのです。

浜口——徳永さんの仰言ったことと同じことになるのですけど，あの建物は都市景観としては北面と西面の二つがあって南面と東面では，それが脱落している。

浦辺——私も惜しいと思うのは南側が北と異質な感じがすることだ。矛盾をはらんでいるように感じる。ただ北や西を古い朝日ビルと調子を合せたのは一歩後退ではないかとの意見があったが，一つの新聞社として見ても全然調子の違ったものをやられては困ると思う。あれは前進した形での調和だ。古いビルは小川さんの前任者石川純一郎さんの代表作だし，いまでも衰えをみせておらない，それに対して考慮をはらったことはなかなかよい。

浜口——私も北側と西側は後退ではないと思うけど，南と東で都市的配慮が欠けている。ここで設計者が主体的に処理されなかったのが，後退ではないかという気がする。

小川——東は隣地に接した壁で大ステージとホテルの壁面です。そして隣地は45mのものが建つ可能性がある。

南の壁はご指摘のとおり私共は手を挙げてしまった。実はここは大いに張切って構成をやったが，残念ながら通らなかった。

浜口——どうして通らなかったんです。

小川——それはあのレリーフね，それを生かすために調子を落すこともあり得ると思います。行動美術とマス・コミとのつながりがあったのです。

浜口——しかし，あのレリーフに建築の責任を負わすわけには，いかないと思いますが……。

ロ——新朝日ビルの北面・西面はいいが，南・東面が悪いということは同感です。但し都市像をいだいた建築家として，全体を「レバー・ハウス」のような精神で北面・西面風に取扱えばと一寸残念です。しかし，いま新朝日ビルが出来て大阪あるいは日本全体といってよいくらい，一寸圧倒された形なんですね。本当の批判はこれから出るでしょう。そこで締めくくりの意味で，空中設計論をお伺いしてこの会を終りたい。

浜口——空からといって，いまいったことと別に変ったことはないのですが，新朝日ビルのあの南側には，都市に対する意識が欠けているように感じました。あれは建物の表面だけのことじゃなく，中に入り込んだ問題だというふうに見えました。

小川——主として劇場のありかたですね。

入江——劇場の平面でしょう。

浜口——そうです，劇場の空間構成。

小川——劇場が計画されて必然的に出てくるいろいろなファクターでしょう。

浜口——いろいろと問題があって小川さん達が，そのために押しつぶされた所為だとすれば全体の注文の来方，施主の考え方と建築家の主体性とがぶっかり合って，建築家側がまけたのかもしれませんね。

岡橋——時間的制約ということも考えなければならないと思います。

浜口——最後のしわよせですかね。だけどしわがなぜ出るかというと，建築家・資本家・施工業者全部のぶつかり合いの中で何か変なことがあそこに出たのじやないかな。

浜口——また空中設計論をもち出すんだけど，大阪の都市全体を考えるとき，あの建物の南側にエレベーションがないなんて嘘だと思う，川の向うには何百万という市民が住んでいるのだから。

小川——だから南側でいうと事務所の4スパンがずっと続いている。そこから劇場の南側でそこに要求されている条件というのは——まあこれ，いいわけみたいになったかな（笑）やめよう。

浦辺——私はその論はこの辺でやめた方がよいと思う。浜口さんも一寸長追いしすぎたようだし，小川さんも逃げそこなっているし。

ロ——ではこの辺で打切って最後に浜口さんに空中設計論をちよっと。

空中設計論

浜口——要するに建物が都市の中で実在しているということが，空中からだとよく見えます。都市の比較的中心にある建物の四面はそのどの側に住んでいる市民にも全部意味がある。だから，単なる一つの正面なんていうものはあり得ないといったようなことは空中ではすぐわかる。



左：浦辺氏　　右：増田氏

空からみると市民の気持というか，市民の生きている人がみな感じていることを比較的短時間にパッと把えることができるんじゃないかとおもいます。効能書のようですが，建築のもっとも正確な把握法，都市の中で建築を考えてゆく素直な方法論になると，私はまあそう感じております。

ロ——それは確にそうだと思います。まず筆を下す前に建築家は空中を飛ぶように心掛けるとよろしいと思います。ではこの辺で。みなさま有難うございました。

「御　　床」

正倉院に聖武帝御使用といわれる「御床」がある。当時のベッドで長さ237cm巾118cm高38cmで桧材長方形四脚の台で，上面は縁よりやや低目の八本の材を縦に簀の子打ちに渡し，鉄鋲で止めてある。全体に胡粉が塗られていたのであるが，今は剝落してただ脚などにそのあとが残っている。献物帳に二帳をかぞえ，ならびに胡粉を塗ると記されている。さらに，同帳に畳と褥（シトネ）とが各一枚，御絁（アシギヌ）の袷覆（アワセオオイ）が一枚添えられてその巾と広さが二帳にわたるとあるから，覆は一枚で両床にわたってかけられたと思われる。今畳と褥とは伝わらないが，覆（オオイ）はのこっている。

昭和二十八年の秋，奈良国立博物館に出陳されたのを拝観したが，まことに簡素なもので少しの無駄もないもので，今の言葉でいうシングルベッドである。しかも二台あって並べてかけたと思われるベッドカバーが残っているということは，一寸思いもよらないことであった。千二百年もの昔，日本の天皇がベッドでお休みになっていたということの驚きより，今日そのまま持って来ても良いような簡素な感覚に，永い遠い時代を飛び越えて現代につながるものを感じた。われわれは家具の機能を云々するが，完全に外国のものと思われるものが，当時すでに使われていたということと，しかもその感覚が今後採り上げられるだろう日本調に通じるということに何をかいわんやである。

（kk三越製作所 常務取締役　**上田幹一**）

彰国社新刊重版案内

新刊 透視図のテクニック

高田秀三・西川驍・金春国雄　編著　本書は建築透視図の歴史的発展過程より解きおこし内外一流の著名建築家のパースなどを取入れながら，あらゆる種類の透視図のテクニックを実例によって視覚的に解説した好著です。
A４変形 110頁（原色6頁）定価¥1250〒130

竹の造形

北尾春道著　この本は竹についてあらゆる角度から350余葉の美しい写真を添えて解説した逸本であります。材質・色調・形態美を，建築・工芸・造園などの実用面から捉えた本書は，デザイン関係者にとっても貴重です。
A４変形 142頁　特製　定価 ¥1,300 〒130

2級建築士試験問題全集
——建築施工

監修：建設省住宅局建築指導課　編集：日本建築士会連合会　この全集は２級建築士試験問題のすべてを収めたもので，本集は，建築施工の科目を分類整理し解答を添えたもので受験用・参考書として得難い書であります。
Ｖ５判　216頁　上製　定価　¥ 300　〒 30

雪と建築
建築文庫・第45巻

渡辺要・斎藤竹生　共著　本書は〝寒地建築〟関係の文献を蒐集整理したもので，Ⅰ雪と建築，Ⅱ構造計画，Ⅲ設計計画，Ⅳ都市計画の４章に分類して，雪国における建築計画構造の特性を詳述した得難い資料集であります。
Ｂ６変形　168頁　上製　定価 ¥200　〒 20

洋風喫茶店 4
建築写真文庫・第72巻

彰国社編　最新の洋風喫茶店を写真に平面図をそえて数多く紹介した本書は，喫茶店の新築・改装に一目みて判るように，外観・内装はいうまでもなく各部の詳細にいたるまでを収録してある好写真集としてお薦めできます
Ｂ６判 80頁 総アート上製　定価¥300 〒30

ショーウインド
建築写真文庫・第78巻

彰国社編　この本は，ショーウインドの新しい意匠による各種のスタイルのものを選んで紹介したすぐに役立つ好写真集として商店関係者の手放せぬものであります。既刊の49巻ショーウインドとショーケースの姉妹篇です
Ｂ６判 80頁 総アート上製　定価¥300 〒30

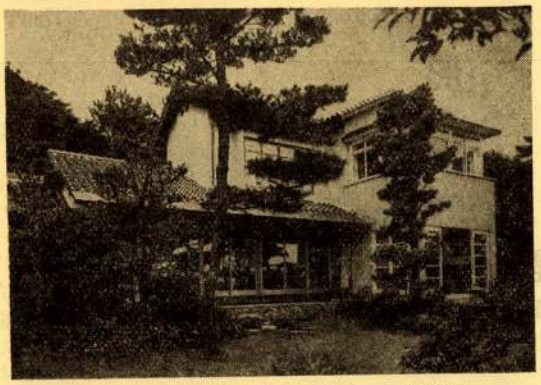
東京都千代田区平河町2-11　電(33)営業-0293・2851　編集-1745・4523　振替東京173401

三越

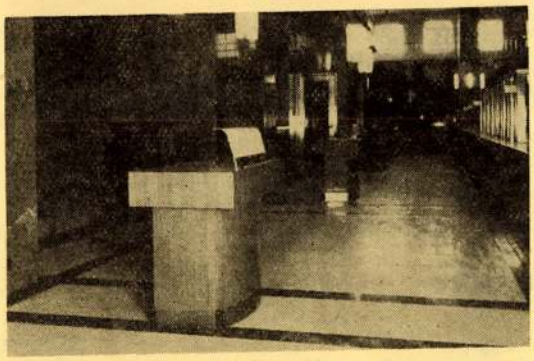
大阪・高麗橋
電大阪㉓1551



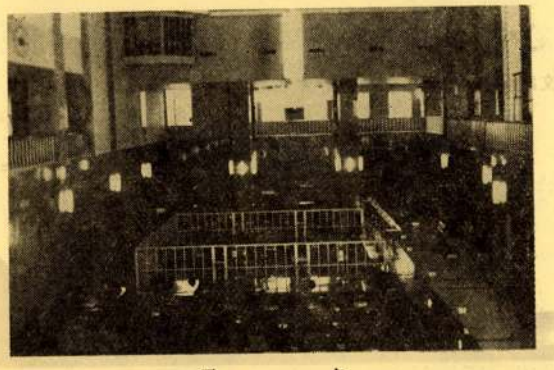
大阪製糖株式会社会議室　　—昭和31年—



住宅建築部による住宅　六甲野田様邸　—昭和5年—



松山市伊予銀行グランドフロア　　—昭和27年—



同　上

「三越家具」の歩み

大阪三越家具部

現代建築が第一次大戦以後の実験時代より，啓蒙の時代を経て，第二次大戦後の今日の定着をみせてきたのと同様に，室内および家具のデザインも建築のデザインと切っても切れぬ関係にあり，幾多の消長を経て居る。

○

大阪三越の家具部も古く大正六年一月に港区八幡町に家具製作専属工場をもち，独自の製品を販売，続いて家具装飾部の伸展に伴い一貫作業工場として，大正十年十二月都島区友淵町に現在の三越家具株式会社が建設され，益々三越家具部の個性を発揮したのである。

爾来，家具設計専属のデザイナーにより新作の展観発表はデパートの大きな役割となったが，目先の変ったコマーシャルデザインの製品が好評を得ていたのである。

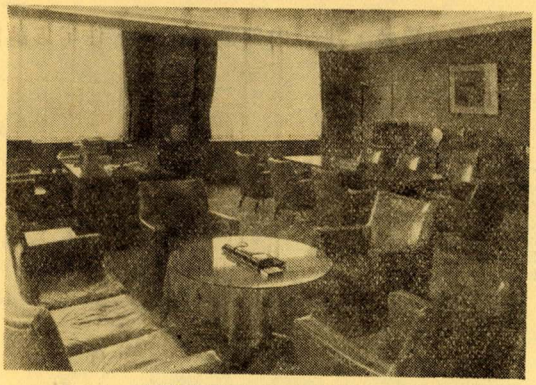
○

昭和四・五年頃より船内装備の受註により，日本郵船浅間丸，龍田丸，アルゼンチナ丸等々，多くの外国航路の客船艤装に好評を得ている。

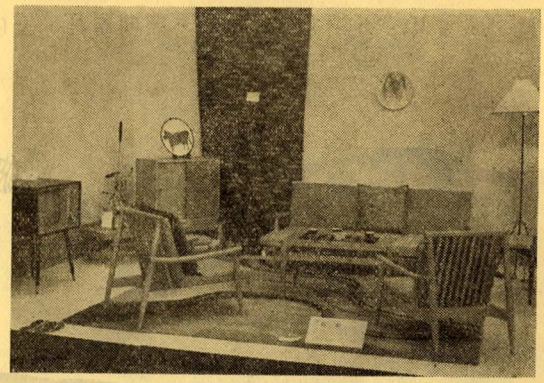
○

なお昭和五年九月には従来の家具装飾部の室内装飾，家具調度類の製造販売より，さらに各方面の要望に応え，業務を拡張—住宅建築部を新設，当時建築界の権威武田博士の指導のもとに専任技師により，住宅の設計，監督，施工の御用を承るとともに，店内では無料住宅建築相談所を設け，新しい材料を駆使，瀟洒な理想的な住宅を京阪神各所に建設した。

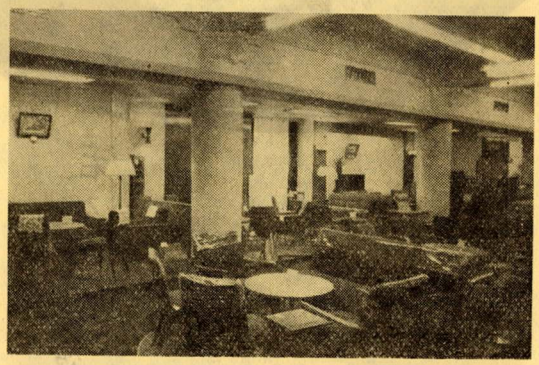
この間，外註関係は官庁会社は勿論，遠く満州は国務院，満鉄客車の内部，大連駅貴賓室，朝鮮李王公邸にまでおよび盛んなものがあった。



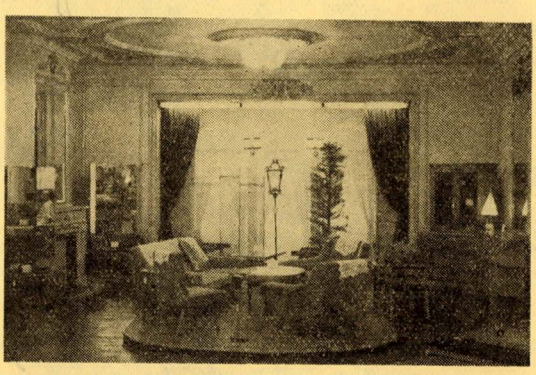
大阪製糖株式会社社長室　—昭和31年—



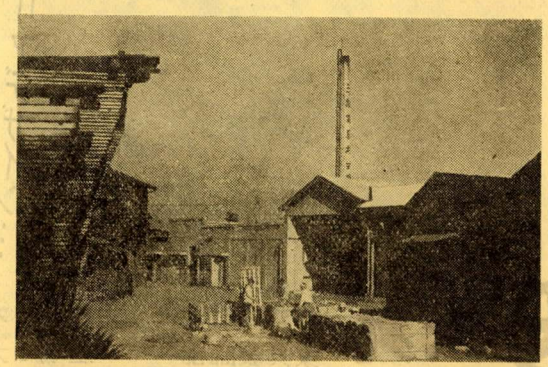
春の三越創作家具展　—昭和32年—



大阪三越家具部モデル室



同　上



三越家具株式会社　—大阪市都島区友淵町—

戦時中は陸軍の関係工場とはなったが，終戦と同時に逸早く復興の線に沿い，従来より伝承の技術と施設をいかし本来の姿に復帰，進駐軍関係の家具，什器の生産が開始され，逐次施設の充実をはかり，関西随一の木材乾燥室を設け，生産能力の増強に努め，特質・責任ある家具の販売はもとより，特註としては宮崎県延岡・日南各市役所，香川県坂出，島根県出雲，福井県勝山の各市役所等々，特に岐阜川崎航空の外人技師住宅の家具類など広く好評を得ている次第である。

○

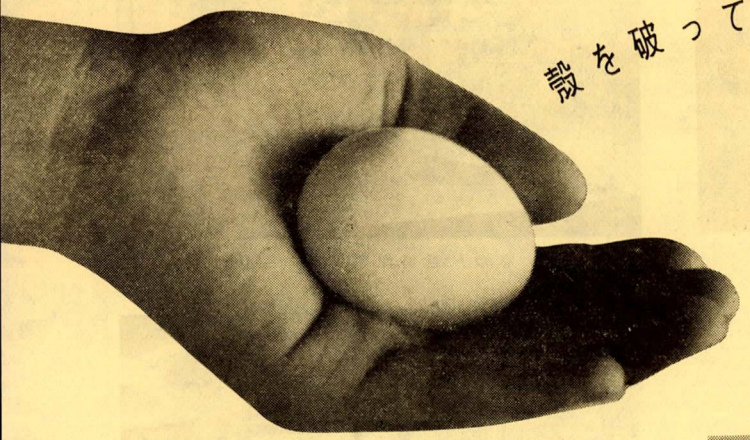
当地大阪ではグランドホテル，新大阪ホテル，住友金属，高麗橋住友銀行，三和銀行本店，大阪味の素，大阪製糖ビルなど，数多く納入しており，その間第一回ＪＩＳ許可工場に認可，また建築業者として大阪府知事の登録許可も得ており，益々斯界のため微力を捧げているが，特に東京本店には六郷に専属家具工場—三越製作所があり，デザイン，技術の交流改善，資材，機能の東西直結により一層の期待が得られるわけである。

○

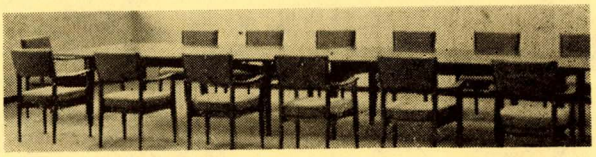
三越の家具に対する定評は売場における和・洋家具製品の単なる販売でなく，内容の販売を責任をもって重ねてきた歴史的信用と，広く各地にわたり納入された製品の優秀，確実な点にあるものと思われる。

現代の建築が量感の時代は去って，空間の時代—スペーシイな表現にかわってきている時，知性的で明快な製品が，集団住宅にも，台所を含めた家具にも要求されており，建築と同心円的関係にある家具を創作すべく熱意と努力を重ね，業界の一端を担うものである。

営業種目・・家具・カーテン・敷物・照明器具・室内意匠・船舶艤装・建築内部造作工事・住宅店舗設計施工

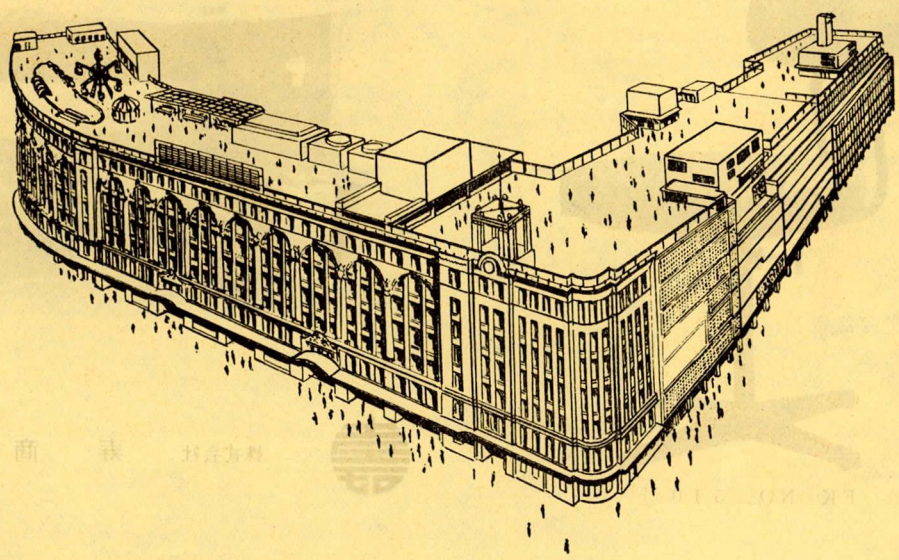


殻を破って生れる新しい生命のように……



若々しい意欲から生れる大丸のインテリアデザイン…

大丸
株式会社大丸　大阪店　大阪市南区心斎橋筋1丁目　電話　(27) 1231
家具装飾部　工場　大阪市大正区小林町112　電話　(55) 2536



室内装飾一般

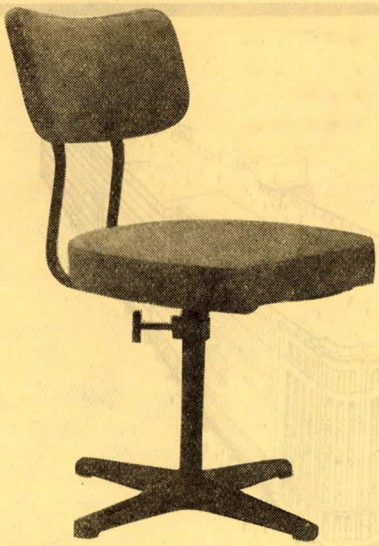
設　計　施　工

家具・窓掛・敷物・造作工事・照明器具・緞帳

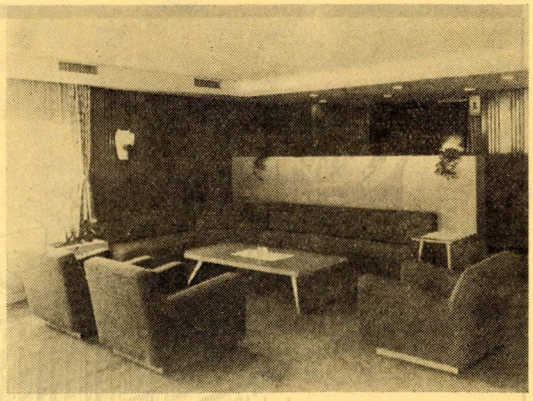
船舶・車輛・航空機内部装備一切・ベネッシャンブラインド

髙島屋

装飾部	大阪市南区難波新地 電 ㊻ 1251 ～ 5
名古屋出張所	名古屋市中区宝町1ノ1 電名古屋 ⑨ 1915・3215
中国出張所	広島市中町3 電広島 ② 2417 ～ 8
福岡出張所	福岡市上東町16 電福岡 ② 5662 ～ 4
熊本出張所	熊本市練兵町95 電熊本 ② 3854
長崎駐在員事務所	長崎市愛宕町384 電長崎 ② 2875



FK NO. 510号



株式会社　寿　商　店

当社は大正五年創立以来40余年にわたり，一般西洋家具の製造販売並に室内装飾業を営み，関東大震災後ころより講堂，公会堂，劇場用として最適の特許寿式連結椅子，特許学生机椅子，また事務用として特許FK式単脚単球廻転椅子，狭脚机などの特許品を製作し，日本全国は勿論，中国，濠州方面へも輸出して参りました。終戦後は各官公署，学校，団体，銀行，会社などの新増改築工事の激増に伴う，大量の受註に忙殺された状態であります。また，強化プラスチックスの進歩発達につれて，逸早くポリエステル材料を家具並に造作に取入れるなど，常に時代の尖端を行きつつありましたが，この度ポリエステルチェアーの大量生産化の成功を見ることができました。斯くの如く当社は，家具の近代的合理化に力をつくし，必要最小限の資材で場所を要すること，最も少くして，しかも堅牢で執務にあたっては，能率上，保健上申分なく，使い心地の良い独特の前記FK式回転椅子その他の製品を案出し，なお且つ数多くの特許権を保持し，その優秀性は広く利用者のすべてから御好評を頂いております。

このように当社の主製品は，スチール製事務用椅子と劇場用連結椅子に大別されるのですが，事務用椅子についていえば，現在の事務椅子は金属性に移りつつありますが，FK式廻転椅子は鋼鉄製事務椅子の中で歴史が最も古く，遠く関東大震災当時に遡り，その形態，構造は当社独自の考案に依るものです。この金属製椅子製作の動機は，大衆性と堅牢さと快適な掛け心地などの点を，全部満足させる上から，木と金との併用が理想的だという着想からきています。当社では戦前から，これらの点に着目して生産，研究を続けていましたが，一般の木製廻転椅子が粗悪で，不評を受けていた際，新しい事務椅子として発売して一躍好評を得るようになりました。

現在，当社にはこのような事務椅子に FK No. 510 号を主体とした一連のスチール製廻転椅子が有ります。この廻転椅子は，座姿勢の適正な位置を定めるため，「座姿勢測定器」に依って多くの人に実験した結果，作られたものですが，この他に生理学上，「第五腰椎を常に支持しながら腰掛ければ疲れない」という原理により背凭の下端は執務中といえ，また休息中と，いずれの場合であっても常に第五腰椎を軽く支持するよう設計されています。上記のような優秀性が有るため，その利用面は広く，諸官庁，銀行，会社などの大部分は本品を規格品として採用せられ，事務能率増進に役立っております。

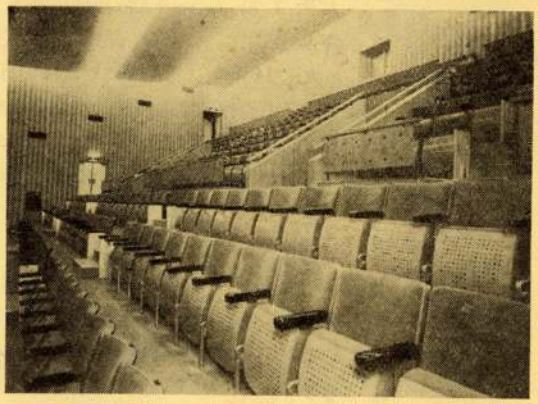
劇場用連結椅子については，特許セルフライジング装置，スライドバック装置などの新機軸を案出し，通商産業大臣賞，発明賞受賞の栄誉を担い，昭和24年以来，内地余域を始め，沖縄，朝鮮及びフィリッピンなどの駐留軍専用劇場の連結椅子設備を一手に請負い，さらにタイ，ヴュトナムなどへも輸出して，外貨獲得の一翼を担っております。この連結椅子についても，前記の事務椅子と同じことがいわれ，この場合，長時間の使用に対する掛心地，勾配，クッションなどが問題になるのですが，当社の連結椅子は，永年の経験を基にして，これらの点を充分考慮して設計，製作されています。そのため，わが国の有名劇場，映画館，ホールなどに納入されて，豪華な外観の建物とともに内部の客席の豪華さを造り出し，近代建築前進のための一助となるとともに，わ



神戸国際会館大ホール



朝日フエスティバルホール



毎日会館ホール



ショールーム（東京銀座スキヤ橋センター内）

が国文化生活向上に貢献するところ大なるものが有るかと自負しております。最近，納められた劇場では東京においては，新装なった明治座，松竹ピカデリー劇場など，大阪では朝日フェスティバルホール，毎日会館ホールなど，枚挙に違がない程であります。また，過去二度にわたる南極観測隊にも，基地設備の各種家具類がお供をし，隊員の生活，健康を保証いたしまして，御好評を頂きました。また本年三度目の観測隊にも新製品がお供することになっております。その他，応接間，家庭のベランダなどで使用できる新製品のポリエステルチェアーなど最近の文化住宅にマッチした椅子類を製造して，文化生活向上に貢献している次第です。

なお，このような多くの優秀製品を作り出す当社工場は，東京都武蔵野市境の6,000坪の敷地の中に，金属工場，木工工場，組立工場，椅子張工場，最新の設備を誇る静電塗装工場，並に検査工場，梱包工場が在り，一貫された製造システムをもって優秀な製品を作り出しています。そして各種の製品の各々を，東京銀座のスキヤ橋ショッピングセンター内のショウルームに飾り，多くの人々に御覧頂いております。

以上の如く当社は，各製品について本社研究部にては主としてデザインを研究し，これまで製作した椅子の欠点の有無，次にはどのような新しい時代感覚を取り入れるべきかを目的として研鑽を重ね，工場研究部にては材料試験は固より，品質の改善と能率化などを撓まず研究して皆様に御奉仕しております。

株式会社

寿　商　店

本　社：東京都千代田区有楽町1—14　TEL㊾1311～1315

ショールーム：数奇屋橋ショッピングセンター2階　TEL㊼0306

J.I.S.工場：東京都武蔵野市境1400　TEL武蔵野3862.4438.7213

代理店：大阪・名古屋・広島・福岡・熊本・新潟・仙台・札幌

商　　号	株式会社　誠　工　舎
営業種目	① 和洋家具の設計，製造及び販売　② 室内装飾並びに造作の設計及び施工 ③ 合板の製造及び販売　④ ホモゲンホルツの販売及び加工 ⑤ 前項に附帯する事業
資 本 金	金 50,000,000 円（払込金 30,000,000 円）
資　　格	日本工業規格（JIS）・建設業登録工場
所 在 地	本　　社　名古屋市中区東川端町8丁目13番地　電話 ㉜ 8318 名古屋工場　名古屋市中区東川端町8丁目13番地　電話 ㉜ 1222～3・1112 東京工場　東京都荒川区日暮里町2丁目12番地　電話 ㊽ 5266～9 大阪工場　大阪市阿倍野区天王寺町北1丁目37番地　電話 ㊸ 2612・8820 合板工場　名古屋市中区東川端町8丁目20番地　電話 ㉜ 3955～6

沿　　革

大正14年1月名古屋に松坂屋の専属工場として“誠工舎”を起し，松坂屋の販売並びに請負に係る家具の製作，室内装飾，造作の設計及び施工を開始した。昭和3年5月組織を改め“株式会社誠工舎”とし，東京及び大阪に（3年5月・9年8月）支店並びに工場を設置した。次いで昭和10年10月大連に支店を，14年10月天津に，15年5月北京にそれぞれ支店及び工場を開設したが，昭和18年11月大東亜戦争の進展に伴い“常盤航空機株式会社”と改め航空機の木製部品，主として木製プロペラなどの製造に従事した。

昭和20年8月終戦後直に，商号並びに事業内容を上記の如く戦前に戻し，幸い各工場とも戦火を免れたので各本支店の陣容を整備拡充，施設を増強する一方技術及び品質の向上に種々研究努力の結果，各界の復興建設の活発化に伴い当社の真価が漸く認められ内外の高評を博し今日に到っております。猶昭和23年2月名古屋に合板工場を新設し，自家用を始め各種合板の製造販売を開始しました。

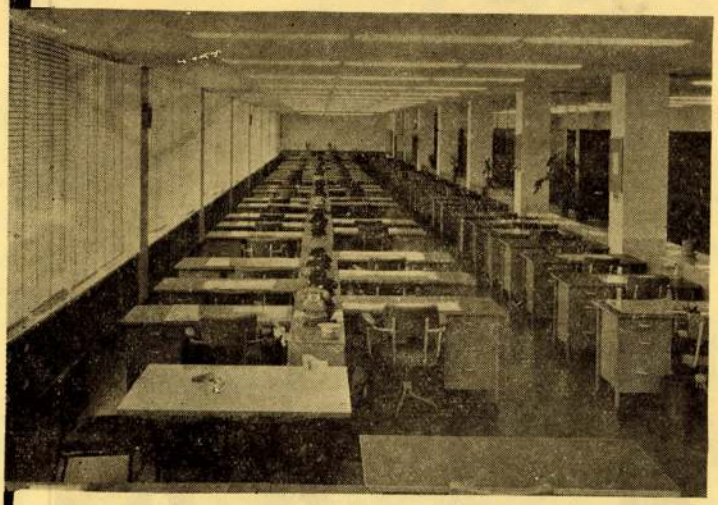
主な納入先

衆議院，参議院，宮内庁，外務省，アメリカ大使館，C.P.O，オランダ大使館，印度大使館，U.N.K.R.A，最高裁判所，東京都庁，愛知県庁，大阪府庁，名古屋商工会議所，豊橋公会堂，J.P.A，静岡県民会館，杉並区民館，徳川美術館，国立科学博物館，京都帝大図書館，浪速大学図書館，早稲田大学，東京帝国大学，学習院大学，日本赤十字病院，三菱病院，東海病院，永楽クラブ，東京都銀行協会，日本銀行本支店，第一銀行本支店，東海銀行本支店，アメリカンバンク，チャータード銀行支店，松坂屋，伊勢丹，丸物，野沢屋，服部時計店，帝国ホテル，赤坂中川，甲子園ホテル，名古屋観光ホテル，川奈ホテル，日本船主協会，アルゼンチナ丸，宗谷，茨木カントリークラブ，程ケ谷カントリークラブ，国際奈良ゴルフ場，後楽園スタジアム，文楽座，明治座，明治生命本社，丸紅飯田本支店，伊藤忠商事本支店，日本陶器本社，森下仁丹本社，早川電機工業本支店，三菱原子力工業（株），竹中工務店本支店，清水建設本支店，大町建設本支店，佐々部晩穂氏邸，芹沢光治郎氏邸，武藤糸治氏邸，都築良平氏邸，竹中藤右エ門氏邸，伊藤熹朔氏邸　（以上敬称略）



帝国ホテル新館 IMPERIAL SUITESA の造作と家具　（昭和33年8月施行納入）

近代建築にとけこむくろがねのスティール製品！





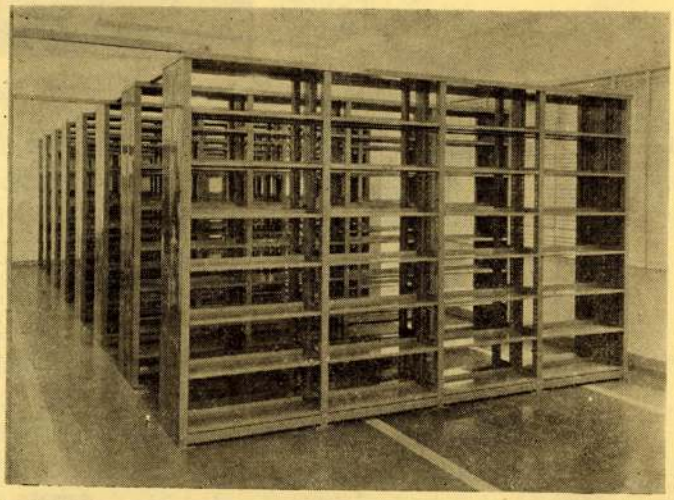




スティール
使用材料の特徴を十二分に活かした **E型デスク**

- 外形寸法及び仕様はJIS規格通りです
- 脚は角パイプと円錐パイプとの2種あります
- 袖は左右どちらにも取付けられます
- 合計30種類の変化ある机ができ上ります
- 構造を5つのパーツに分け量産化されるため従来から比べて安価となりました

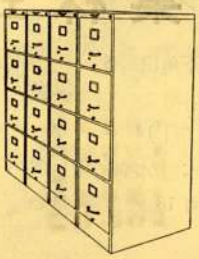
総組立式の **書架**



従来から図書館を初め各会社におきまして，図書の整理に，ご採用いただいていますが，永久保存書類の整理・保存にお使い下さればいかがでしょう。この書架は，総組立式でかんたんに棚板間の調節ができますから，書類の大きさに従って自由にかけ換えられます。また温度，湿度に対して狂いがなく，不燃性で永久的にご使用いただけます。

株式会社くろがね工作所

本社・工場　大阪市北区浜崎町18(37)5251～5



事務所用ロッカー
保管庫
セーフ・ファイル
統計カード・ケース
ファイリング・サプライズ　**スタンダード・ファイル**

営業所　**株式会社くろがね**
大阪市東区道修町2－44
電話 (23) 540．974．9149

関東地区　**三新産業株式会社**
東京都中央区日本橋本町2－5
電話 (24) 939．4589．4011

中部地区　**くろがね株式会社**
名古屋市中区岩井通4－8（マスミビル）
電話 (32) 2596～8



帝国ホテル第二新館　特別室　↑
住友生命本社　社長応接室　→



創業百年の歴史を有する“タンスの宮崎,,が，洋家具部を設けて三十年，その後各建築の造作工事は勿論，船舶の内部艤装に，また各放送局のスタジオの防音工事などにその業務内容を拡げて参りました。そしてその高度なる技術とともに洗練されたデザインにより，各方面の御要望に応じております。

最近納入先一例

建築内部造作	東亜紡ビル，　新朝日ビル，　三重会館，　坂出市庁舎，神戸新聞会館，　名鉄ビル，　山形市庁舎
船舶内部艤装	三菱長崎造船所，　三井玉野造船所，　名古屋造船所
スタヂオ工事	名古屋中日放送，　ラヂオ九州東京支社
家具装飾	住友生命，　住友商事，　住友機械，　松下電子，　電通，北国銀行，　読売会館，　帝国ホテル

宮崎木材工業株式会社

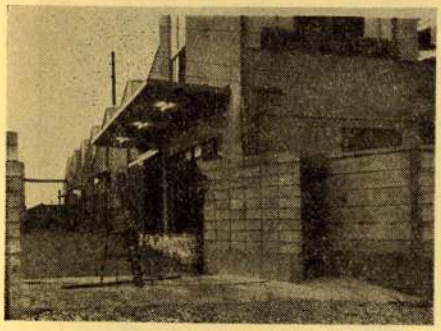
本　　社	京都市右京区太秦下角田町 5	TEL ㊽	1585～7
販 売 部	京都市中京区夷川堺町	③	0993
大阪出張所	大阪市北区北浜 4 丁目 14	㉓	6130
東京出張所	東京都澁谷区代々木富ケ谷町	㊻	9653
名古屋連絡所	名古屋市中区宮生町 18	㉔	5853
広島連絡所	広島市幟町 105	②	24

内外木材工業株式会社

本社及本社工場　大阪市大正区千島町6番地
電話 ㊺ 2434～8

東京出張所及東京工場　東京都江東区南砂町6丁目330番地
電話 ㊸ 9594

丸の内事務所　東京都千代田区丸の内1の2 三菱仲28号
電話 ㉘ 6404～5・8219



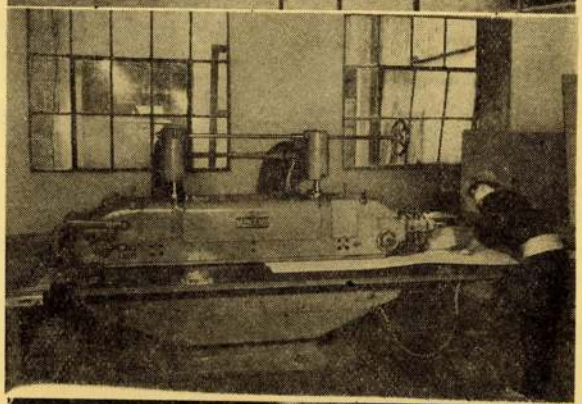
⑤



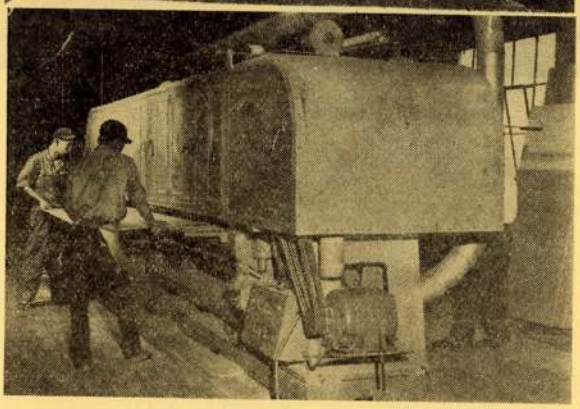
①



②



③



④

① **毎日新聞社・社長室**
造作・家具・当社施工
設計・日建設計工務K.K.
建築・大林組

② **大阪グランドホテル・一階メーンロビー**
造作・家具・当社施工
設計及建築・竹中工務店

③ 化粧単板の矧ぎ合せをする
ベニヤスライザー

④ 羽目板の合板を高能率に仕上げる
オートサンダー

⑤ 去る9月新築落成した**東京工場**

NAIGAI MOKUZAI KOGYO

営業品目

織物の製造販売及室内装飾工事の設計施行

◎ 美術工芸織物　壁掛，緞帳，額，その他裂地
◎ 服飾用織物　帯地，紳士婦人服地
◎ 装飾用織物　カーテン地，家具用裂地，車輛座席張地，天井及壁張地，卓被，クッション

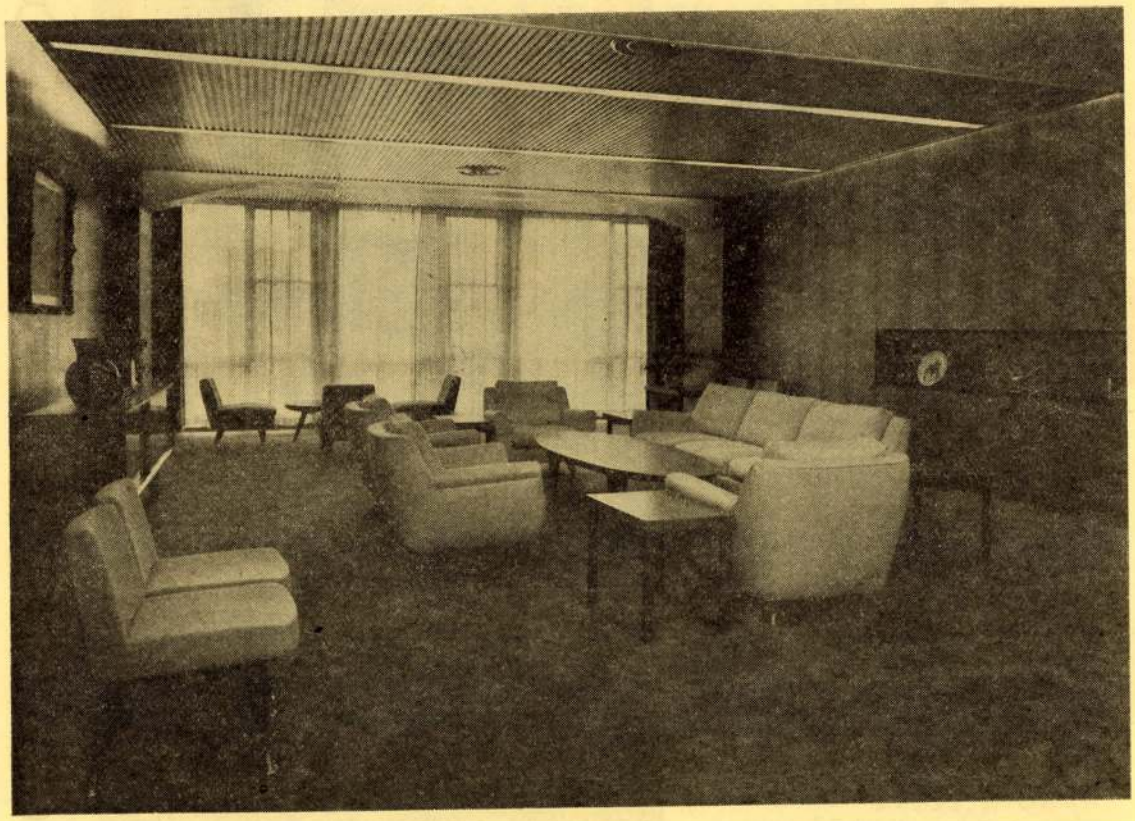
特　色

弊社は糸から製品に至る，撚糸染色製織及仕上の一貫作業を行っています。

弊社は図案の作成と地風の考案に独自の特色をもっております。

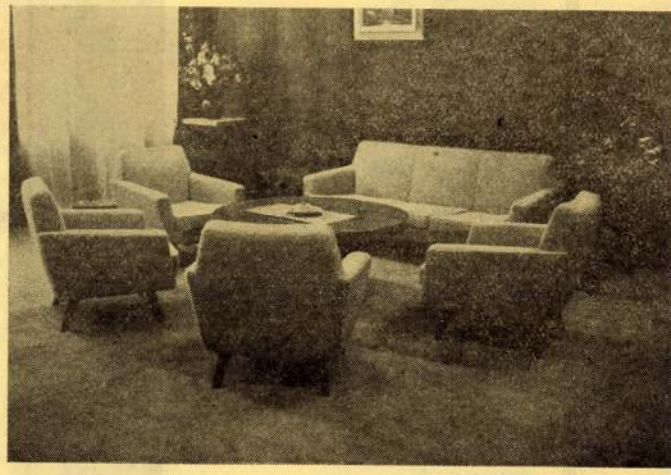
弊社は広巾織機200台手織機 150 台を有して総ゆる織物を生産しております。

弊社は製品を使用して室内装飾工事の設計請負及び施工を致しております。



株式会社　川　島　織　物　創業天保十四年

本　社	京都市上京区東堀川通元誓願寺下る	電 ㊶ 2141～5
東京事務所	東京都港区西久保桜川町一	電 ㊾ 5336～8
サービス・ルーム	東京都中央区銀座東六の一木挽館別館	電 ㊹ 1971～2
大阪事務所	大阪市東区道修町一の二一	電 ㉓ 3022～4
札幌出張所	札幌市北一条西四の二札商ビル四階	電 ② 6161



品 質・歴 史・意 匠

沿　　革

当社は明治 23 年憲法発布式典儀場用の絨氈及び同 27 年鉄道シート地用モケットを製織納入して以来，皇室・諸官庁・会社・ホテル・劇場・船舶・車輛の諸用より近年に到ってバス・航空機などに供してきました。

大正 2 年わが国で始めてパイル用力織機を輸入してカーペット・モケットなどを製造し爾来輸入品の防圧に努力いたしました。只今では国内唯一の紡績・染色・製織・仕上の一貫作業にて対米輸出も着々増大しつつあります。

高級手工芸織物を製造しております京都の都工場は，特に宮中御用織物を製織納入しており，伝統の技術は博く評価されておりますが，一般ドレープ・自動車用シート地など活況を呈しております。



本 社 製 品 陳 列 所

営　業　品　目

カーペット・緞通・フックドラッグ・タフトン・テレンプ・モケット・シール・カーテン・椅子張地・緞帳・高級手工芸織物・別珍・コール天・綿化繊織物・紡毛糸など

住 江 織 物 株 式 会 社
株 式 会 社 住 興

本社営業所	大阪市南区安堂寺橋四	電話㉕ 81～88番
東京支店	東京都港区芝久保桜川町二五	電話㊾ 7441～5番
工場所在地	住吉・河内・都・網野	
出張所	札幌・名古屋・広島・福岡	

日米ブラインド



当社はベネッシャンブラインドの製作を始めて18年になります。この間米国のメーカーと提携，その設備と技術を導入して世界的水準に達しました。特にロールコーティング・マシンに依り塗装されたスチール・スラットは当社の誇る特長でありますが，さらにスチール・スラットに代る硬質アルミ・スラット及び綿テープに代るビニール・テープの完成に研究努力を続けております。

また他社にさきがけて電動及びハンドル操作のブラインド製作に着手し，銀行営業室の大窓などその御採用先は漸増して御好評をいただいております。

生産能力　1カ月　300,000尺²

全アメリカブラインド協会会員

NKK.

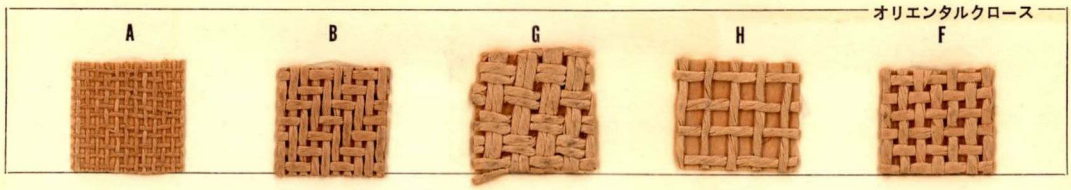
ベネシャン　ブラインド
電動 ベネシャン　ブラインド
手動 フォールディング　ドア

ご家庭用にはお徳な規格品　ホーム・ブラインド

日米ブラインド工業株式会社

本　社　東京都中央区日本橋江戸橋3—7　電㉗7505—8
出張所　大阪・電㊹495　名古屋・電⑨1624　札幌・電③3363
仙台・電②5977　富山・電(富山)6077　金沢・電②0991
福岡・電東③0169　ハワイ

オリエンタルクロース・ニツポンクロース・カラードクロースとは

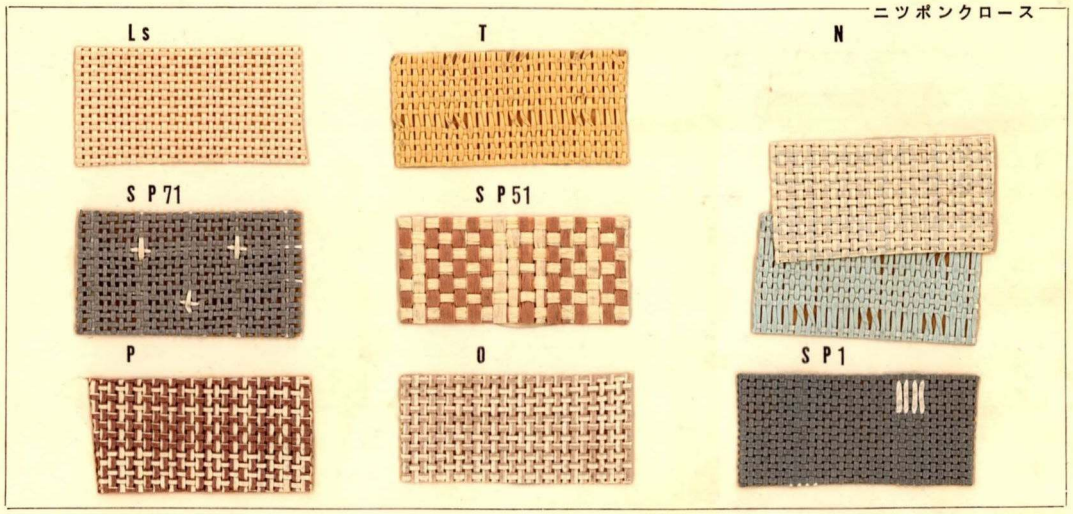


▶**オリエンタルクロース**（伝統を誇る壁貼材）

平和文化国家として今後美術建築は益々増大の傾向にある。建材も総ゆるものが新しいセンスを持ち而も特徴を有するものが要求せられ、又それが実現されるに至りつつある。壁貼材としてオリエンタルクロースは故武田吾一博士の命名に掛る画期的な壁貼材として昭和十年製造開始以来如上の要求を充するものとして業界各位の多数御採用を頂きつつある優秀品である。

・**特 徴**　優秀クラフト紙を撚糸製織せるものにして品質均等伸縮弛みの憂なし防火加工可能、乾燥による変質の虞れなく耐久無比織柄色彩ともに優雅高尚貼付加工簡易にして価格至廉。

・**用 途**　天井、壁貼、腰貼、画布キヤンバス代用、其他室内装飾一切。



▶**ニツポンクロース**（新製品）

オリエンタルクロースはクラフト紙を原料として製織したるものに対し新製品ニツポンクロースは着色せる強力なる日本紙を一分〜四分に裁断し、撚糸の上ビニールコロジオン加工を施し製織したるものでオリエンタルクロースに比して感覚も異なる新製品で外国品をも凌駕する新感覚溢るる最高級壁貼材料といい得る。

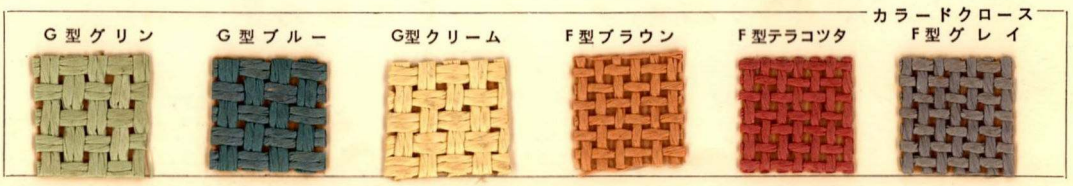
・**特 徴**　塗装不用、吸音性大、褪色せずデザイン色彩自由、水洗可能

・**用 途**　オリエンタルクロースに準ず。

▶**カラードクロース**（新製品）

・**特 徴**　原料はオリエンタルクロース同様なるも製紙の段階に於て着色抄造せる原紙を使用し撚糸製織せるものにして六色に及ぶ色彩は応用の変化に富み褪色の虞れなく塗装不用にして吸音性、クラツク防止、色彩優雅、防火加工可能近代建築に最適の壁貼材料である。

・**用 途**　オリエンタルクロースに準ず。



製造発売元　**河津装飾株式会社**

本 社　大阪市北区堂島上1丁目24　TEL㉞1351
出張所　東京・名古屋・神戸・広島・福岡
工 場　広島・静岡

吸音サンライト

接着剤はセメダインKKの
サンライトセメダイン

- ○ 硬　　度　大
- ○ 強　　靱
- ○ 耐　　水
- ○ 難　　燃
- ○ 施　工　簡　易
- ○ 美　　麗
- ○ 塗　装　容　易

硬質繊維板（ハードボード）

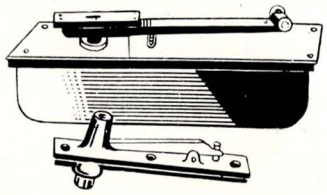
サンライト

製造元　日本レイヨン株式会社

リブサンライト

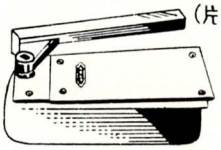
NEW★STAR

創業大正八年



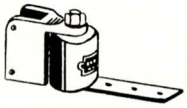
フロアーヒンヂ（両開キ）

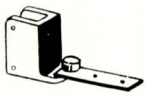
ドアーチエック



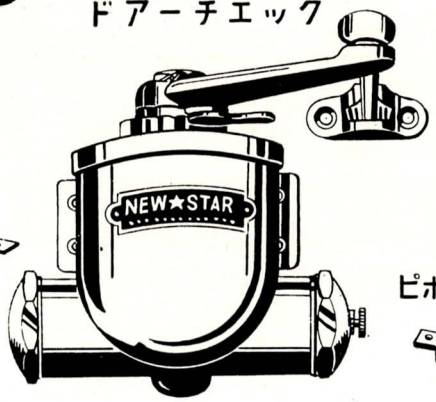
フロアーヒンヂ（片開キ）

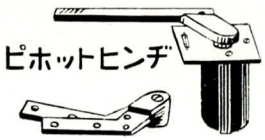






ラバトリーヒンヂ





ピホットヒンヂ

輸出　本邦唯一

ニューヨーク・ロスアンゼルス・カラカス・バンクーバー・ロッテルダム・マニラ・シンガポール・香港等へ毎月輸出致しております。

日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

本社工場　布施市横沼町3丁目11番地　電話大阪(72)代表6666－9
東京支店　東京都千代田区神田錦町1丁目23　電話東京(29) 1920・4920
福岡出張所　福岡市舟津町1番地　電話福岡(4) 2372・3312
名古屋出張所　名古屋市中区下園町1丁目5番地　電話名古屋(23) 7361

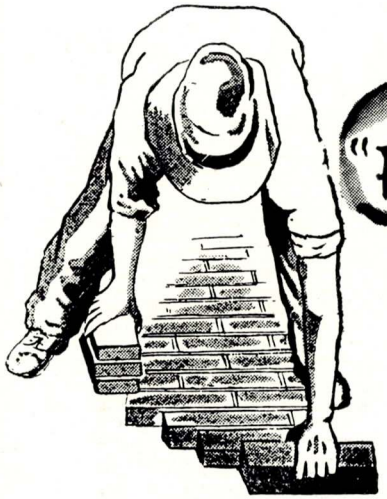
ORIENTAL

ORIENTAL METAL MFG CO. LTD.

ASPHALT BLOCK

アスファルトブロック

"For Heavy Duty Floors & Pavements"



用途…橋梁用・プラットフオーム用及耐酸床用

厚サ20-25-38-50粍　巾 120粍 × 長サ 240粍

オリエンタルメタル製造株式会社

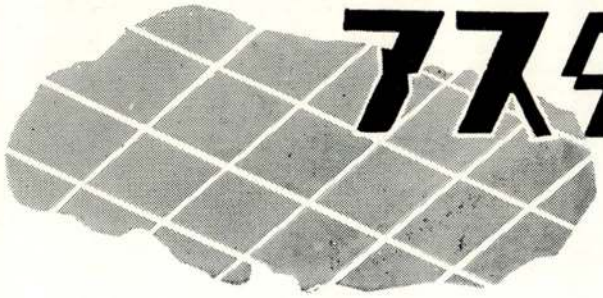
本社及工場　尼崎市長州字稲川新田44　TEL 大阪（48）4947～9・5920
東京支店及工場　埼玉県北足郡蕨町塚越　TEL（蕨）252・（川口）2736・5978
九州支店及工場　福岡県八幡市東浜町16の2　TEL（八幡）723・2512
東北支店及工場　福島県郡山市外富久山町久保田142　TEL（郡山）267
名古屋営業所　名古屋市熱田区三本松町2の35　TEL 名古屋（8）7674

ORIENTAL

最も進歩した建築には最も進歩した床材

ビニアスタイル

(2粍厚)



アスタイル を

藤森建材株式会社

本　社　東京都中央区日本橋通1ノ5(中央ビル)
電　話　東京 ㉗ 6432～5
大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1丁目1番地(大同ビル内)
電　話　土佐堀 ㊹ 1623

天井に間仕切に＝家具材に

サンライト

吸音サンライト
リブサンライト

兵庫サンライト会(イロハ順)

石井建材有限会社　神戸市兵庫区荒田町一丁目一　電話⑤二一四〇
株式会社 今村商店　神戸市生田区楠町六丁目三　電話④五七四六
播州建材株式会社　姫路市綿町一一　電話 姫路 五二二
合資会社 武田建材店　姫路市東呉服町七　電話 姫路 〇二三
株式会社 室谷商店　神戸市生田区北長狭通四ノ一 地産ビル　電話③〇八八一
能代商会　神戸市兵庫区下沢通五丁目一　電話⑤四一四二
㊧ベニヤ　神戸市灘区水道筋六丁目二八　電話⑧九七六九
松浦興業株式会社　神戸市東灘区本山町田中　電話⑧七三一四

日本レイヨン株式会社



ライトブルーの爽やかさ！

ブルーペーン

ビルの美しさを引立て
エヤーコンディショニング
の効率を上げるのが、日本
板硝子の熱線吸収ガラス、
ブルーペーンです。アパー
ト・一般住宅にも好適です

その他
型板ガラス・磨板ガラス・ワイヤー
ウェーブライト・サーモペーン複層
硝子など各種

◎ 日本板硝子

日本インテリヨン株式会社

天井に間仕切に家具材に

サンライト

リブサンライト
チェックライト
吸音ライト

お家の…ちょっと修理サンライトお家で…ちょっと工作サンライト

大阪サンライト会（イロハ順）

株式会社 紅中商会
浪速区幸町四丁目八 電(53)二〇五六

田辺工業株式会社
西区江戸堀下通二ノ七 電(44)七四三七

株式会社 室谷商店
北区絹笠町堂ビル五階 電(36)二〇二一

内田商会
北区万歳町四七 電(36) 九〇〇

株式会社 山本建材社
西区・四ツ橋南詰 電(54)二一三一

株式会社 大和商会
南区高津町四番丁七三 電(64)一五八八

丸尾建材株式会社
西区九条南通一ノ二三 電(53)五六八〇

丸駒建材株式会社
南区北炭屋町三五 電(27)二六二八

丸正ベニヤ株式会社
南区日本橋筋三ノ六五 電(64) 二一二

三友工業株式会社
東成区大今里町六五五 電(97)八〇三一

宮本建材株式会社
南区・賑橋電停前 電(75)九〇〇五

会　　合　（8月）

▶理　事　会

13日　4時—5時半　　於会館会議室

出席者　尾崎会長外10理事　山邑監事

議　事　(1)　坂教授講演会開催の件

(2)　「建物及設備の保全」中一部転載に関する件

(3)　日本規格協会主催「建築用ボード講習会」後援の件

(4)　現場管理実務講習会に関する件

(5)　会館借地料値上げに関する件

(6)　「カラーベストス」建材審査に関する件

(7)　入退会者承認の件

(8)　報告事項

▶災害委員会

2日　4時—5時　　於奥摩耶山荘

出席者　馬場委員長外10委員

議　事　(1)　土質試験の標準仕様書および簡易地耐力試験方法について

(2)　実際に役立つ鉄骨の計算便覧の編集について

(3)　その他

小委員会（鉄骨計算便覧）

19日　3時—4時半　　於会館集会室

出席者　石崎主査外4委員

実例計算の種類，資料提供者などを協議決定し，原稿の脱稿日，整理完了の目標時期などを決定

▶編集委員会

幹　事　会

7日　4時—6時半　　於会館会議室

出席者　塚本委員長外4委員

関西建材協会2氏

11月「建材特集」号の企画審議

委　員　会

9日　2時—4時半　　於会館会議室

出席者　塚本委員長外6委員

議　事　(1)　9月「城特集」号経過報告

(2)　10月「室内デザイン特集」号経過報告

(3)　11月「建材特集」号企画

(4)　その他

幹　事　会

29日　4時—8時　　於会館会議室

出席者　塚本委員長外3氏

正月「竹腰健造記念」号の企画審議

▶建材審査委員会

分　科　会

6日　5時半—7時半　　於会館会議室

出席者　奥島委員外5委員

議　事　(1)　ネオベック防水剤審査の件

(2)　カラーベストス審査の件

(3)　アサヒラス審査の件

(4)　ポロン審査報告

委　員　会

15日　5時—8時　　於会館会議室

出席者　置塩，竹内正副委員長外4委員

議　事　(1)　アロンフロアリング審査の件（新規）

(2)　審査報告（3件）

(3)　優良証明特徴文決定の件（2件）



▶教育委員会

小委員会（現場管理実務講習会）

7日　12時—1時半　　於会館会議室

出席者　岩下主査外2委員

本年の講習会実施についてその大綱などを審議

小委員会（建築設備編集幹事会）

14日　5時半—7時　　於会館会議室

出席者　前田幹事外6幹事

テキスト刊行の今後の工程や取纏め方などにつき審議

打合会（現場管理実務講習会）

20日　5時半—7時　　於会館集会室

出席者　奥島委員長，岩下主査外2委員
講師12氏

講習会実施の日時などを具体的に協議決定

▶事業委員会

9日　5時—6時　　於淡路福良

出席者　岩崎，尾亀正副委員長外5委員

9，10月の事業企画につき審議し，翌日淡陶のタイル工場を見学

小委員会（若い会員の集い）

18日　5時半—6時半　　於会館会議室

出席者　三品主査外2委員

本年度の開催方針並に次回集会の企画を審議

▶見学会

アサヒビール吹田工場見学会

23日　1時半—4時　　参加者40名

▶後援した会

1．名称　新しい建築材料とその使い方の展示発表会

主催　社団法人　日本建設材料協会

会期　8月5日—8月10日

会場　大阪南海高島屋

1．名称　建築用ボード講習会

主催　財団法人　日本規格協会

会期　8月26日

会場　大阪商工会議所

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

特許　防火シヤッター全般
小俣式
電動式～箱型・ウオーム・スパー
手動式～自動・鎖オートマチック
株式会社 小俣製作所大阪出張所
（旧田中シヤッター）
大阪市北区若松町30　TEL ㉞9016
本社及工場・埼玉県与野町
東京事務所及工場・東京都北区田端町

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・
耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工
株式会社 奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町五六番地
電話北㉞四一三一～四

杭
株式会社 武智工務所
取締役社長　福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階
電話㉖3606・4089

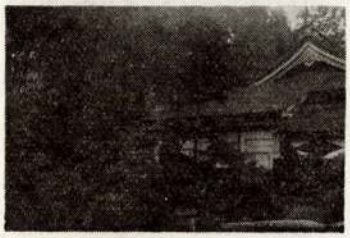
各種陶管・大正便所・S.P.石綿パイプ・モルタル製敷ブロック・腰掛ブロック・スペンサー
セメント煉瓦・流司洗濯槽・塵芥箱・空気抜・ヒューム管
各種セメント製品・コンクリート製品製造・販売
三舟建材商會
大阪市住吉区上住吉町三一番地
電話㊼2420番

＝特許＝
氣光式通風器　製造販売
南用式レチスター
特許第二五一三六号
カタログ進呈
大阪市西区江戸堀上通1の5
田辺工業株式会社
電話土佐堀㊹7437—9

社団法人　関西建材協会・八月分会報



高野山金剛峯寺



高野山持明院

岡谷正男氏御逝去（会員岡谷鋼機ＫＫ社長）
8月12日夜羽田から名古屋に向われる途中相模湾海上で飛行機故障のため遭難された。誠に痛恨の極みである。追而葬儀は９月２日名古屋本社にて社葬が営れた。以上謹告　　総務部長

"建築と社会" 建材特集号編集打合会　7日　3—7時
塚本編集長外建築協会委員と本会井場事業部長，大和常務理事出席。来る11月号建材特集発行につき詳細協議。

高野山見学納涼会　9日—10日
和歌山建築士会並に日本建築協会和歌山支部主催に本会合流し約30名参加した。大和常務理事，田中雇出張和歌山方と協力9日5時持明院集合約50余名，院主の講話後双方懇談晩餐会。10日奥の院，金剛峯寺，大塔・金堂等特別見学。中食後解散した。

展示場委員会　12日　3—5時
委員長関西タイル外9委員出席。10月出品者交代の件，表入口並に掲示の再協議，特別展の件協議

理事会　14日　4—5時30分
室谷理事長外７理事出席，委任状８通，諸報告後，中国，九州（福岡）に常設建材展示場開設の件，顧問弁護士委嘱の件，９月以降の事業企画の件等協議。

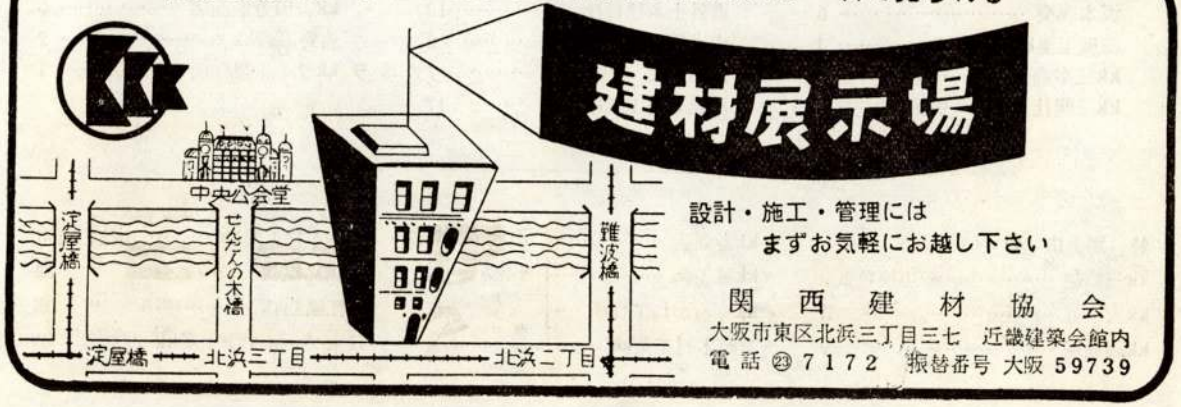
新入会員紹介　〔8.1～31〕

社名	代表者	取扱品	住所	電話	紹介者
日鹿合板商会	飯室鹿蔵	一般ベニヤ，天井板	東区横堀6—37	㉕3733—4.5744	浪速合板
ＫＫ小林武雄商店	小林広仲	ナシナルパネライト	天王寺区南河堀町115	㊼2471～4	大和栄衛
東亜樹脂工業ＫＫ大阪事務所	山本昇	樹脂建材	東区今橋1—9（朝日生命ビル）	㉑4642	〃
大阪合成樹脂ＫＫ	上野吉夫	ポリエステル	生野区鶴橋南之町1—5774	㊸0335～9	大島応用

○住所・電話異動　浪華ラス工業ＫＫ　電話増設㊺2253　　能率風呂販売ＫＫ　西区本田2—74　㊺0494

栄進鋼業ＫＫ　北区神山町26 富国ビル　㊱6265 6580

信用と誠実をモットーとする・建材100社の見本が一目で見られる



設計・施工・管理には
まずお気軽にお越し下さい

関西建材協会
大阪市東区北浜三丁目三七　近畿建築会館内
電話㉓7172　振替番号 大阪 59739

広告目次 (50音順)

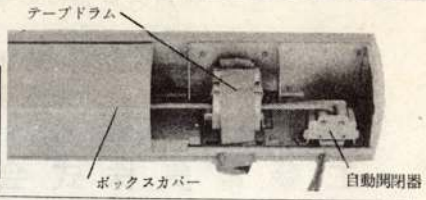
ア アスファルト同業会関西支部 9
浅海電気kk …… 2
伊奈製陶kk ……中挟
泉石綿工業kk …… 6
井田商事kk …… 5
kk岩住鉄工所 ……12
岩元工業kk ……11
kk栄興商会 …… 4
栄進鋼業 …… 8
kk荏原製作所 …… 表紙4
オリエンタルメタル製造kk …中挟
大阪ガス…… 前付
大阪建材工業kk ……18
大阪サンライト会…… 中挟
kk大阪城口研究所 …… 3
kk大阪電気暖房商会 …… 3
大阪耐酸工業所 …… 8
大島応用化学工業kk …… 6
kk奥村重兵衛商店 ……74
奥山化工業kk ……16
織本特殊構造研究所 ……13
カ 樫野石灰工業kk …… 4
kk川岸窯業 …… 5
川口ゴム工業kk ……前付
関西ペイントkk ……目次対抗面
関西三星タイル会…… 15
近畿車輛kk ……11
工藤電気 …… 2
kk久保商店 …… 1
kkケントク ……18
kk建材社 …… 3
kk金剛商会 …… 5
kk工英社 …… 表紙2
kk小俣製作所 ……74
サ 斎久工業kk …… 3
kk斎藤省三商店 …… 3
坂本商会 …… 6
三機工業kk …… 3
kk三幸商会 …… 5
kk三興社 …… 2
kk三晃商会 …… 3
三宝電機kk …… 2
三和シヤッター… 目次対抗面裏
彰国社 ……中挟色頁
昭和アルミニウムkk ……10
新興建材工業所 ……14
新鋼建設工業kk ……62
須賀工業kk …… 3
鈴木シヤタア商会 …… 5
住友金属工業kk …… 表紙3
セメダインkk ……前付
タ 田中工業kk …… 1
田中風呂製作所 …… 6
田辺工業kk ……74
田村商会建材部 ……中挟
谷山製作所 …… 6
第一工業kk …… 4
大信ペイントkk ……17
大日本硝子工業kk …… 8
大仏組 …… 5
大和設備工業kk ……63
高砂熱学工業kk …… 4
kk武智工務所 ……74
kk立花商会 …… 4
地建工業kk …… 5
中央電気工業kk …… 2
朝陽電気kk …… 2
東邦商会 …… 7
東京鋼板工業kk ……11
東京製備工業kk ……10
東洋キヤリア工業kk …… 4
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリユームkk ……前付
東洋レーヨンkk ……目次対抗面
ナ ナニワ瓦kk …… 5
内外工業kk …… 8
内外土木建材社 ……12
中本電気kk …… 2
浪速合板 …… 7
浪速建材工業kk ……17
日本板硝子kk ……中挟
日本管工業kk …… 4
日本金具製作所 ……中挟
kk日本シヤッター製作所 表紙3
日本製板加工kk ……12
日本セメント防水剤製造所 …… 表紙3
日本ドアーチエック製造KK ……中挟
日本レイヨンkk ……中挟
日宝塗石kk ……12
kk西原衛生工業所 …… 3
西日本アスファルト事業協同組合 表紙4
日本ペイントkk …… 7
kk 野上工業所…… 2
ハ kk林塗装店 …… 4
kk汎建製作所 ……13
kk日立製作所 …… 表紙2
兵庫サンライト会 ……中挟
平川鉄工所 ……前付
福屋工業kk …… 4
藤本鉄工kk …… 4
藤森建材kk ……中挟
フタバ黒板 …… 5
豊国セメントkk ……11
マ kk松重電機商店 …… 2
ミツナ鋼建kk ……10
水谷ペイントkk ……73
kk美素工業所 ……目次対抗面裏
kk三高製作所 ……13
kk三谷製作所 ……前付
峰岸商店 ……16
三舟建材商会 ……74
kk室谷商店 …… 7
ヤ 山田工業kk …… 3
山宗化学kk ……10
kkヤマト電気商会 …… 2
kk油脂化工社 …… 表紙3
kk吉田芳雄商店 …… 5
吉野石膏kk …… 7
ラ kkライト製作所 …… 1

特別広告 (順不同)

kk三 越 …… 中挟色頁II
kk大 丸 …… 〃 IV
kk高島屋 …… 〃 V
kk寿商店 …… 中挟色頁VI
kk誠工舎 …… 〃 VIII
kkくろがね工作所 …… 〃 IX
宮崎木材工業kk …… 〃 X
内外木材工業kk …… 中挟色頁XI
kk川島織物 …… 〃 XII
住江織物kk …… 〃 XIII
日米ブラインド工業kk 〃 XIV

世界的に認められた

ライト ベネシャンブラインド LK型



ライト〃LK〃は他のブラインドに比してどこが優れているか？

(1) 従来の設計常識を覆えし，どんな場所にも簡単に美しく取付ができます。
(2) しかも他のブラインドのようにボックス内部にホコリが入らない完全防塵です。
(3) 塗装はオートメーション赤外線焼付ですから，サビやはがれる心配はありません。
(4) その他各部には最高級品を使用してあります。

ブラインドは値段の安い点にばかり惚れ込んで買えば必ず後悔します。内部迄良心的に造るライトのベネッシャンブラインドは他の追従を許さない作動の軽快さと耐久性とを持った最も信頼できるブラインドです。〃ライトLK〃は40年の豊富な経験と近代的工場施設によって作られ，世界各地に最も大量に輸出されています。

株式会社 ライト製作所

本社工場 大阪市城東区野江東3—78TEL㉝代1751—4
東　　京・広　　島・和　歌　山

田中式 スカイライト

スチールサッシュ
スチールシャッター

オペレーター
スチールドアー

ベンチレーター

田中工業㈱大阪出張所

設計施工

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2ノ89 電話㊽0545
本　　社 東京都墨田区吾嬬町東4ノ122 電話 城東㊽0870・0970
錦糸工場 東京都墨田区錦糸町1ノ25 電話 本所㉝0790・5133
小倉工場 小倉市赤坂上の宿37 電話 小倉0653・2833
川崎出張所 神奈川県川崎市東渡田3ノ43 電話 川崎②4540
札幌出張所 北海道札幌市北三条東7ノ4 電話 札幌③0515
盛岡出張所 岩手県盛岡市木伏179 電話 盛岡2554
名古屋代理店 名古屋市西区西菊井町2ノ12岡田建材店 電話 西㊸0121

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事

専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地　電話大阪(34)207～8・4836～7

電気工事設計施工
電気冷蔵庫・電気洗濯機
修理販売
工藤電気株式会社
大阪市北区太融寺町五四
電話・大阪㊱2891—5番
工場 大阪市西淀川区御幣島東一丁目二〇
電話 淀川㊼3477・3478
営業所 東京・名古屋・神戸・岡山・広島

各種電気工事設計施工
浅海電気株式会社
取締役社長 浅海正雄
大阪市東区北浜二丁目六九
電話 北浜㉓5273—5・5451—2
営業所 東京・札幌・沖縄・福岡

電気設備工事
設計・施工
朝陽電気株式会社
取締役社長 山本博三
本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル6階
電話 大阪局㉓9531（大代表）
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目十一番地
電話 大阪局㊹5201番（代表）～3

電気工事全般設計施工
中央電気工業株式会社
取締役社長 今村騰
本社 大阪市北区曾根崎上一丁目四一
電話 大阪㉞8131代表～4
営業所 東京・新宮・御坊

電気工事設計施工
三菱電機・冷凍機工事特約店
株式会社 野上工業所
取締役社長 野上清二郎
本社 大阪市東区北浜三丁目四七 電話北浜㉓770～3
支店 福岡市上東町十五 電話東③5010
支店 松阪市本町 電話2480～2
出張所 東京・名古屋・神戸・直方・田川・大分・四日市

電気工事設計施工
株式会社 **ヤマト電気商会**
取締役社長 山本龍太郎
本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪㉞代3056
東京営業所 東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室 電話東京㊺7464
出張所 名古屋・防府・福岡

電気工事設計施工
三宝電機株式会社
取締役社長 嘉納傳三
本社 大阪市大淀区浦江北2丁目51
電話㊾5148・6460・6646
分室 大阪市北区絹笠町50（堂ビル8階）
電話㊱3862・1141
支店 東京都千代田区飯田町2—15（飯田橋ビル4階）電話㉝8520・8527～9
出張所 名古屋・光

電気工事全般設計施工
株式会社 **三興社**
取締役社長 坪井大（タケシ）
本社 大阪市北区絹笠町50番地（堂ビル703号室）
電話 大阪㊱2138代表・5018
支店 東京都中央区日本橋箱崎町三丁目二番地
電話 兜町㊼1478・1479・1470番
出張所 大阪堺・名古屋・下関

電気工事各種設計施工
株式会社 **松重電機商店**
取締役社長 松本芳太郎
大阪市東区今橋二丁目十六番地
電話 北浜㉓6951（代表）～3㉓8121

電気設備工事
設計・施工
中本電気株式会社
取締役社長 中本正明
本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話 大阪㉝5143・5373
機器工場 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫 電話 大阪㉝2193・2134

暖冷房・水道・衛生設備
設計施工
山田工業株式会社
取締役社長 山田文次

本社 大阪市西区京町堀上通一丁目七 ㊹代2613・2061
営業所 神戸市生田区北長狭通七丁目一の一 ④1778・4386
出張所 名古屋市中区宮出町四七 ㉔5721
〃 東京都北区上十条一丁目一〇 ㉛2346
〃 岡山市桜町七六 ②295

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工
株式会社 **三晃商会**

本社 大阪市北区堂島北町一四 ㉞代表7031
出張所 東京都港区芝琴平町四〇 ㊿9278
名古屋市中区新栄町二丁目一 ⑨1820
福井市宝永上町一〇五 1596
広島市石見屋町五五 ②1938
福岡市柳原一丁目七 ④1158

給排水・衛生
暖冷房・換気 設計施工
株式会社 **大阪城口研究所**
代表取締役 城口庸平
大阪市北区高垣町一・電話豊崎㊲7575～7
京都市東山区大和大路大仏前・電話祇園⑥4945～6
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話元町④5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工
株式会社 **大阪電気商会**
株式会社 **大阪暖房商会**
取締役社長 菅谷三郎
本店 大阪市西区江戸堀南通一丁目三七番地
電話大阪㊹代表 5231番 / 8231番
支店 東京・名古屋
出張所 京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡
熊本・札幌・仙台・新潟・金沢・福井

水道・衛生・煖冷房・其他管工事
設計並施工
特許YM式ルーフドレイン製造販売
(旧斎藤久孝事務所)
齋久工業株式会社大阪支店
大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話本町局㉘代表4496～8番
本店 東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電話28局6505～8番
金沢営業所 金沢市高岡町三五 電話金沢本局②2074
福井出張所 福井市城之橋下町一〇 電話 福井2436
高松出張所 高松市中新町一〇六ノ三 電話高松5195

創業 大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生
株式会社 **斎藤省三商店**
東京店 東京駅前丸ビル6階676区
電話和田倉⑳3761・3762・3763・3764
大阪店 大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
電話土佐堀㊹1568・1569・2594
札幌店 札幌・北四・西四(札幌駅前)
電話 札幌 ② 0010・0956 ③ 4661
名古屋店 名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号 電話 中局㉔1766

暖房・冷房・衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
電縫鋼管・荷役機械・製造販売
三機工業大阪支店
大阪市東区高麗橋三丁目壱番地・電話代表26局 2951 3076
本社 東京都千代田区有楽町壱丁目十番地
支店・出張所 名古屋・福岡・札幌・広島
工場 川崎・鶴見・中津・六郷

暖房・冷房・水道・衛生工業設備
設計施工
須賀工業株式会社
大阪市福島区堂島浜通4丁目
電話㊺ 代表1171番 / 代表1351番
東京支店 東京都港区芝田村町6丁目 電話㊸代表7121
名古屋支店 名古屋市中区材木町1丁目 電話㉓代表7856
京都支店 京都市下京区烏丸通松原下ル 電話⑤1989・2255
神戸支店 神戸市生田区北長狭通2丁目 電話③代表5101
福岡支店 福岡市千代栄町 電話②代表4735

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置
株式会社
西原衛生工業所大阪店
大阪市大淀区中津南通二丁目五一番地
電話福島㊺3416～8番
東京事務所 東京都港区西芝浦三丁目一番地
電話三田㊺9371番

空気調和装置及衛生設備
設計施工
株式会社 **建材社**
大阪支店
大阪市北区中ノ島三丁目(朝日ビル九階)
電話北浜㉓6041(代)
本社及東京支店 東京都中央区八重洲三丁目七
営業所 名古屋市中区西万町二丁目一

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工
高砂熱学工業株式会社大阪支店
大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル7階）
電話 北浜 ㉓ 7641（大代）
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工
東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店
大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電話 大阪 ㉞ 局 8356（代表）
本社 東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支店 東京・名古屋 出張所 九州
工場 東京都足立区下沼田町360番地

媛冷房・水道衛生工事
設計施工
株式会社 **栄興商会**
取締役社長 中山俊人
本社 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話福島 ㊺ 3391～4番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話四谷 1324番
出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三
電話元町 ④ 5377番

暖・冷房・空気温湿度調整装置 設計施工
各種送排風機・エロヒンヒーター・キャビネットヒーター
冷却塔・各種レヂスター・アネモスタット類製作
藤本鉄工株式会社
本社並工場 大阪市旭区赤川町三丁目二八 電話㊴1264－6
梅田営業所 大阪市北区神明町五〇 電話㊹1144－5
名古屋出張所 名古屋市東区駿河町一丁目三 電話⑨4594・5118
寝屋川工場 寝屋川市大字太間一九五 電話（寝屋川）0404

温湿度調整装置、媛房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工
第一工業株式会社大阪支店
大阪市北区富田町30 電話大阪㉞（代表）0977
0978～9・0970
本社 東京都千代田区丸ノ内2－10
電話 ㉘ 2631－5
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話 7332
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町3－6
電話 ⑨ 2893

工業用及建築用各種石灰製造販売
小野田セメント特約販売店
樫野石灰工業株式会社
大阪支店
大阪市北区曽根崎新地三丁目五十三ノ一
（市電桜橋停留所前）電話大阪㉞1274～6
支店・徳島・神戸・姫路・東京

PAINTING CONTRACTOR
塗装工事請負
株式会社 **林塗装店**
TEL. 大阪 ㉕ 1756－7・東京 ㉙ 1335

温湿度調整・媛冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工
日本管工業株式会社
代表取締役 市川進男
本社 京都市中京区両替町通り姉小路上ル
電話②2290・5532・6945
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1－37（天満橋北詰）
電話 ㉟ 8829
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話7503・3665
津営業所 津市栄町2－111 電話 3610

リグノイド床・床材料
製造・販売・施工
福屋工業株式会社
本店 大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電話新町 ㊸ 3426～7

三菱電機製
NFノーヒューズ分電盤 NFノーヒューズ配電盤
螢光灯・モーター・変更器・冷暖房・エレベーター
三菱電機株式会社元扱店
株式会社 立花商会
大阪市東区南本町二丁目四三番地
電話本町 ㉖ 0323・1575－9

鈴木式防火シヤタア

鈴木シヤタア工業株式会社大阪出張所

株式会社 鈴木シヤタア商会

大阪市北区茶屋町33　電話㊲0098・5837・8729

雨風に強く
緩勾配に最適

大和洋瓦（だいわ）

超軽量荷重（坪当37貫）和型より安い

発売元

大仏組　大仏瓦・各種和洋瓦 工事請負一式

本　店　京都市東山区今熊野池田町九　⑥3555

大阪営業所　大阪市東区内淡路町一丁目　㉞975

陶管・ベンチレーター

株式会社 三幸商会

大阪市北区曽根崎上一ノ四一

電話 大阪 ㉞3145

ヒューム管

コペンハーゲンリブ

商月報無料送呈

井田ベニヤ

井田商事株式会社

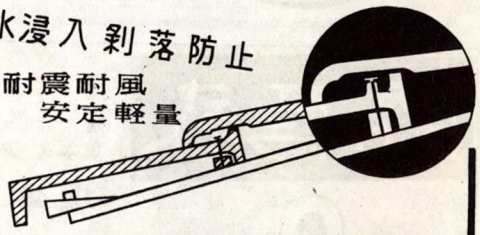
大阪市浪速区西円手町一.0一七番地 湊町駅貨物八号門前

電話 (53) 4890・(54) 0808~9

雨水浸入剥落防止

耐震耐風

安定軽量



ナニワ瓦株式会社

大阪市浪速区元町一丁目七四二 電話(64)五六五

ナニワ緩勾配瓦

3寸緩勾配最適軽量 水止付(空葺)瓦

特許植物性　型枠離剥塗料

サンヒット

関西代理店　株式会社 金剛商會

大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道電車　野里電停前

製造元 東京 坂巻サンヒット商会　電 淀川㊼0417・4091

タイル 衛生陶器

販売と施工

奉仕感謝の店

株式会社 川岸窯業

大阪市西区靱南通二の二五（市電靱南通電停前）

電話 ㊹ 2571・2764 番

低水位の地盤に

地建の合成基礎杭

木杭にほんの僅かな工費が嵩むだけです

責任施工　地建工業株式会社

大阪市北区絹笠町50堂ビル内電㊱2701

耐酸ツボ各種

天窓瓦福林産地直売

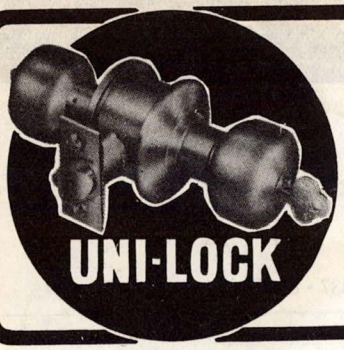
建築陶器の百貨店



株式会社 吉田芳雄商店

大阪市北区南森町交叉点

電話大阪㉞2403・3904



建築界待望の新扉錠……！

ゴールユニロック

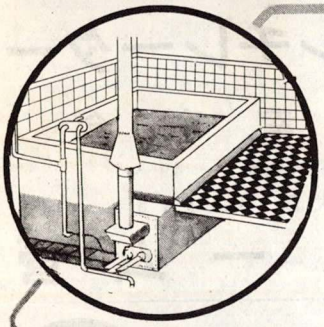
GOAL

日本住宅公団・公営住宅御指定

株式會社 谷山製作所

大阪市東淀川区三津屋北通四丁目　電話(37) 3117・5871・7724

シリンダーレバーハンドル錠
押ボタン式シリンダー錠
アンチ式シリンダー錠
シリンダーナイトラッチ
シリンダー抽斗錠
各種高級彫込錠



田中のガス風呂

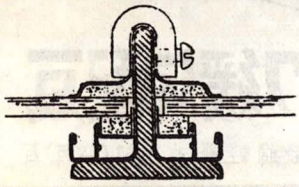
清

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂

田中風呂製作所

大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　電話㊹5313・8128

坂本式スカイライト



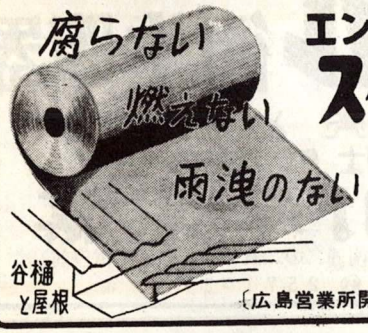
営業種目
坂本式 スカイライト 坂本式 ベンチレーター
坂本式 連続通風装置 一般建築鈑工場

坂本商会大阪出張所

大阪市東区平野町1～4 電話 北浜㉓4643
本社 東京都中央区日本橋江戸橋1―11(明治ビル)
電話千代田㉗7266・9859・9918
工場 東京都墨田区寺島町2―50
電話城東㉘3918

坂本式ベンチレーター





〔広島営業所開設〕

エンドレス（長尺もの）

スタンダードメタル

PATENT Standard

谷樋.屋根に是非どうぞ

スタンダードーメタルの大島化学
エバーブライトの大島化学
(アルミ箔ルーフイング)
オーシマライトの大島化学
(ポリエステル樹脂積層板)

大島応用化学工業㈱

本社工場　大阪市城東区野江東ノ町4丁目　電話城東㉝3679・4481・8471
第二工場　大阪市城東区古市中通2丁目　電話城東㉝8813
支店　新居浜市西原町　電話2327・2938・3255
営業所　名古屋市 電(中)7025・広島市 電③7582 出張所 四日市市 電2065

石綿セメント製品の最高水準を行く!!

アスベストバリヤ

(硬質石綿板)

Asbesto. Barrier

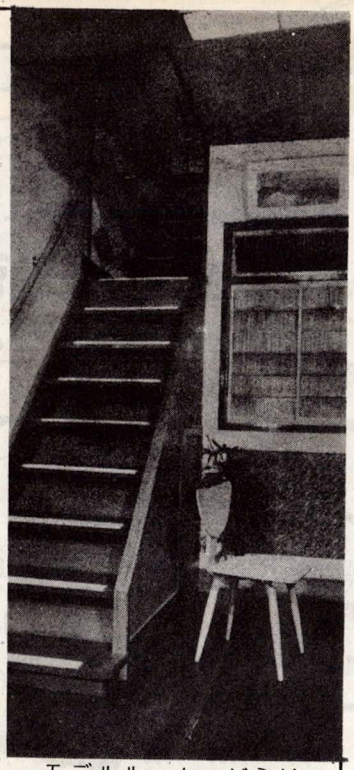
建物内外壁、間仕切、天井扉
電気室、発電所、配電室、製鋼
ガラス工場の壁、製糖、製油
製薬工場の床スカート壁など
に最適

呈カタログ

泉石綿工業株式会社

大阪市北区北同心町1丁目11
電話堀川㉟3442・4078

リブ付塗装合板
美装パネル
吸音多孔合板
ベニヤトーン
日楽の繊維板
ヤマハボード
二重色調浮出杢
カラーボード
ポリエステル化粧板
ポリプライ
線條塗装合板
ラインボード
ビニール合板
ビニライト
立体塗装合板
カーベライト
九つの特長を誇る
九徳天井板



モデルルームへどうぞ

一歩でも時代感覚に先駆しようと努力しています

大阪市浪速区
幸町通3丁目20
浪速合板
電話 新町(53)
2201−3番

工場 大阪市住吉区西加賀屋町4丁目81 電話 住吉(67)5109

木毛セメント板



東邦商会
本 社 大阪市東住吉区桑津町3丁目59
電話天王寺㈹1296
出張所 和歌山市新堀6丁目13
電話和歌山298番

Acoustic Tex
吸音テックス



株式会社 **室谷商店**
本 社 神戸市生田区長狭通四ノ一地産ビル
TEL 三宮③0881〜3
支 店 大阪市北区絹笠町五〇 堂ビル5階
TEL大阪㊽2021・3486・1141

燃えない建築資材
耐火ボード
タイガー印
石膏ラスボード
タイガートーン
絶対に亀裂を生じない劃期的下塗壁材
Y.N石膏プラスター
キーンスセメント
各種焼石膏
吉野石膏大阪支店
大阪支店 大阪市西区土佐堀通1−1(大同ビル)
電話(44)3694・0131
本 社 東京都丸ノ内・三菱東九号館四号
電話千代田(27)0701−2・7482−3
九州営業所 福岡市大字麦野260 電話西(2)7420

マヂック ペイント
ゼラン
ゼリー状壁塗料
JELLUN

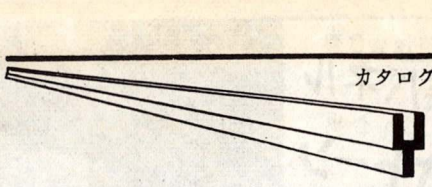
特長
- 1回塗りで肉厚仕上げが出来る。
- 刷子，ローラー，スポンヂでも塗装が容易で，垂れたり流れたりしないので衣服を汚すことは殆どない。
- 乾燥が速い（指触30分）ので作業が容易である。
- ゼリー状のため使用前攪拌の必要がない。

大阪 **日本ペイント** 東京
名古屋・福岡・札幌

（ＪＩＳ）製作工場

スチール.サッシュ
スチール.ドア
スチール.シャッター





カタログ進呈

パテ切リ不要ノ　〝サッシュバー〟

榮進鋼業株式會社

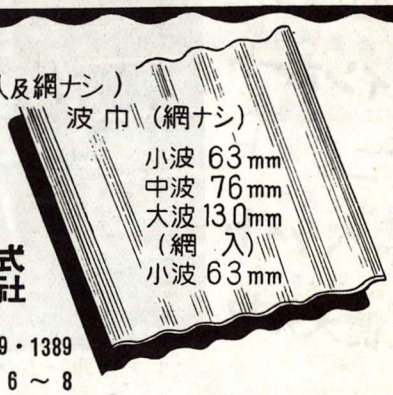
本社及工場　大阪市城東区野江西之町2丁目2
電話城東㉝8261～3

出張所 福岡 連絡所 名古屋 広島 長崎 富山

光り 波型ガラス（網入及網ナシ）

ダイニチライト

ポリエステル樹脂
硝子繊維強化板
6尺×2尺4寸(波型)



製造元　**大日本硝子工業株式会社**

大阪支店　大阪市北区玉江町2—4（三菱倉庫ビル）電話土佐堀㊹3389・1389
本　社　東京都中央区京橋3—6　電話㉘6926～8

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地　電話豊崎㊲1333番

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

N.G.C式

メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
米国パブコ.コンパウンドアスファルト販売

内外工業株式会社

脇山静夫

本社　大阪市阿倍野区旭町一ノ五一　電話㊸3434～6
工場　大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

N.G.インシュライト断熱材製造発売元

アスファルト防水の材料と工事は

（アイウエオ順）

◀製造業社

協和建材工業k.k.	大阪市東淀川区田川通5丁目91	(37) 6002・857
k.k.工英社	大阪市西成区橘通9丁目24	(66) 8861～2
k.k.工盛社	大阪市城東区西鴫野6丁目43	(97) 4460・8288
大恵工業k.k.	大阪市西淀川区姫島町1690	(47) 3131～2
田島応用化工k.k. 大阪出張所	大阪市西区京町堀上通1丁目14	(44) 809～10・1773～5
東亜工業k.k.	大阪市天王寺区堀越町2丁目1	(77) 915
日瀝化学工業k.k. 大阪営業所	大阪市東淀川区堀上通3丁目39	(39) 924～5・2045

◀販売業社

浅野物産k.k. 大阪支店	大阪市東区瓦町2(三和ビル)	(23) 1731代・2931代
池田商事k.k.	大阪市東区道修町1丁目11(加藤ビル)	(23) 1345・1346・3381
内田商会	大阪市北区万才町47	(36) 900・2841・2966
梅本石油k.k.	大阪市西区新町北通1丁目52	(54) 3785～7
枝松商会	大阪市北区道本町41	(34) 8643
大阪朝日瀝青k.k.	大阪市西区南堀江一番町14	(53) 4520・8401
三友アスファルトk.k.	大阪市天王寺区堀越町2	(77) 915
川崎物産k.k. 大阪支店	大阪市北区絹笠町50（堂ビル二階）	(36) 774
中西瀝青産業k.k. 大阪営業所	大阪市北区老松町2丁目7	(34) 4305
k.k.長野商店	大阪市北区中之島6丁目8	(44) 853・5196
日本建設興業k.k.	大阪市東区北浜4丁目19	(23) 2771～2
前田商店	大阪市西区江戸堀北通5丁目35	(44) 5223～4
山文商事k.k.	大阪市西区土佐堀1丁目13	(44) 0255代・5392代

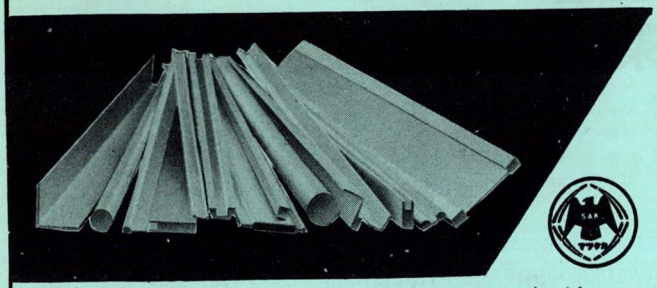
◀工事業社

旭化建工業k.k.	大阪市北区茶屋町38	(37) 6555～7
k.k.井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1丁目7	(44) 8531代
k.k.石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通1丁目31	(37) 3340・3505
オリエンタルアスファルト工業k.k.	大阪市浪速区幸町通2丁目1	(53) 4050・4190
大阪耐酸工業所	大阪市北区浮田町82	(37) 1333
大島応用化学工業k.k.	大阪市城東区野江東之町4丁目104	(33) 3679・4481・8471
カナヱ商店	大阪市北区空心町1丁目30	(35) 2922
共栄瀝青工業k.k.	大阪市東区船越町2丁目34	(94) 5561～2
k.k.木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5丁目35	(44) 5408・5486
k.k.久保商店	大阪市北区真砂町5	(34) 207～8・4836～7
清水興業k.k.	大阪市北区鶴野町34	(37) 1383・2933・9377
k.k.新光商店	大阪市南区塩町通2丁目13	(26) 7195～7・4464
高野アスファルトk.k.	大阪市西区江戸堀上通2丁目42	(44) 2148・4164
k.k.大和商会	大阪市南区高津四番丁73	(64) 1588・1905
友田工業株式会社	大阪市都島区都島中通6丁目41	(35) 4779・0997
内外工業k.k.	大阪市阿倍野区旭町1丁目51	(64) 3434～6
日新工業k.k. 大阪支店	大阪市西区新町北通1丁目40	(53) 5281～3
日本瀝青工業k.k. 大阪営業所	大阪市北区富田町40	(34) 1804
k.k.双葉商会	大阪市東淀川区木川西ノ町2丁目6	(37) 3375
松本瀝青工業k.k. 大阪支店	大阪市都島区都島本通7丁目45	(35) 9231
マルヱス工業k.k.	大阪市福島区上福島南通1丁目152	(45) 2360・2030
k.k.明正社	大阪市北区樋ノ上町45	(34) 8157～9
米田工業所	大阪市天王寺区南玉造町43	(75) 7271
石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	湊川（5）2697
k.k.中出商会	神戸市兵庫区上沢通6丁目9	湊川（5）4630
三信工業所	神戸市兵庫区神田町439	元町（4）6930
中村瀝青工業株式会社	神戸市生田区北長狭通6神繊共栄ビル	元町（4）5884
有限会社小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	（2）4272
k.k.浜原豊商店	尾道市若宮町	尾道2760
青盛建材k.k.	広島市鉄砲町108	中（2）2881～2
古市断熱工業k.k.	高松市天神前220	高松 4239
正和商事k.k.	松山市一番町	松山525・1159・2159
k.k.山本商会	松山市茅町2丁目95	松山 2717

▶賛助会員

丸善石油k.k.	大阪市南区長堀橋筋3丁目	(27) 1251(代)

昭和アルミの 押出型材



アルミニウムの押出型材は複雑な型状のものが容易に作れ製品コストを下げ、軽く、美じく、錆びず、合金によって鉄鋼に匹敵する強度を持ちます。最近は建築、船舶、航空機、その他軽工業や家庭器具等極めて広範囲に使用されています。

アルミニウム工業に於て伝統を誇る当社は、最新式押出機により管、棒、線、その他各種の型材を生産しています。

昭和アルミニウム株式会社

本　　社　堺市海山町6の224
東京営業所　東京都中央区日本橋堀留町1の12

セラボード

石膏ボードは進化した！

火に遭えば陶器となり
水に遭えばスレートになる

関西地区販売店

青盛建材株式会社　広島市鉄砲町108　TEL中②2281～3
中央建材株式会社　大阪市南区難波新地1—36　TEL ㉕ 6531・2431
株式会社 室谷商店　大阪市北区絹笠町50　TEL ㊱ 2021・3486

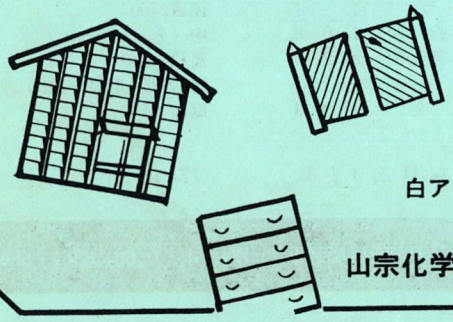
● リーフレットの用意があります　ご請求下さい　● 模造品が一部市場に出ていますからご注意下さい

特許C型カーテンレール

A—10

東京装備工業株式会社　東京都中央区新川1-6 TEL 55|0771-5

住宅や家具につく白アリや害虫を退治します、その上「アリノン」は
くされ・かびにも特効があります。



白アリに アリノン

山宗化学株式会社　東京都中央区八丁堀2丁目3番地 電話（55）5292・3634・0729
大阪市西区江戸堀下通2～38西船場ビル 電話土佐堀（44）7715・2803

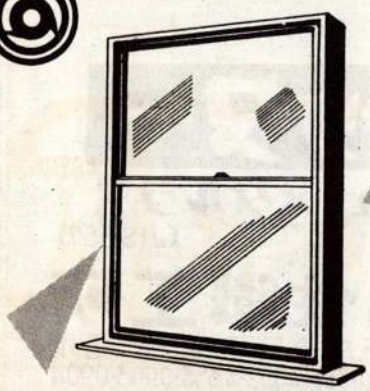
アルミニウム
ステンレス　サッシュ・ドアー
スチールシヤッター

東京鋼板工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話 ㊽ 8131～6
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（聚嘻ビル3階）
電話 ㉞ 0621・0628
名古屋支店　名古屋市中区大池町24（丸菱ビル）㉔3048・4593
代理店　広島・福岡・富山・札幌

豊国セメント株式会社

本社　福岡県苅田町
事務所　小倉・大阪・東京



STEEL DOOR SASH

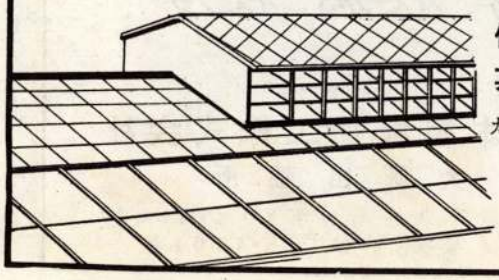
営業品目　鉄道車輛の製造
土木建設機械の製造
建築用鋼製建具扉の製造

布施市橋本一番地の一

近畿車輛株式會社

TEL ㉒2231代表直通 ㉒2434

岩元式　スカイライト　並　固定筒型 コンチニアス ベンチレーター



サッシュ、ドアー、シヤッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

カタログ進呈



岩元工業株式会社

本社　大阪市東成区東今里町4の40
電話 ㊽ 0616・0617

ヒルコン

耐火 断熱 保温 保冷 防音
吸音 結露 防止 に

焼成蛭石

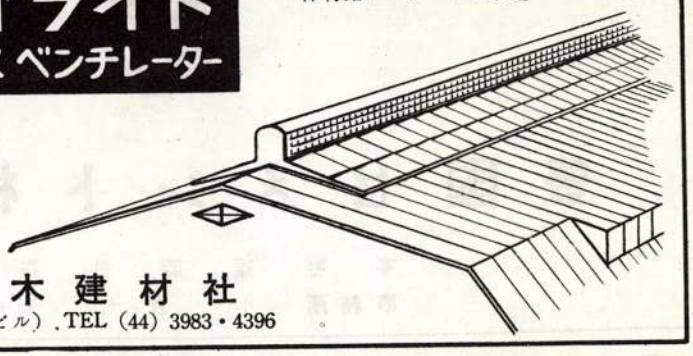
㊇ 日宝蛭石株式会社

大阪市東区高麗橋3～7 TEL(23) 1601.1704.5627.5628.淀川工場・大阪市東淀川区豊里菅原町119 TEL(38) 3101

40年の伝統と経験を誇る

内外式 スカイライト
コンチニアス ベンチレーター

体育館アーケードに最適



ベンチレーター（筒型各種）
バーチカルベンチレーター（電動式）
波型硝子屋根完全葺
設計施工

株式会社 内外土木建材社
大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）.TEL（44）3983・4396

優秀機能ヲ誇ル

岩住式 シャッター
ドアー。サッシュ。メタルラス
(JIS 557)

最新ノ機械設備
最高ノ設計ト技術
不撓ノ研究ト改良

株式会社岩住鐵工所
大阪市西淀川区千舟東二丁目三一番地
TEL淀川（47）代表4351・4352・4353・0903・0904

ヘキタイト

JIS 日本工業規格 No.A 5404

防火、防熱、防音、吸音、保温、保冷

（軽量木毛セメント板）

	SIZE		
中細木毛	3′×6′	10mm	12mm	15mm
		18mm	25mm	50mm
極細木毛	3′×6′	10mm	12mm	15mm
		18mm	25mm	

製造元
日本製板加工株式会社
大阪出張所
大阪市北区高垣町80（やよひビル）
電話大阪（代）㊇178・4161番

三高式　ドアーハンガー　　スチールサツシュ
三高式　オペレーター　　スチールドアー
三高式　重量戸車　　スチールシヤッター

TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社　三高製作所
本社工場　大阪市東淀川区西中島町7－69　電話大阪㊲1754(代表)

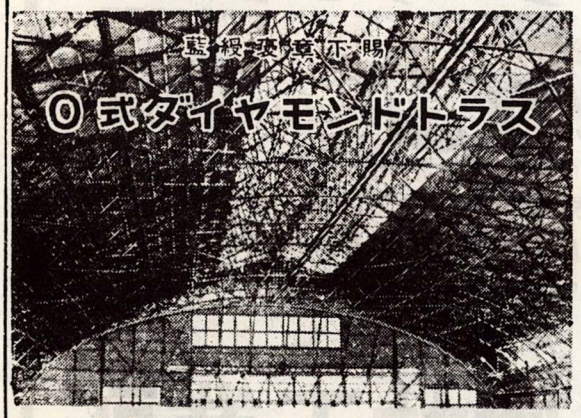
伝統に輝く
優秀な製品

スチール　サッシュ
スチール　シャッター
スチール　ドーア

新規製品
完全密閉片引き窓
気密度極めて高く
開閉軽快・堅牢・低価

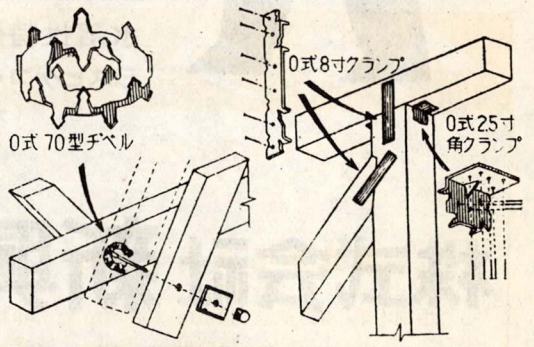
株式会社　汎建製作所
大阪市此花区恩貴島北之町11　電話　此花㊻2903・4461

鉄材が少くてすみ施工簡易な格納庫・工場・体育館の建築には
"ORIMOTO" DIAMOND TRUSS



設計の御依頼に応じます（施工は御自由です）
カタログ及び設計参考資料贈呈
考案　織本建築設計計算事務所
東京都中央区日本橋蠣殻町3～2（水天宮交叉点角）TPL（67）6443・7007・7062

官公庁御採用　耐震耐風木材接合金具
住宅、工場、学校、集会場、体育館にまた2階梁に
PAT O式ヂベル
PAT O式クランプ



販売　織本特殊構造研究所

SK

特殊壁材製造と左官材料専門卸

★セメント防水剤は世界的水準のJIS合格品のご使用を！

シンケン
防水剤・急結剤



★近代建築の和洋室内壁に防音・保温・落ちぬ塗壁材

いすゞかべ

★劇場・洋室・学校講堂・公会堂の内壁に防音・保温の

チエリーウオール

★純日本趣味の塗り良い優雅な壁……

錦壁

★セメント・石灰・プラスターの着色に純鉱物性不変色の…

チエリーカラー

★セメントの（アク）でお困りの場合に

シンケン セメント(アク)止剤

水溶性特殊接着剤〝シンケン糊〟桜印酸化黄
ラスヒゲコ・末広布連其の他特殊材料製造発売
（カタログお申込み次第お送りします）

株式会社 新興建材工業所

本　社　大阪市西区四ツ橋　電話（53）1988・9720（54）1988・1356

color conditioning for flooring

プラスタイルP

（Pタイル）

カタログ・見本御申込
次第お送り致します。

責任施工代理店（順不同）

〔近　畿〕

三友工業株式会社
大阪営業所
大阪市東成区大今里町655
大阪セルロイド会館内
電話今里㊼8031～4

合名会社　利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20
（日本橋電停前）
電話南㉕471・472
京都出張所
京都市中京区河原町夷川下ル
電話③3299

株式会社
木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話土佐堀㊹5408・5486

株式会社
久保商店
大阪市北区真砂町5
電話北㉞207～8・4836～7

タテバヤシ商店
京都市上京区大宮通四条下ル
電話壬生㉞4468

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話湊川⑤2697・2140

〔中国・九州〕

青盛建材株式会社
広島市鉄砲町108
電話中②2281～4

青盛建材岡山営業所
岡山市東田町3
電話②7911・8169

青盛建材福岡営業所
福岡市万行寺前町14
電話東③1225～6

〔東　海〕

株式会社
名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話中㉔1329・2106・2817

合資会社
岡田建材店
名古屋市西区西菊井町2ノ12
電話西㊸0121・2057

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話戎㊹3286

関西三星タイル会

ボッシュ電動式ハンマー



強力・堅牢・高能率

穿孔・削切兼用・(電灯線使用)

コンクリートの穿孔，削切
目粗しに高性能を発揮します。

独乙ロバート・ボッシュ会社製
日本総代理店

株式会社 **峰岸商店**

大阪出張所
大阪市西区江戸堀上通1丁目8番地
電話土佐堀㊹0842・2181

カタログ本誌名記入
お申越次第進呈

黄綬褒章受賞

特許 奥山式熱工法 冷工法 綜合防水層

カッパー防水帯

C.F #38

COPPER-BOSUITAI
OAM
TRADE・MARK

カッパーメッシュ
コーパータイト

耐酸耐油工事
アスファルト工事一般

製造元 **奥山化工業株式會社**

東京都中央区銀座西8丁目3番地 ・ 電話 銀座 57 2703 4・2370・4064・0263

新らしい建築には..最も新らしい塗料

合成樹脂製

マスター（調合ペイント）

建築物（木部・鉄部）
内外部・塗装用

サビコンS（さび止ペイント）

サッシュ鉄骨等凡ゆる
鉄材製品のさび止用

PCL **大信ペイント株式会社**

本　社　大阪市東淀川区三津屋中通四ノ四　電話㊲7371～3
支　店　東京都墨田区竪川四ノ四　電話㊸1351
出張所　札幌・名古屋・広島

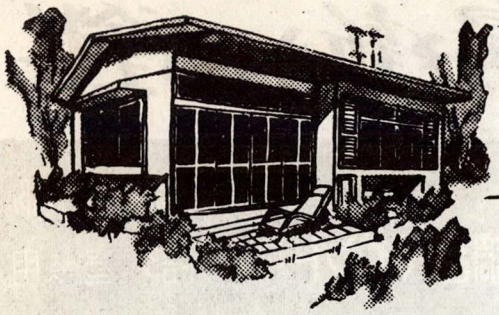
NK **浪建式**

スチールサッシュ・ドアー
シッヤター・オペレーター
―製造販売―

日満ゴムタイル
全国総代理店
責任施工

大正十四年
創　業　**浪速建枝工業株式會社**

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地　電話城東㉝1171～3番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館607号室　電話東京㊹4611
福岡営業所・福岡市天神町三番地（サンビル内）　電話福岡④8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地　電話大分1366番



家を建てたら・・
ツヤ出しケントク

——板の間・廊下に——→

新築に

水拭きではすぐに黒ずみニス・ラッカは白木の味をなくし、はげると見苦しくなりますが、すべらぬ白木艶出ケントクを月に一～二回ぬりこめば毎日はカラ拭きで新築そのまゝの美しさを保ちます。



板の間廊下のすべらぬ白木ツヤ出し

ケントク

白木液体ケントク一升罐四九〇円で約十五坪、丸罐半ポンド二九〇円で約五勝みがけます



大阪市東淀川区新高南通 1—14　KKケントク　電話㊽1658・1416
0864～6

防錆処理にはボンデライトを
自家設備一貫作業



サッシ
ドアー
シャッター
オペレーター

建

大阪建材工業株式會社

営業所　大阪市南区九郎右衛門町21番地　電話 ⑮ 代 836-839・830
本社工場　堺市松屋一丁目6番地　電話 堺1586・3323・4800-1
工事部　大阪市南区久左衛門町7番地　電話 ⑮ 7047・7127
出張所　名古屋　金沢

日本建築協会優良證明

セメント 増強防水剤

ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

株式会社 日本セメント防水剤製造所

仕様書 型録 贈呈

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28—1　電　話　宝　塚　2153
工　　場　尼崎市難波本町1—34　電話大阪㊽8544(代表)
出張所電話　東京(43)0874　仙台(3)0721・名古屋(32)1331

ウォータイト式防水工事代行店電話　高山工業 東京(25)0161～3・安藤工事 福岡(3)5765・大三工業 高松6710

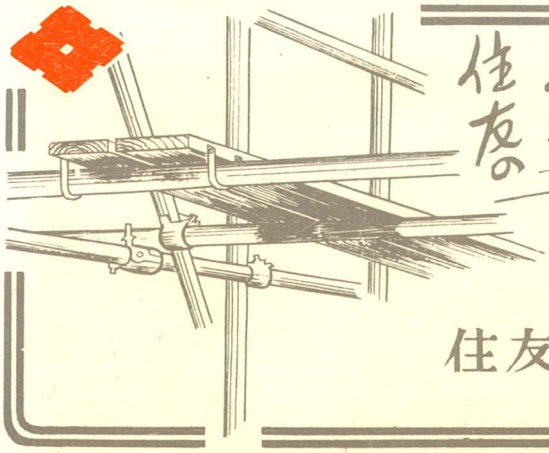
特許神田式

あらゆるシャッターの専門メーカー

株式会社 日本シャッター製作所

日本シャッター

東京工場　川崎市新丸子東3丁目1159（電）047-5350・大阪工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38（電）代37-8565
九州工場　福岡市榎田町1268（電）2-6708・名古屋支店　名古屋市中区宮出町23（電）24-4811
営業所　高知・岡山・高松・姫路　代行店　全国主要都市ニアリ



住友の 建材足場用鋼管

1．組立や解体が簡単で速くできます。
2．強くて軽く、安全確実な足場ができます。
3．腐蝕せず永年使用できる為、木材足場より経済的です。
4．工事場が整然としてスマートで、都市の美観を損じません。

住友金属工業株式会社

大阪市東区瓦町4丁目31
東京都千代田区丸ノ内（新丸ビル）

紫綬褒章に輝く

責任・施工・請負

JIS合格モルタルコンクリート用

特許 特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

株式会社 油脂化工社

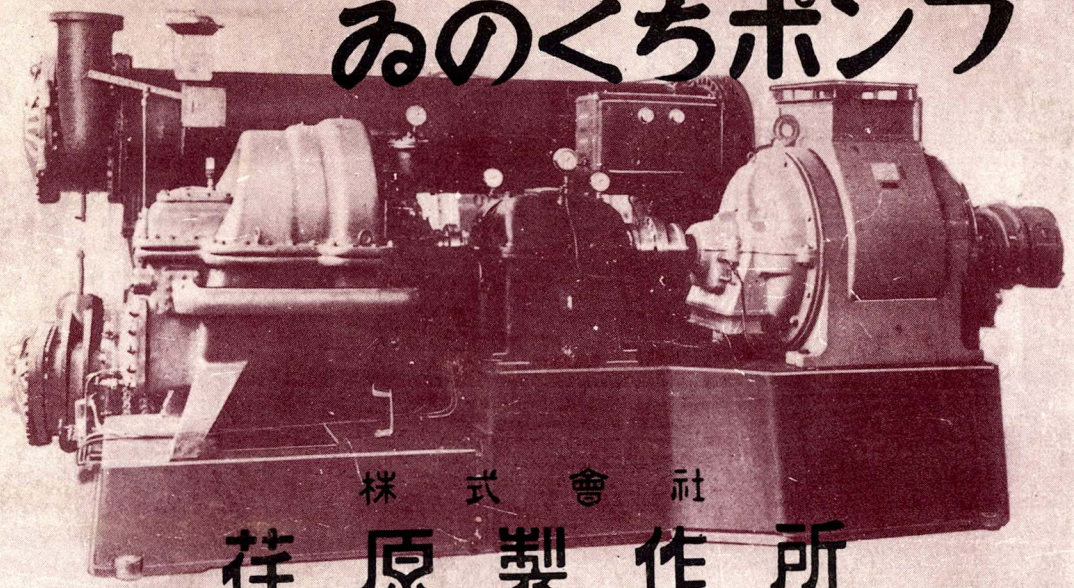
取締役社長　矢中龍次郎

本　社　東京都品川区二葉町1—441 電話荏原㊽1715
大阪営業所　大阪市東成区西今里町2—48 電話㊾4765・0063

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可

昭和三十三年十月二十日印刷
昭和三十三年十月廿五日発行（毎月廿五日発行）

エハラ・ターボ冷凍機
ねのくちポンプ



株式會社
荏原製作所

画期的アスファルト防水

勾配別で―
アスタイト（特殊アスファルト 100号・85号・80号・75号・25号）使用

年限仕様書進呈

西アス協組責任施工

三星
西日本アスファルト事業協同組合

事務所　大阪市東区淡路町2の53
分室　大阪市西区京町堀上通1の14　TEL㊹1773～5

売価一部金百八十円（送料共）